

東北圏の概要(データ編)

国土交通省 国土計画局

平成23年6月

東北圏の主な特徴

① 広大な土地、低密度で拡散した人口分布

- ・面積：約74,000km²(日本全体の約2割)、うち68.3%が林野(全国平均66.6%)
- ・人口：約1,210万人(日本全体の約1割)
- ・地域内総生産額：約42兆円(日本全体の1割弱)
- ・都市間平均距離が約28kmであり、全国平均(約22km)に比べて長い。
- ・DID(人口集中地区)人口比率が約44%と全国(約66%)に比べて低い。

② 我が国の安定的な食料とエネルギーの供給に大きく貢献

- ・生産額が全国シェアの約35%を占める米をはじめ、農畜産品、林産品、水産品等、第1次産業について高い全国シェアを占める。
- ・全国の発電所の総出力の25%を出力。また、風力発電等新エネルギーの利活用への取組も積極的に行われている。

③ ものづくり産業の集積の進展

- ・農林水産業が盛んであるとともに、電子部品・デバイスや情報通信機器を初め、金属製品、一般機械器具等のものづくり産業に一定の集積が見られ、最近では、すそ野が広く、東北圏の主要産業としての成長が期待される自動車関連産業の集積も進んできている。

④ 豊かな自然に恵まれる一方、災害等の自然の脅威にさらされる圏土

- ・圏域面積の約85%が豪雪地帯で、そのうち約44%が特別豪雪地帯。平成18年豪雪による全国死者152人のうち東北圏は81人。
- ・地震・津波による被害が頻発【新潟県中越沖地震、岩手・宮城内陸地震、新潟県中越地震、明治三陸津波、昭和三陸津波、チリ地震津波、等】

⑤ 豊かな人と人の絆に基づく高い地域共同体意識

- ・特徴ある祭り、伝統、文化が存在する。
- ・豊かな人と人の絆に基づく地域共同体意識が多く残っており、人々の温かいネットワークが暮らしの中に残されている。

東北圏の概要(データ編) 目次

ページ	タイトル	ページ	タイトル
1. 東北圏の概要		24	東北圏の林野・河川
5	東北圏の総面積	25	東北圏の海岸線延長
6	東北圏の総人口	5. ものづくり・産業基盤	
7	東北圏の域内総生産	27	産業別域内総生産額の構成比・産業別県内総生産額の構成比(県別)
8	ヨーロッパ中規模諸国との比較	29	県内総生産額、県民所得額
9	都市間距離	31	人口一人あたり県民所得額及び推移
2. 人口の概況		32	製造品出荷額等、製造品出荷額等の推移(県別)
11	人口推移、人口推移(各県)	34	産業中分類(製造業)別製造品出荷額シェア
13	人口の増減(県別)	35	有効求人倍率・失業率の推移
14	県別高齢化率の推移	6. 交通インフラ・国内外との接続状況	
15	県別年齢構成比の推移	37	東北圏の輸出・輸入、東北圏の輸出・輸入(県別)
16	県別産業別就業者数の推移	39	東北圏の空港立地と利用状況
17	DID(人口集中地区)人口比率	40	空港別の旅客輸送実績
3. 財政の状況		41	東北圏の国際線旅客数の割合
19	財政力指数	42	港湾の利用状況
20	経常収支比率	43	東北圏の海上輸送の状況(国内貨物、貿易貨物)
21	公債費比率	45	出国日本人数割合、訪日外国人の東北圏への訪問比率
4. 土地利用等の状況		46	バス輸送人員の推移
23	東北圏は自然の宝庫	47	自動車保有台数の推移等

ページ	タイトル	ページ	タイトル
7. IT関連基盤の状況		70	農業生産額の状況(耕種)および全国シェア(耕種)
49	ブロードバンドサービスの世帯普及率	72	農業生産額の状況(畜産)および全国シェア(畜産)
8. 利雪・克雪の状況		74	林業産出額(および県別)
51	豪雪地帯の指定状況、積雪深	76	漁獲量・収穫量の状況
52	雪害の状況	77	農林漁業の就業者平均年齢(および県別)
53	冬期通行不能区間の状況	79	農林漁業従業者の平均年齢(および県別)
9. 多様なエネルギー・水資源の状況		84	漁業就業者数と高齢化率
55	発電所の立地と出力の状況(および各県)	12. 東北の歴史・文化	
57	原子力発電の状況	86	東北7県の人口推移・東北開発の歴史
58	水力発電の状況	87	東北圏の優れた人材
59	新エネルギー(風力発電)の状況	88	東北圏の食文化
60	新エネルギー(地熱発電)の状況	89	東北圏の伝統工芸
61	ダム・水資源の状況		
62	水資源賦存量		
10. 医療サービス等提供の状況			
64	人口10万人あたり医師数		
65	人口10万人あたり病床数		
66	三次救急医療施設の時間圏域		
11. 農林水産業の現状			
68	米の安定供給(および県別)		

1. 東北圏の概要

- 東北圏の総面積
- 東北圏の総人口
- 東北圏の域内総生産
- ヨーロッパ中規模諸国との比較
- 都市間距離

東北圏の総面積

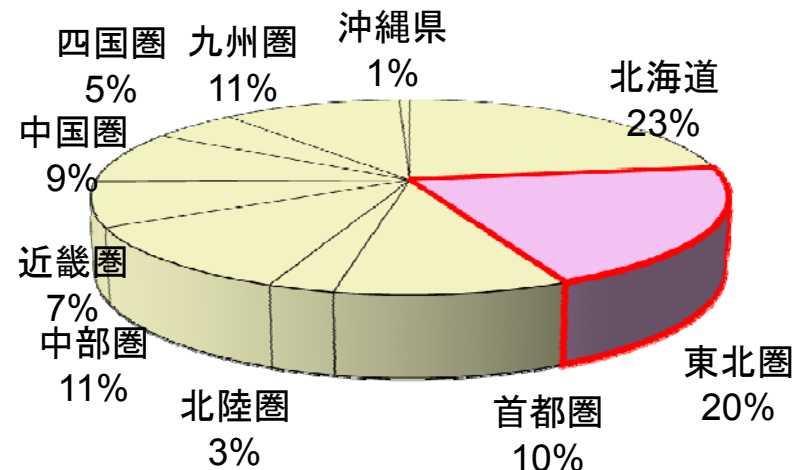
東北圏の総面積は約74,000km²、全国の約2割を占める。

総面積の世界における位置(H19年)

国名	面積(km ²)	国名	面積(km ²)
スウェーデン	441,370	デンマーク	43,094
ノルウェー	323,802	オランダ	37,354
日本	377,930	中部圏	41,079
フィンランド	338,419	スイス	41,277
マレーシア	330,803	九州圏	38,946
イギリス	242,900	首都圏	36,436
韓国	99,678	中国圏	31,816
ハンガリー	93,028	ベルギー	30,528
ポルトガル	92,090	近畿圏	27,091
オーストリア	83,871	四国圏	18,791
北海道	83,456	北陸圏	10,420
東北圏	73,718	シンガポール	705

※ 日本と同規模程度を抽出

総面積のブロック間割合(H19年)



東北圏の各県面積割合(H19年)

県名	面積(km ²)	全国比(%)
全国	377929.99	-
東北圏	73717.88	19.5
青森県	8918.45	2.4
岩手県	15278.85	4.0
宮城県	6862.09	1.8
秋田県	11434.22	3.0
山形県	6652.11	1.8
福島県	13782.75	3.6
新潟県	10789.41	2.9

出典：総務省「世界の統計2011」
 国土地理院「平成19年全国都道府県市区町村面積調」

東北圏の総人口

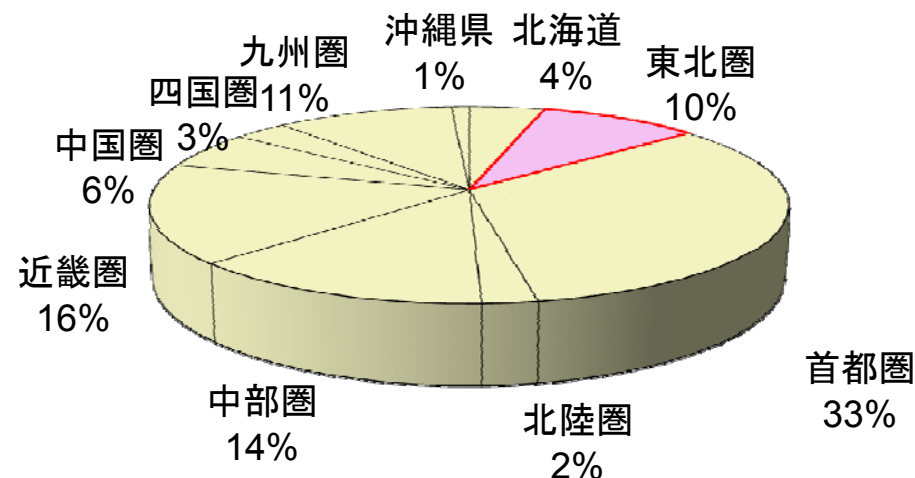
東北圏の総人口は約1,210万人、全国の約1割を占める。

総人口の世界における位置(H17年)

国名	人口(万人)	国名	人口(万人)
日本	12,777	ハンガリー	1,009
イギリス	6,024	スウェーデン	903
韓国	4,814	オーストリア	823
首都圏	4,238	中国圏	768
マレーシア	2,613	スイス	744
近畿圏	2,089	北海道	563
中部圏	1,722	デンマーク	542
オランダ	1,632	フィンランド	525
九州圏	1,335	ノルウェー	462
東北圏	1,207	四国圏	409
ポルトガル	1,055	シンガポール	347
ベルギー	1,047	北陸圏	311

※ 日本と同規模程度を抽出

総人口のブロック間割合(H17年)



東北圏の各県総人口割合(H17年)

県名	人口(人)	全国比(%)
全国	127,767,994	-
東北圏	12,066,376	9.44
青森県	1,436,657	1.12
岩手県	1,385,041	1.08
宮城県	2,360,218	1.85
秋田県	1,145,501	0.90
山形県	1,216,181	0.95
福島県	2,091,319	1.64
新潟県	2,431,459	1.90

出典：総務省「世界の統計2011」
総務省「平成17年国勢調査」

東北圏の域内総生産

東北圏の域内総生産は3,585億米ドル(42.3兆円)、全国の約1割を占める。

GDPの世界における位置(H19)

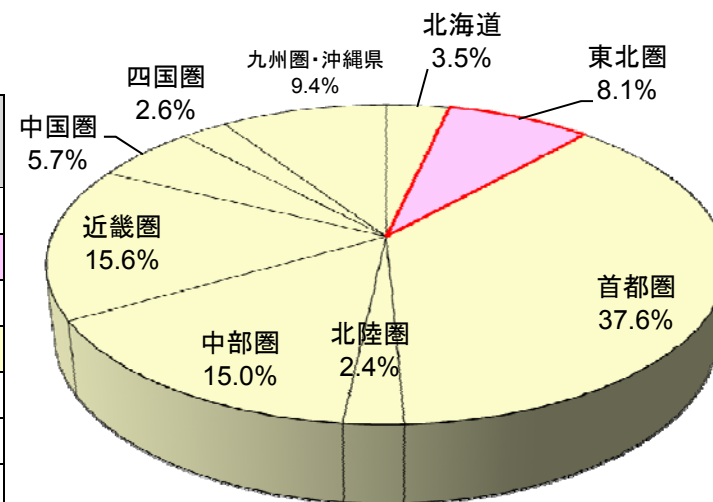
国名	GDP (名目、億米\$)	国名	GDP (名目、億米\$)
日本	43,830	オーストリア	3,723
イギリス	28,110	東北圏	3,585 (42.3兆円)
首都圏	16,586	デンマーク	3,107
韓国	10,492	中国圏	2,532
オランダ	7,826	フィンランド	2,460
近畿圏	6,896	ポルトガル	2,309
中部圏	6,601	マレーシア	1,861
スウェーデン	4,625	シンガポール	1,716
ベルギー	4,586	北海道	1,565
スイス	4,341	ハンガリー	1,379
ノルウェー	3,875	四国圏	1,148
九州圏	3,818	北陸圏	1,074

※1 日本と同規模程度を抽出

※2 税関長公示レート(2007年平均)
117.93円/\$

出典：総務省「世界の統計2011」
総務省「平成17年国勢調査」

域内総生産のブロック間の割合(H19年)

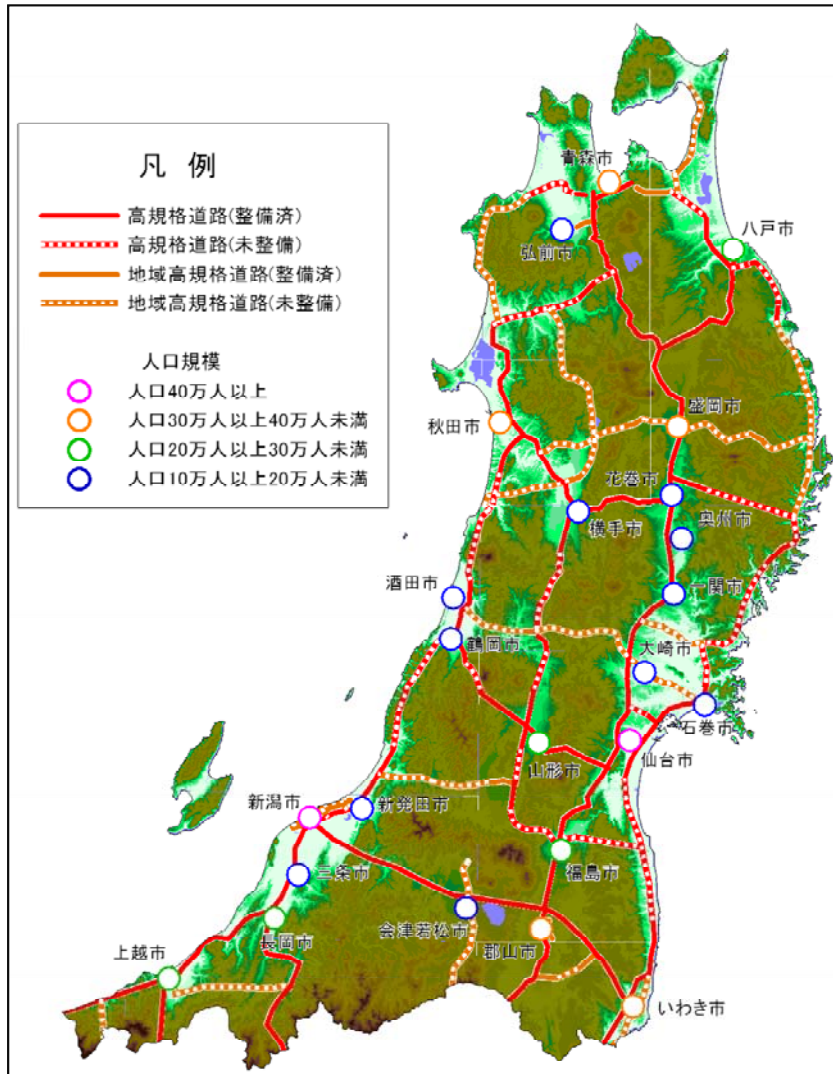


東北圏の各県GDP割合(H19年)

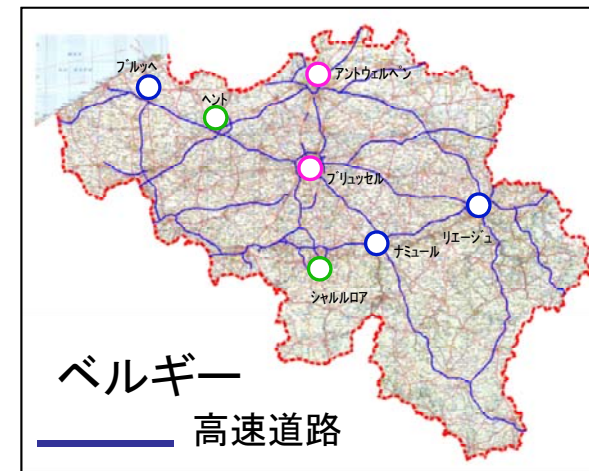
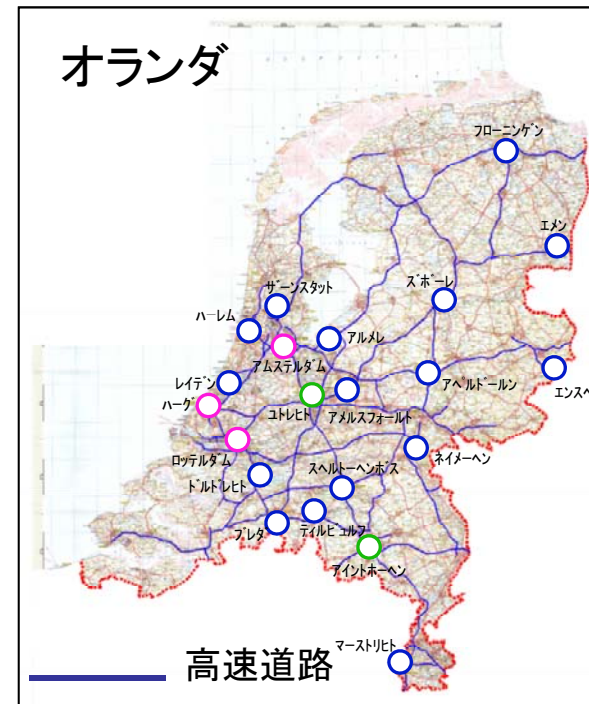
県名	GDP (名目、兆円)	全国比 (%)
全国	520.25	—
東北圏	42.27	8.12
青森県	4.57	0.88
岩手県	4.54	0.87
宮城県	8.29	1.59
秋田県	3.81	0.73
山形県	4.21	0.81
福島県	7.88	1.51
新潟県	8.97	1.72

ヨーロッパ中規模諸国との比較

オランダやベルギーでは都市間を連絡する高速道路体系が充実。

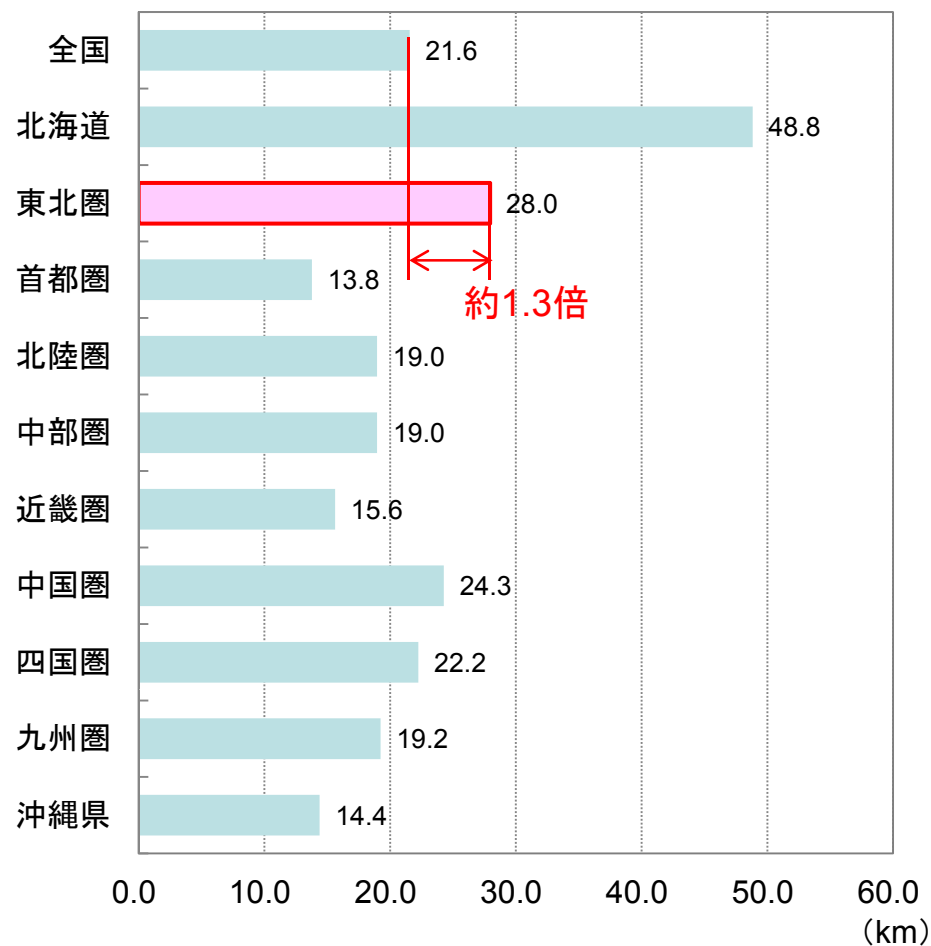


図面は同縮尺(約400万分の1)

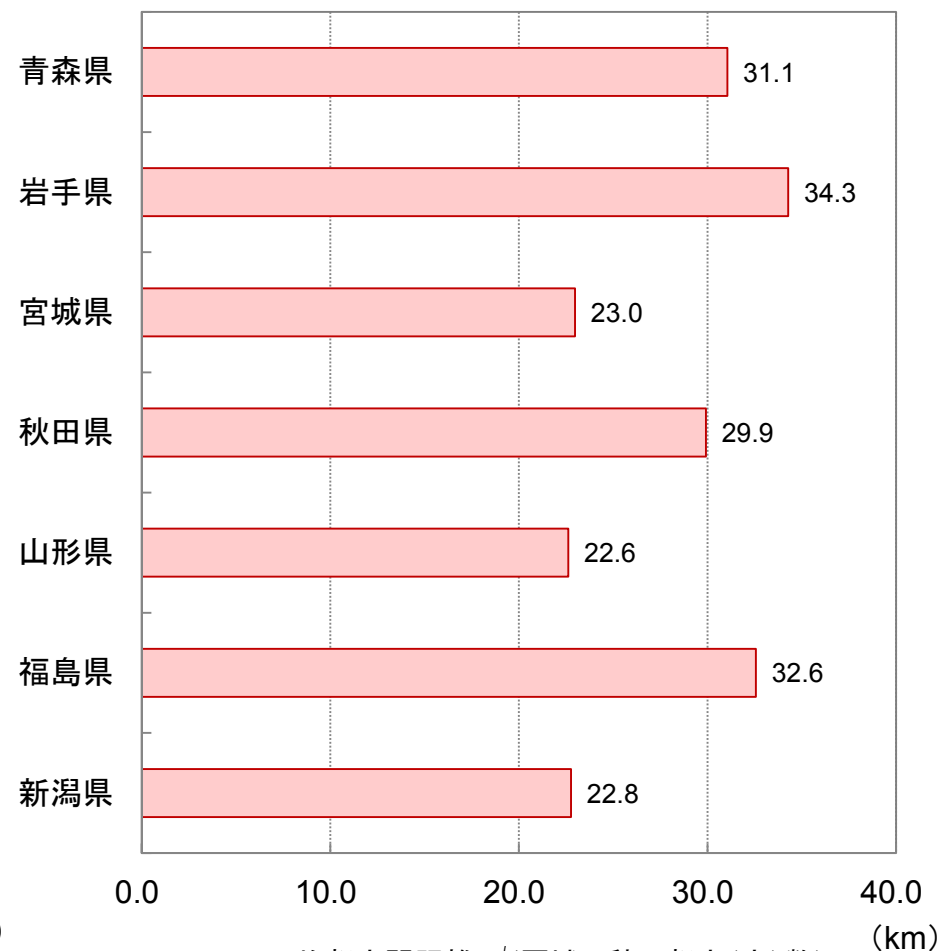


東北圏の平均都市間距離は約28kmは、全国平均の約22kmに比べ長い。

平均都市間距離(圏域別)



平均都市間距離(県別)



平均都市間距離 = $\sqrt{\text{圏域面積} \div \text{都市(市)数}}$
 面積は平成22年都道府県面積調(国土地理院)
 都市数(東北圏の市数)は政府統計の総合窓口HP(総務省)

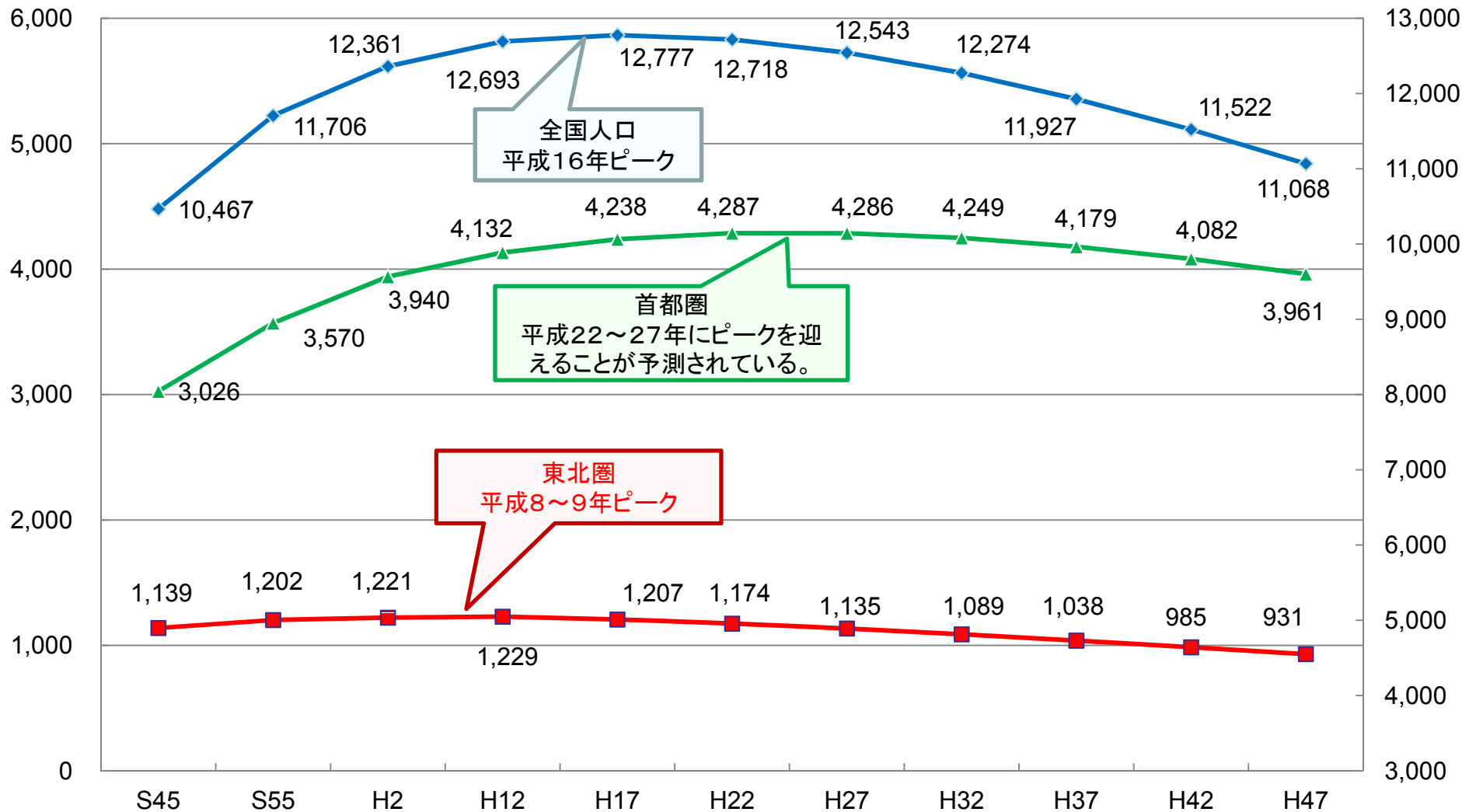
2. 人口の概況

- 人口推移
- 人口推移(県別)
- 人口の増減(県別)
- 高齢化率の推移
- 県別年齢構成比の推移
- 県別産業別就業者数の推移
- DID(人口集中地区)人口比率

東北圏は早くから減少傾向に転じている。

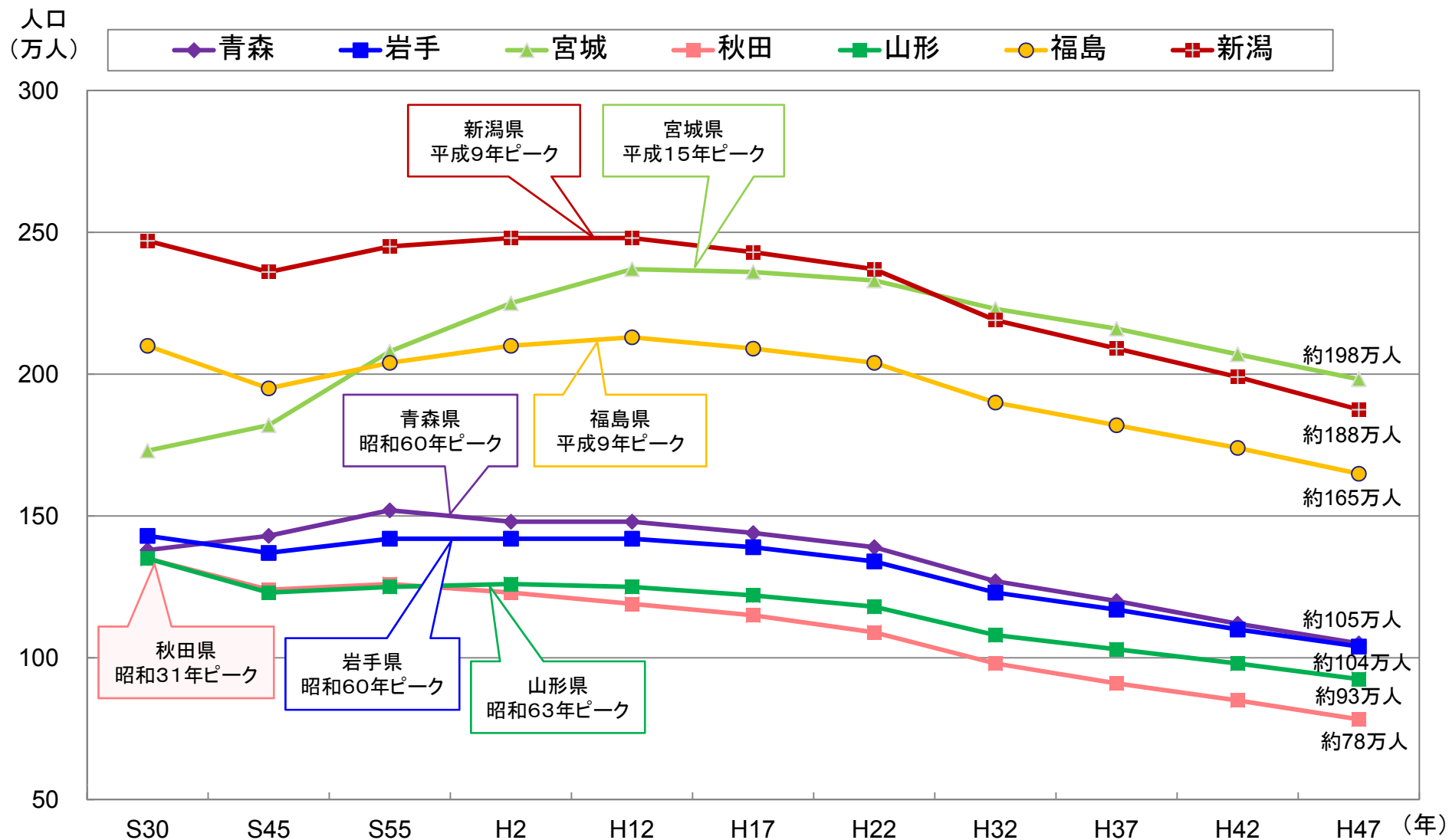
首都圏・東北圏
人口(万人)

全国人口(万人)



人口推移(県別)

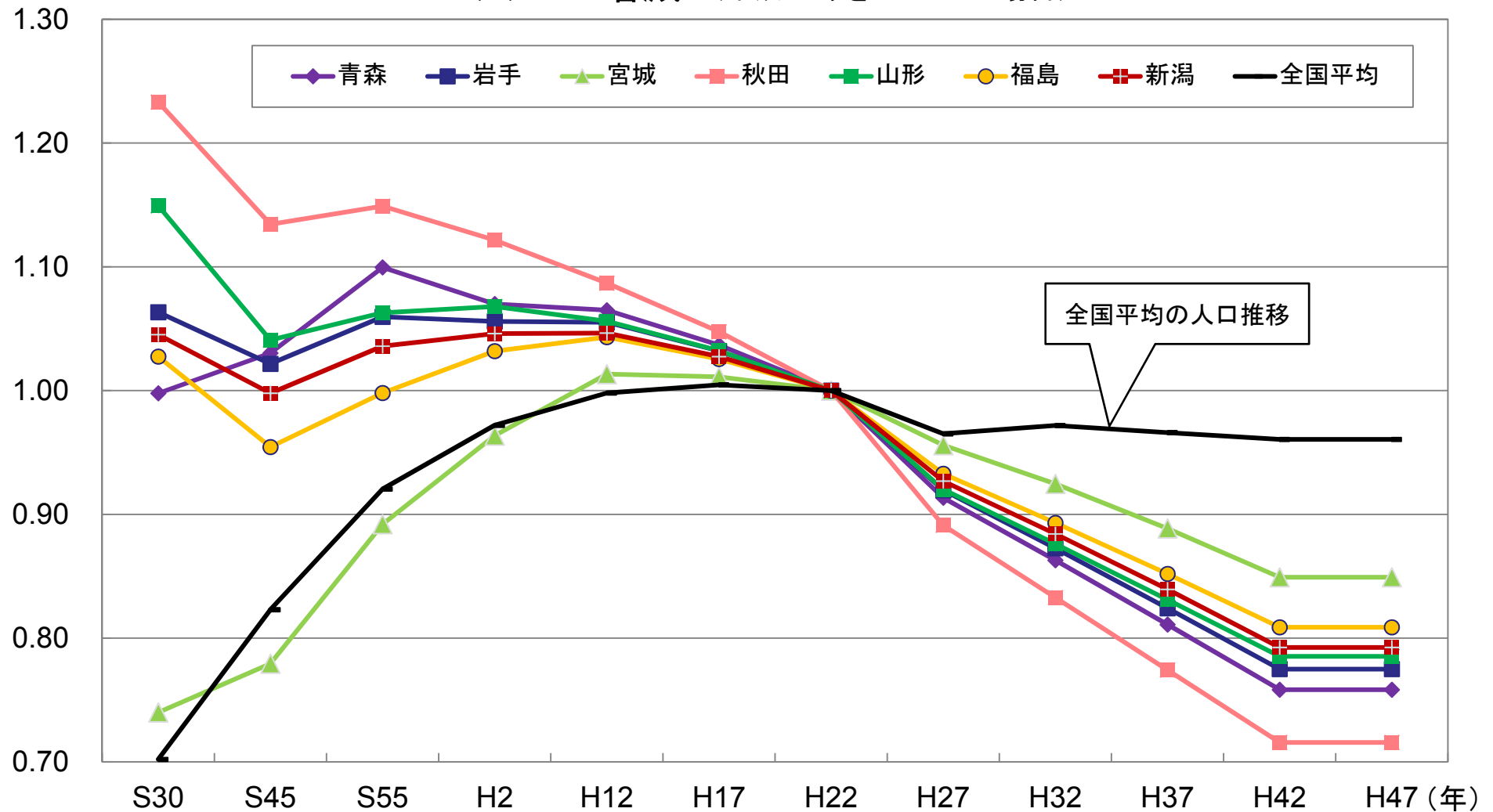
宮城を除いた東北圏の各県人口は、10年以上前から減少傾向に転じている。



※都道府県別人口予測は、中位推計値

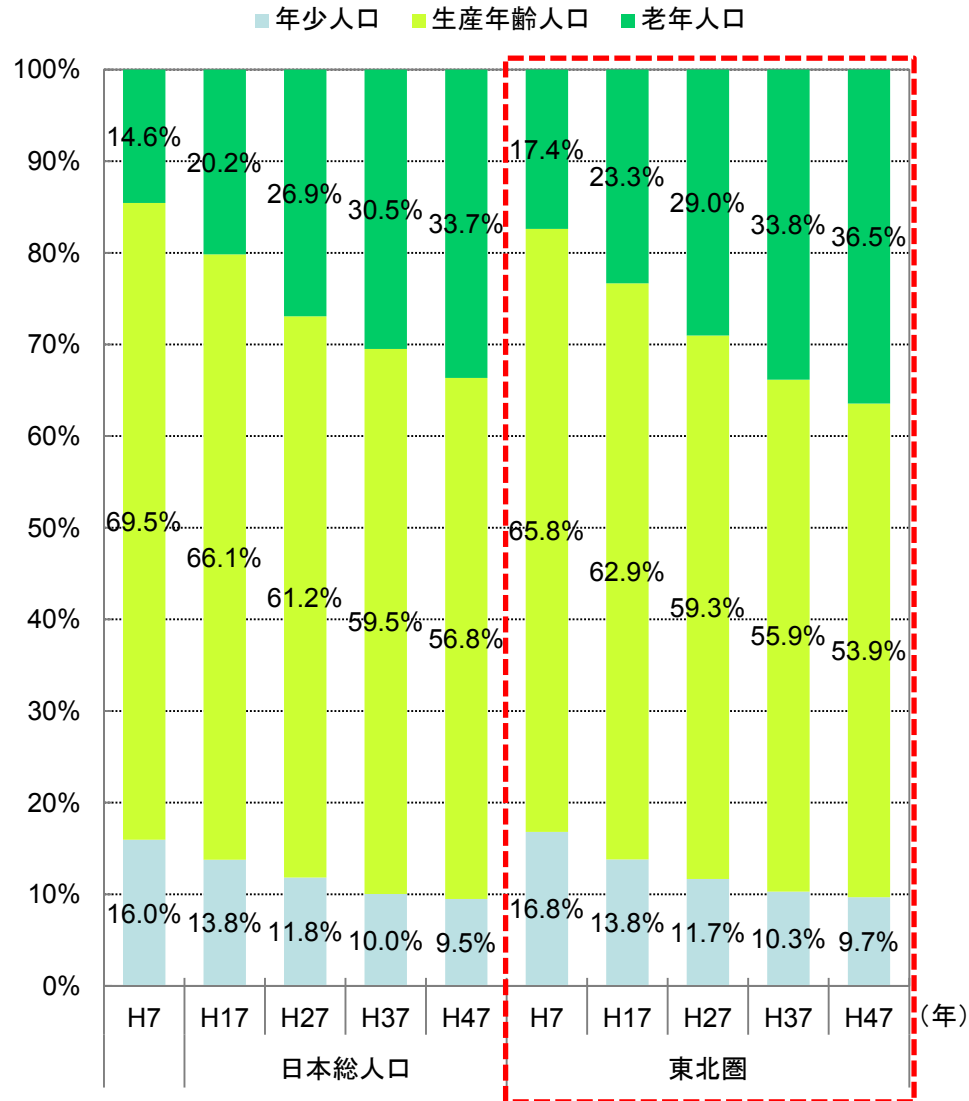
東北圏では全国平均に比べ人口の減少度合いが大きいと推計されている。

人口の増減 (平成22年を1.00とした場合)

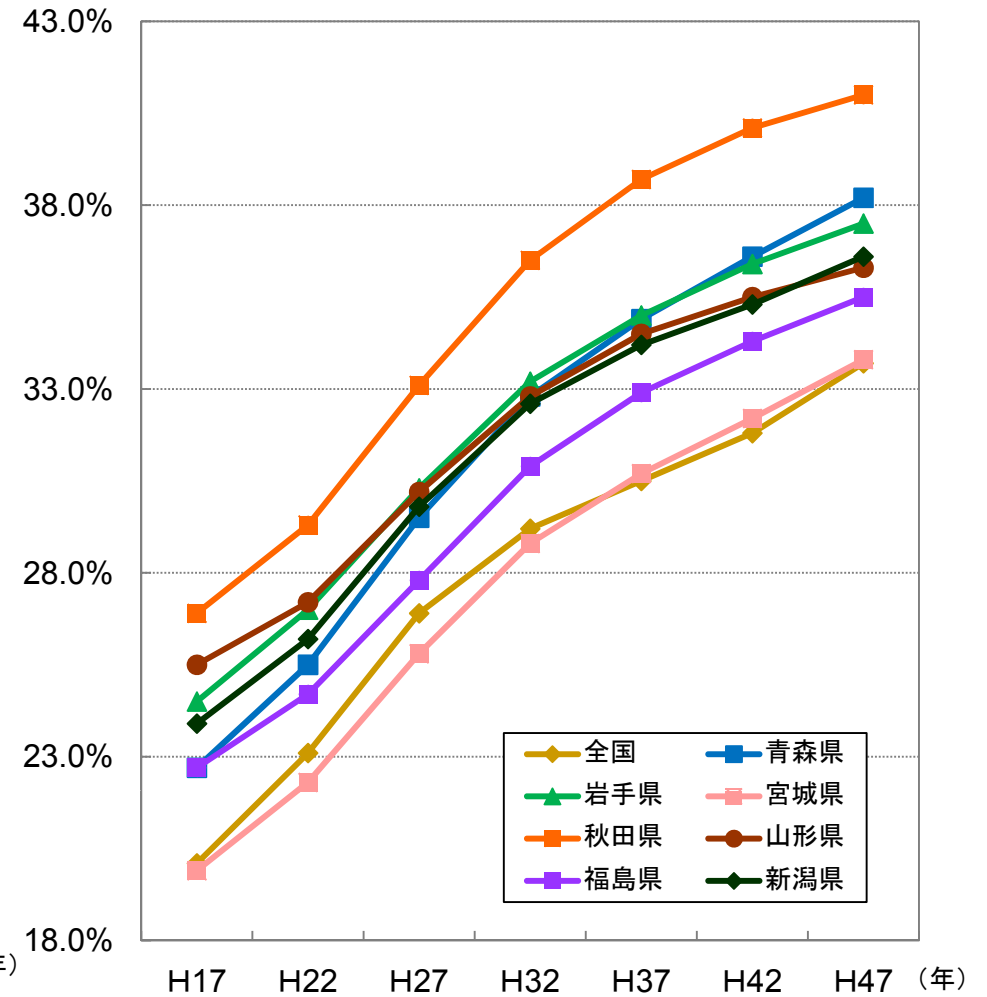


※都道府県別人口予測は、中位推計値

年齢階層別人口の見通し



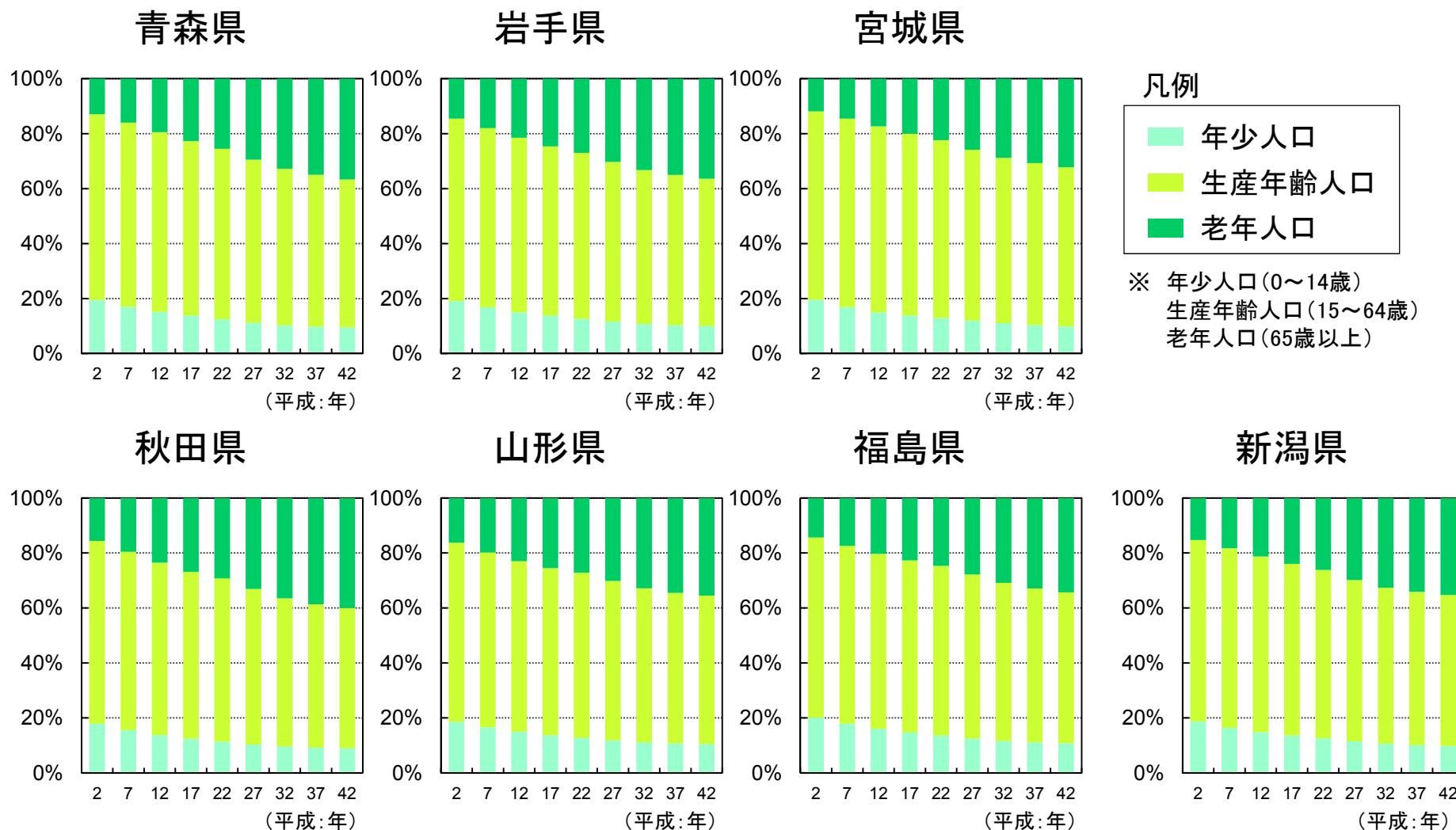
県別高齢化率の推移



出典：総務省各年「国勢調査」、H22年以降は日本の将来推計人口（平成19年5月：人口問題研究所）

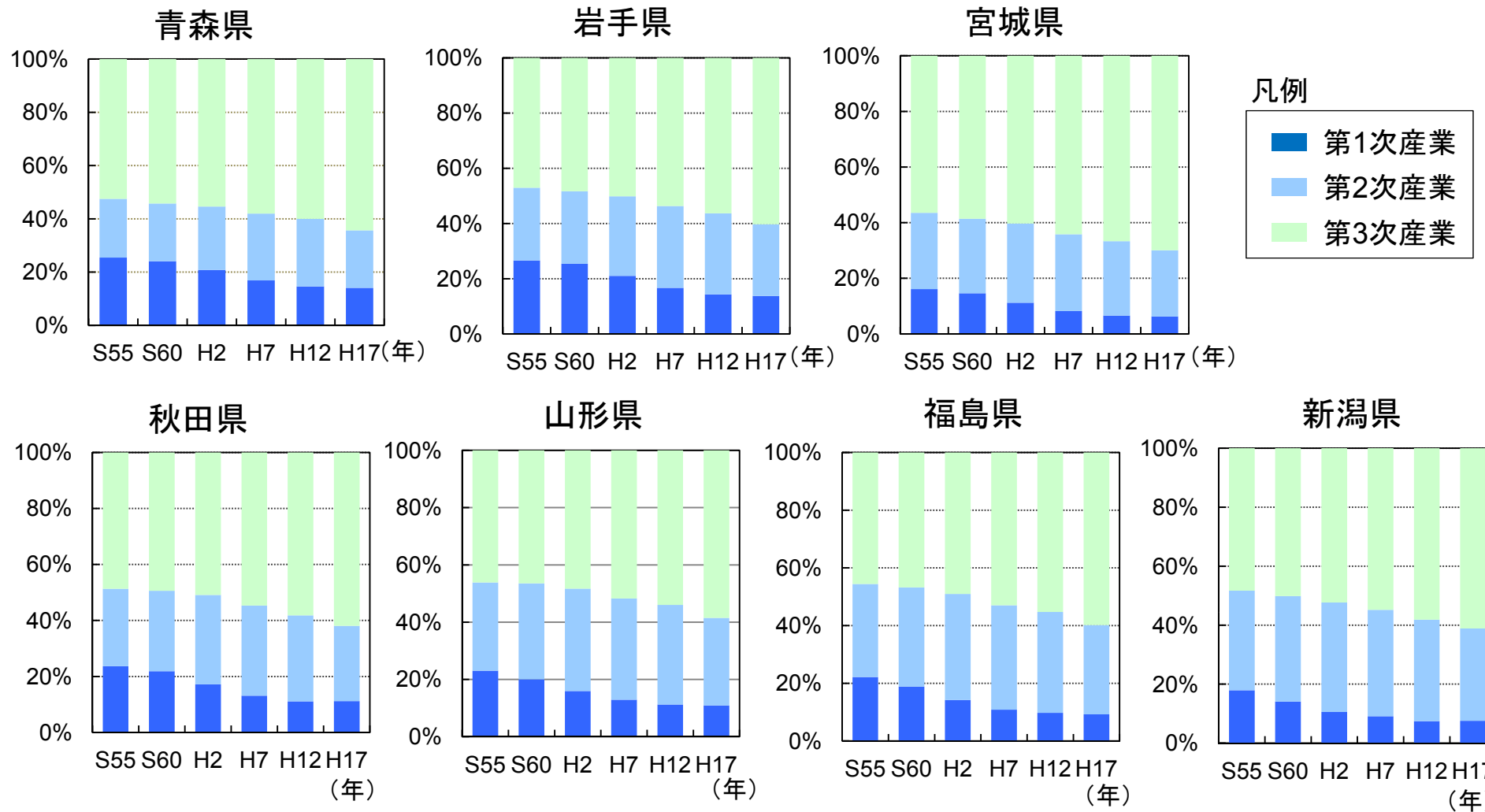
県別年齢構成比の推移

各県とも高齢化が進展すると予測。



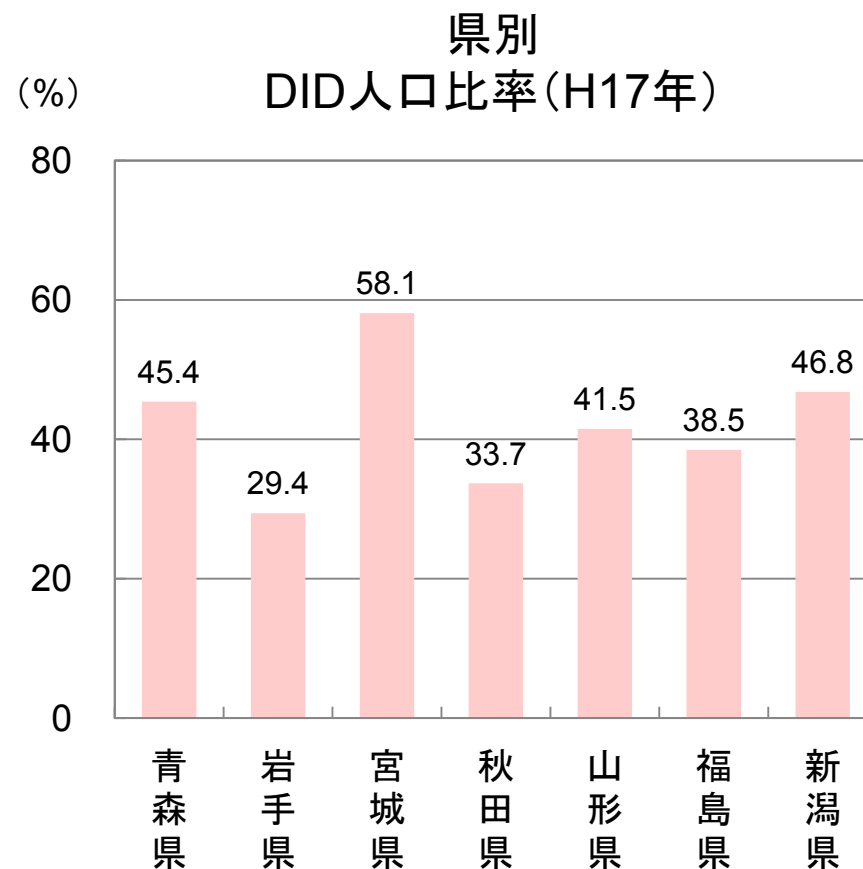
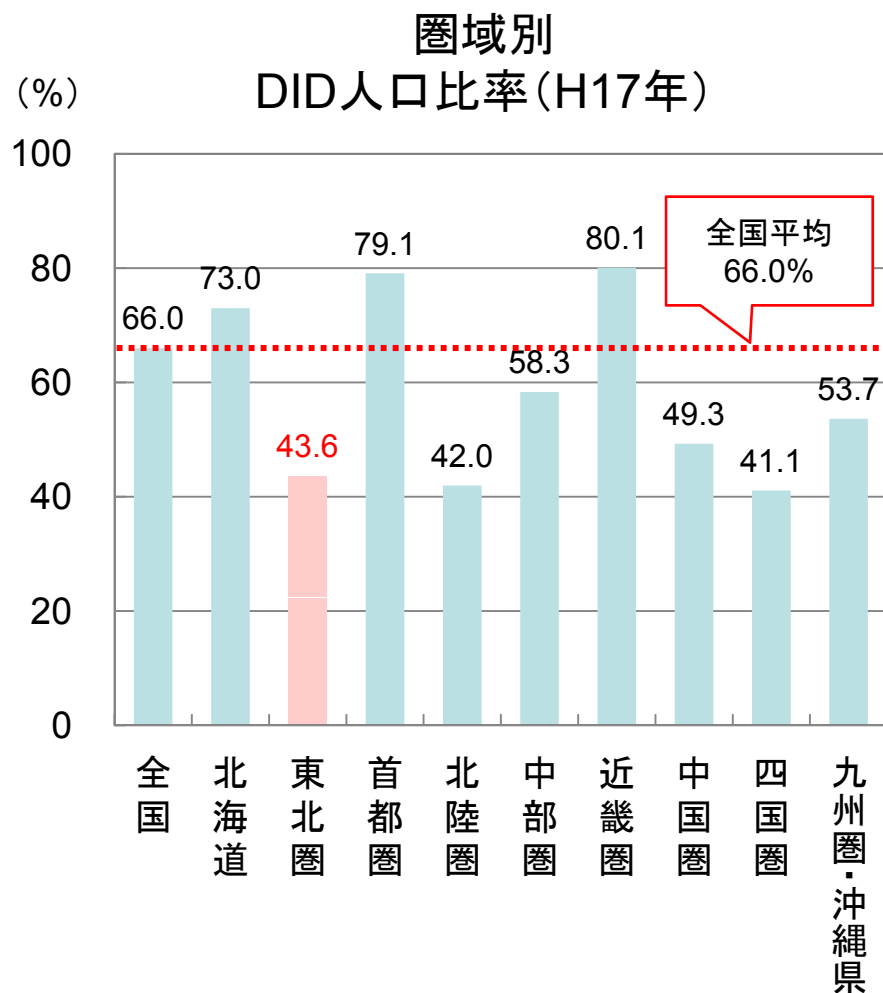
県別産業別就業者数の推移

第1次産業就業者数の減少とともに、第3次産業就業者数が増加。



DID(人口集中地区)人口比率

DIDの人口比率が約44%と全国(約66%)と比べて低い。



DID(人口集中地区): 下記の2条件を満たす基本単位区を人口集中区域と定義する。
 (1) 基本単位区の人口密度が4000人/km²以上の区が連続していること。
 (2) それらの隣接基本区域との合計人口が5,000人以上であること。

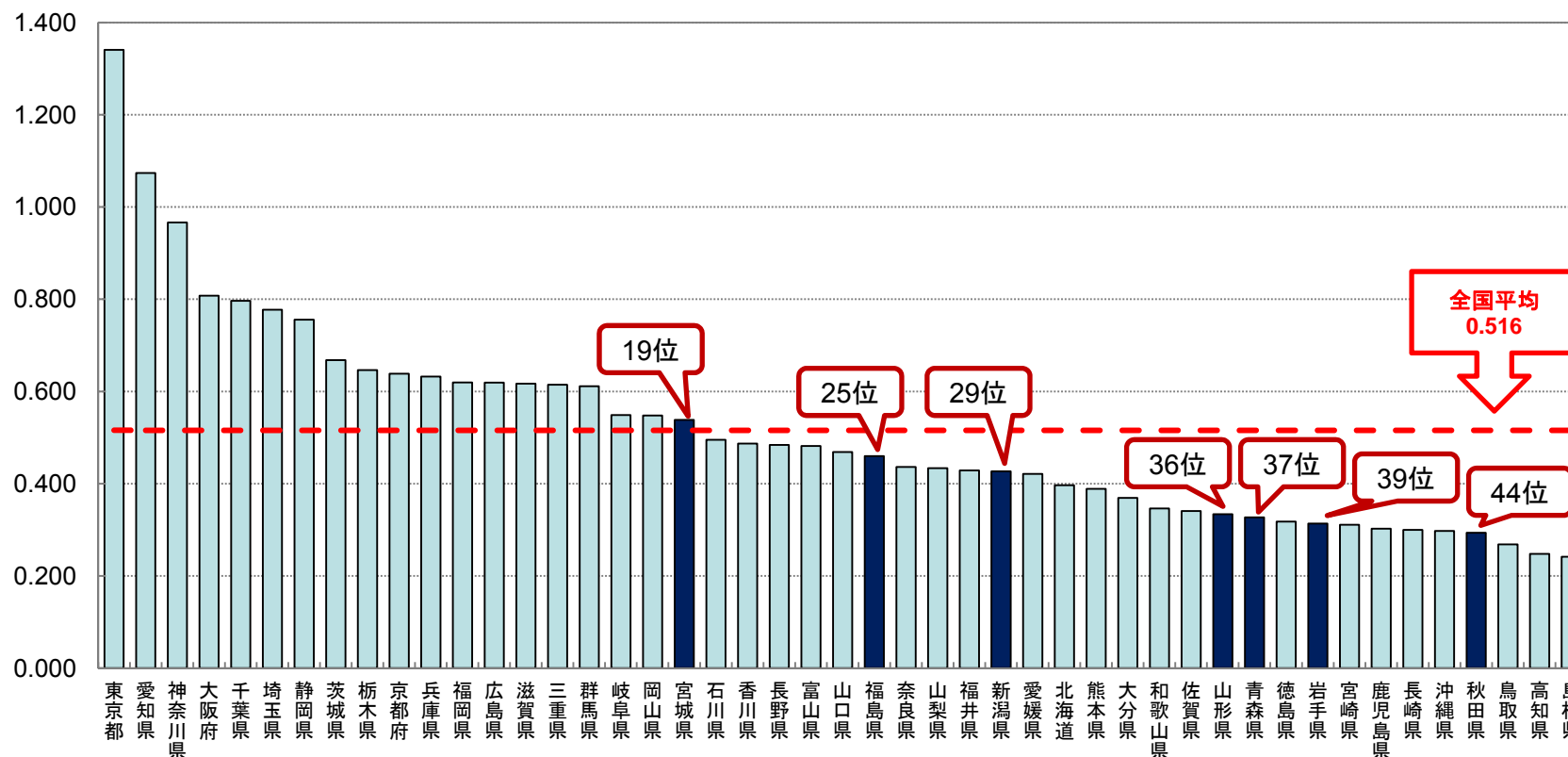
3. 財政の状況

- 財政力指数
- 経常収支比率
- 公債費比率

財政力指数

財政力指数は、宮城県を除いて全国平均より低い状況にある。

財政力指数(H21年度)のランキング

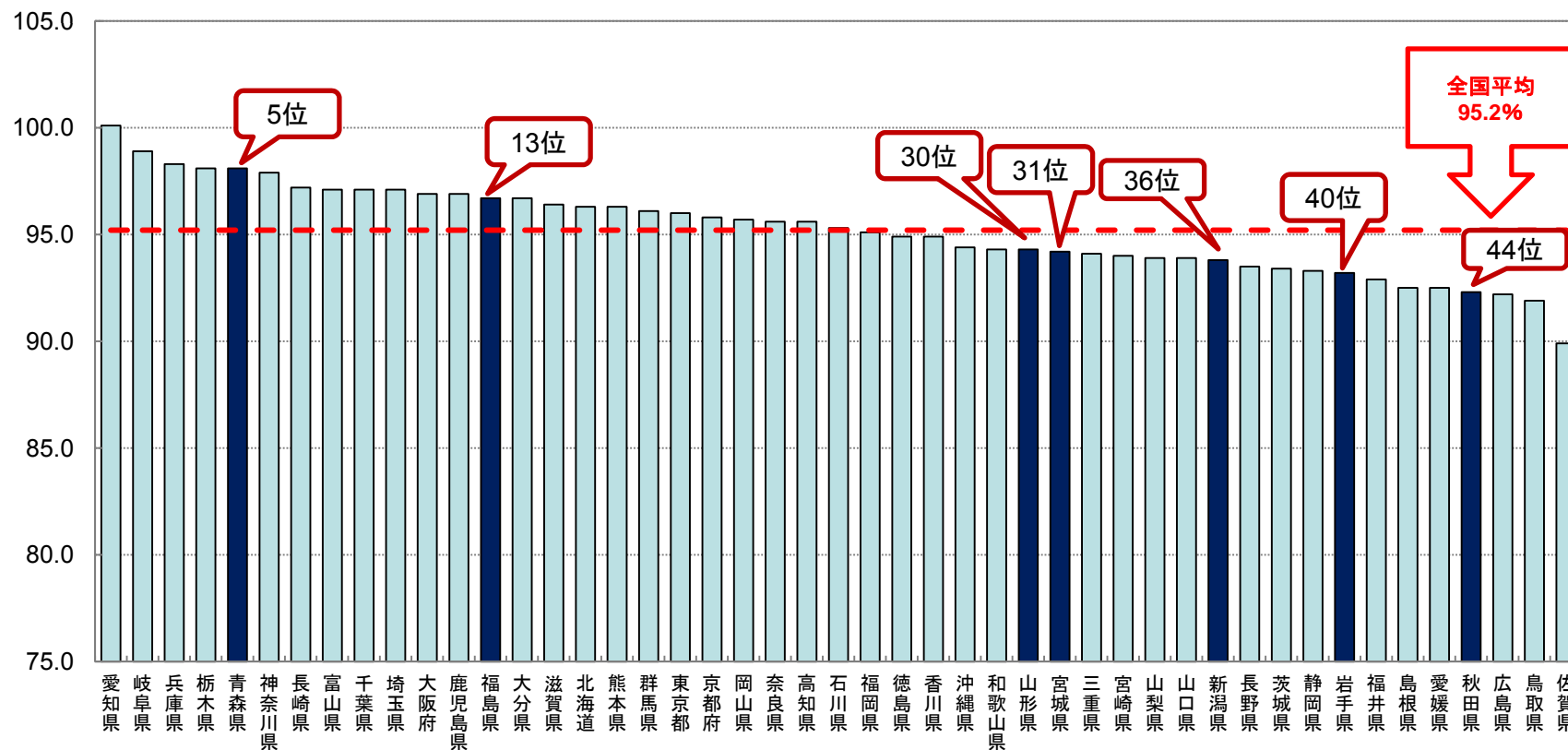


※財政力指数:地方公共団体の財政力を示す指標として用いられるもので、基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、財源に余裕があるものとされる。

経常収支比率

経常収支比率は、他地域と同様に高い状況にある。

経常収支比率(H21年度)のランキング



※経常収支比率：地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。

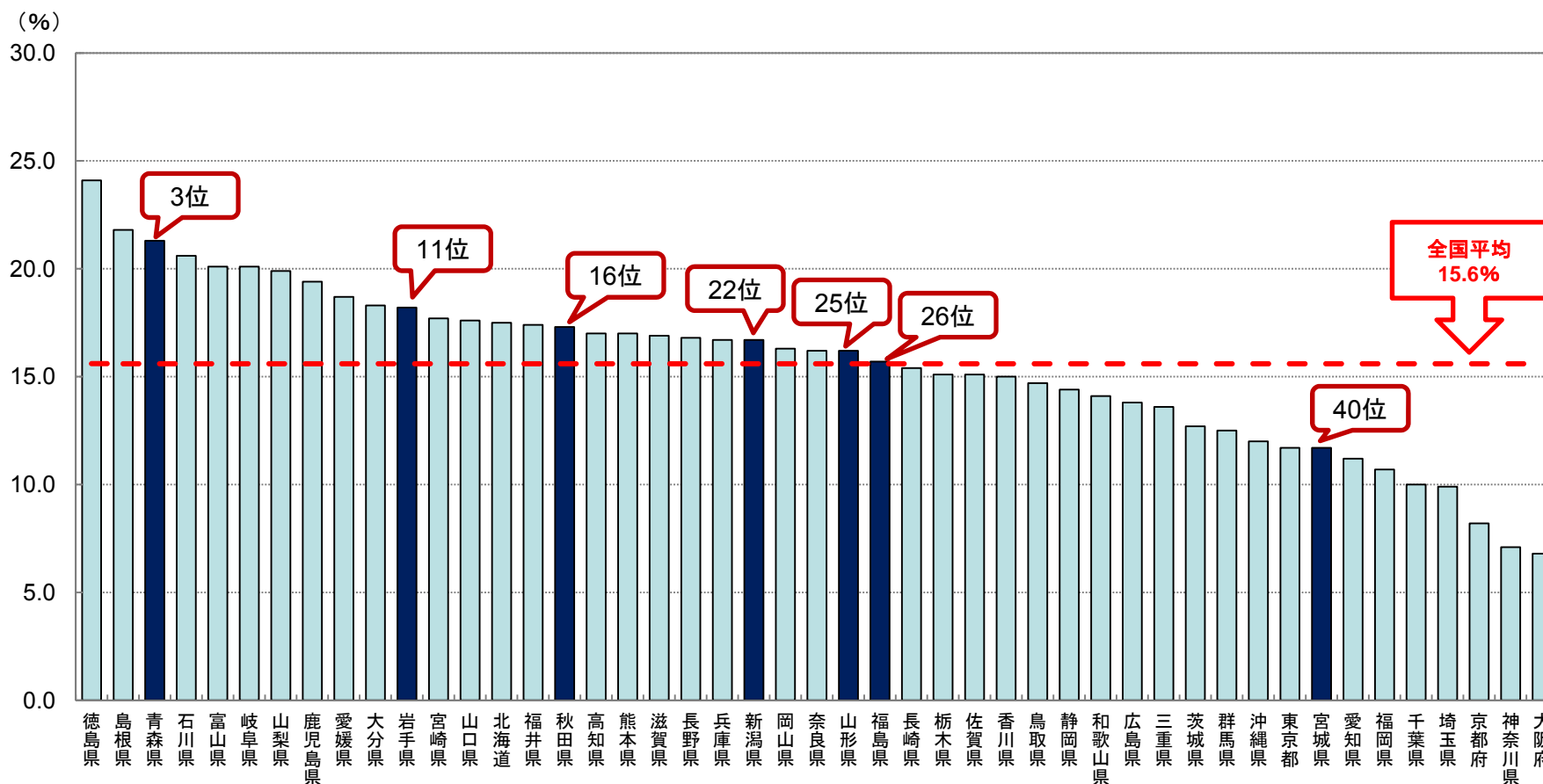
$$\text{経常収支比率}(\%) = \frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源総額}} \times 100$$

出典：総務省「平成21年度都道府県決算状況調」

公債費比率

公債費比率は、宮城県を除いて全国平均を上回っている。

公債費比率(H21年度)のランキング



※公債費比率:財政構造の弾力性を判断する指標で、公債費に充てられる一般財源の額の標準財政規模に占める割合を表す比率。

4. 土地利用等の状況

- 東北圏は自然の宝庫
- 東北圏の林野・河川
- 東北圏の海岸線延長

東北圏は表情豊かな森林や田園風景をはじめとする豊かな自然を有する。

【春】

早咲きの桜



春の田園風景



【秋】

紅葉風景



秋の田園風景



【夏】

夏の棚田



夏の田園風景



【冬】

樹氷



冬の田園風景

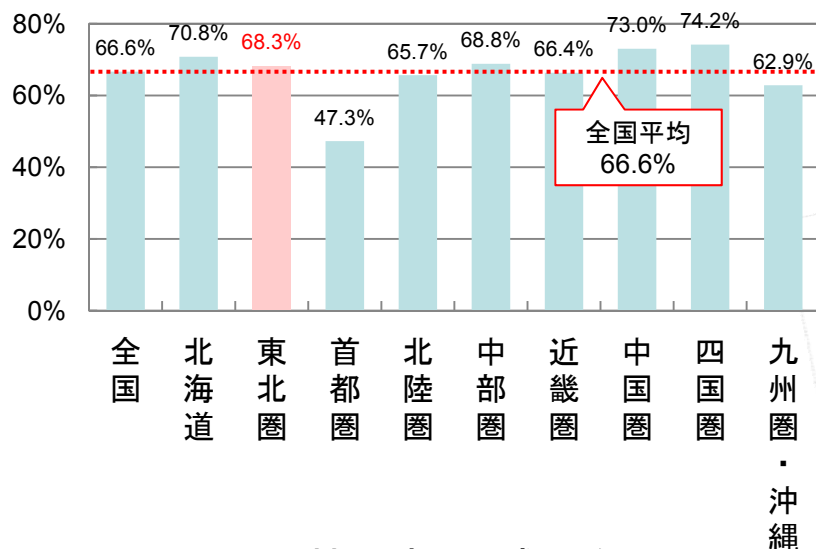


出典：飯豊観光協会ホームページ、蔵王観光協会ホームページ
美しい日本のむら景観コンテスト、日本の棚田百選

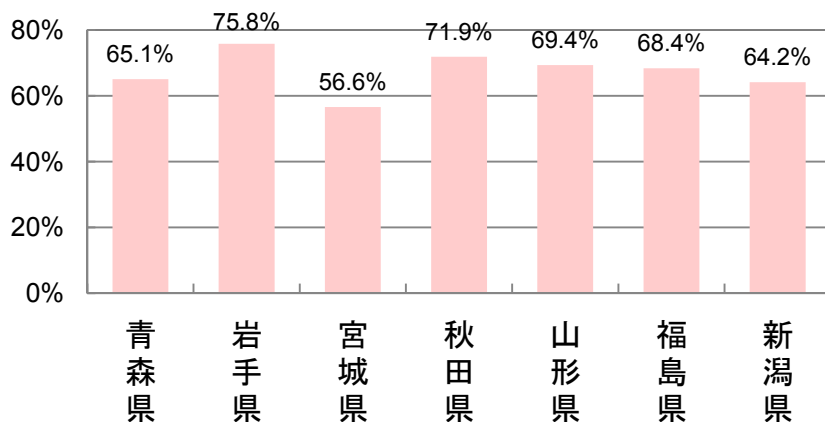
東北圏の林野・河川

東北圏の林野率は約70%で全国平均よりも高い。
川の長さ、流域面積のベスト10内に位置する大きな河川が分布。

圏域別林野率(平成22年)



県別林野率(平成22年)



東北圏の河川
(概略図)



川の長さベスト10
(平成21年)

1位	信濃川	367km
2位	利根川	322km
3位	石狩川	268km
4位	天塩川	256km
5位	北上川	249km
6位	阿武隈川	239km
7位	木曾川	229km
8位	最上川	229km
9位	天竜川	213km
10位	阿賀野川	210km

川の流域面積ベスト10
(平成21年)

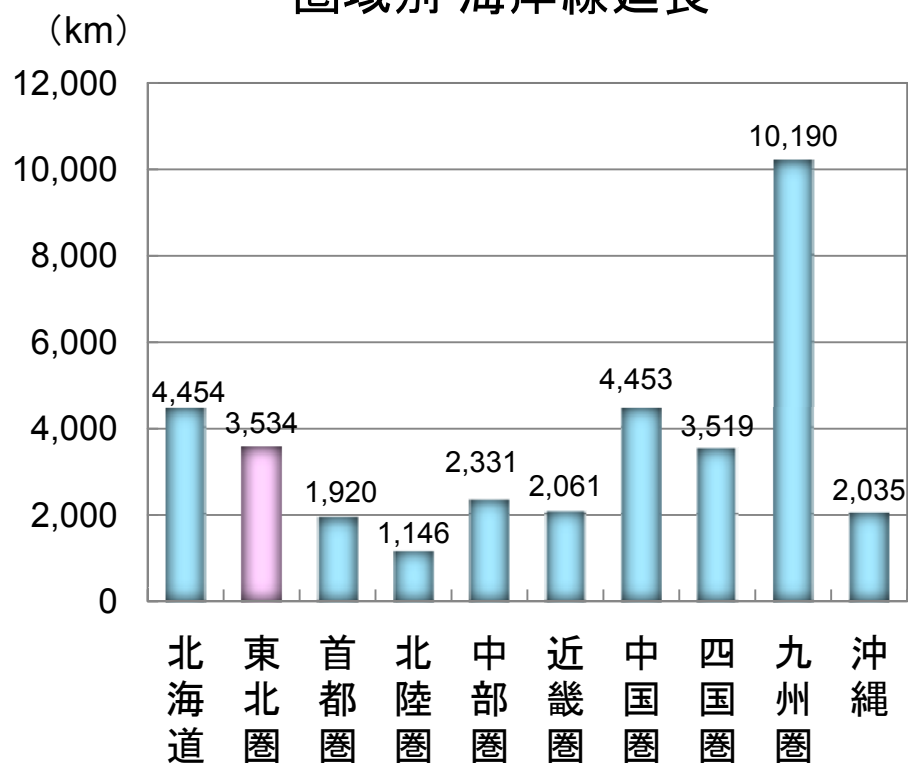
1位	利根川	16842km ²
2位	石狩川	14330km ²
3位	信濃川	11900km ²
4位	北上川	10150km ²
5位	木曾川	9100km ²
6位	十勝川	9010km ²
7位	淀川	8240km ²
8位	阿賀野川	7710km ²
9位	最上川	7040km ²
10位	天塩川	5590km ²

出典：2010年世界農林業センサス(農林水産省)
日本の統計2011(総務省)

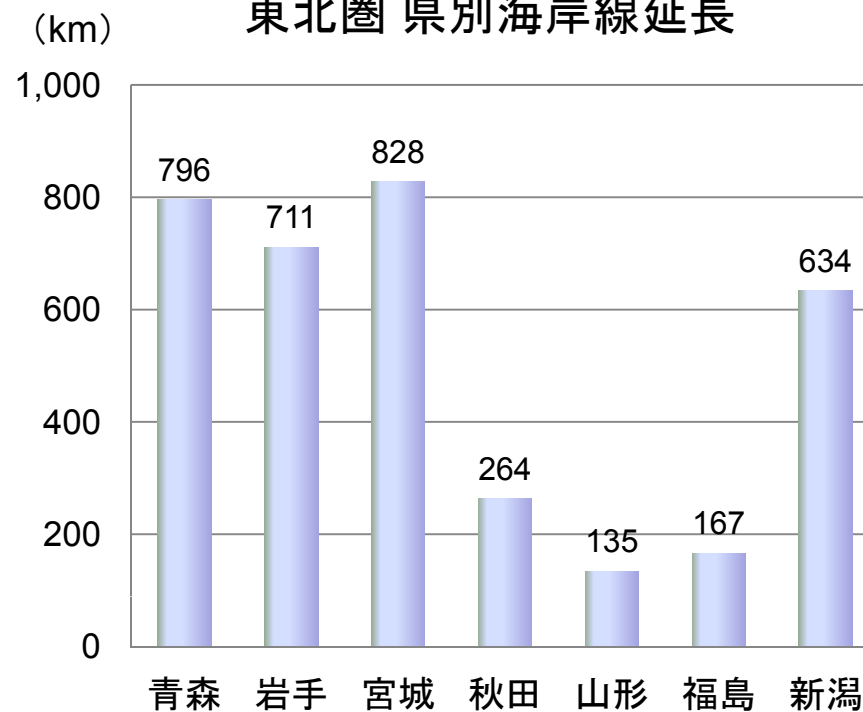
東北圏の海岸線延長

東北圏の海岸線は、九州圏・北海道・中国圏に次ぐ延長。

圏域別 海岸線延長



東北圏 県別海岸線延長



出典：2010年度版 海岸統計より(北方領土含む)

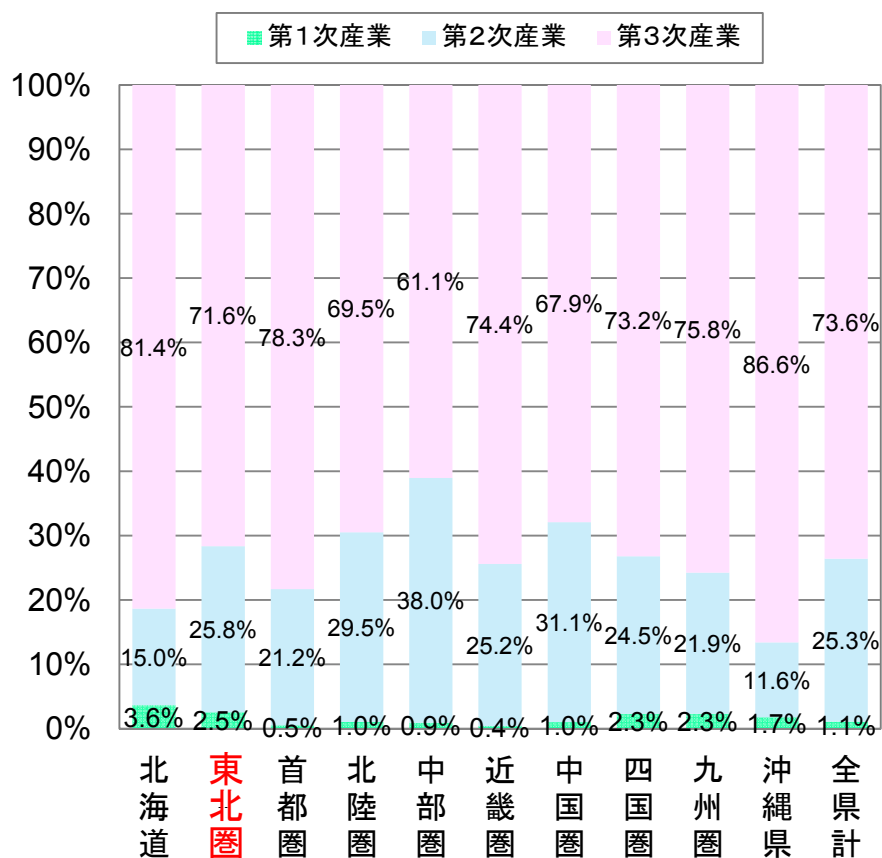
5. ものづくり・産業基盤

- 産業別域内総生産額の構成比
- 産業別県内総生産額の構成比(県別)
- 県内総生産額
- 県民所得額
- 人口一人あたりの県民所得額および推移
- 製造品出荷額等
- 製造品出荷額等の推移(県別)
- 産業中分類(製造業)別 製造品出荷額等シェア
- 有効求人倍率・失業率の推移

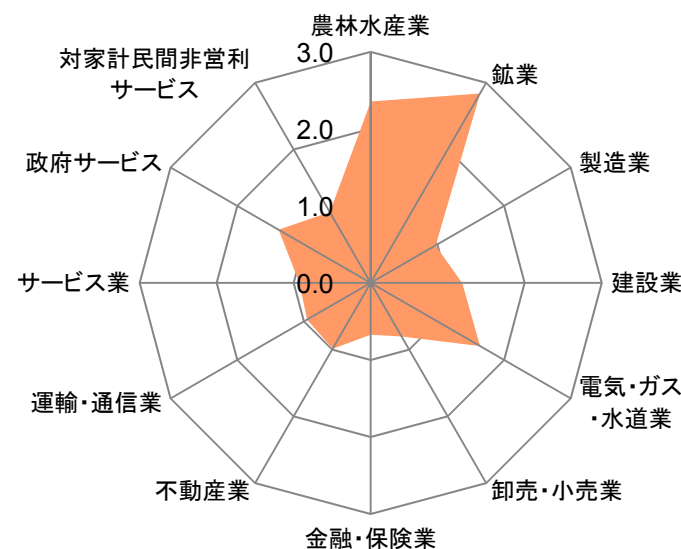
産業別域内総生産額の構成比

全国と比較して、農林水産業や鉱業に特化している。

産業別域内総生産額の構成比



東北圏の産業別 域内総生産額構成比の特化係数



【政府サービス】

公務、国や地方公共団体による廃棄物処理、下水道事業等

【対家計民間非営利サービス】

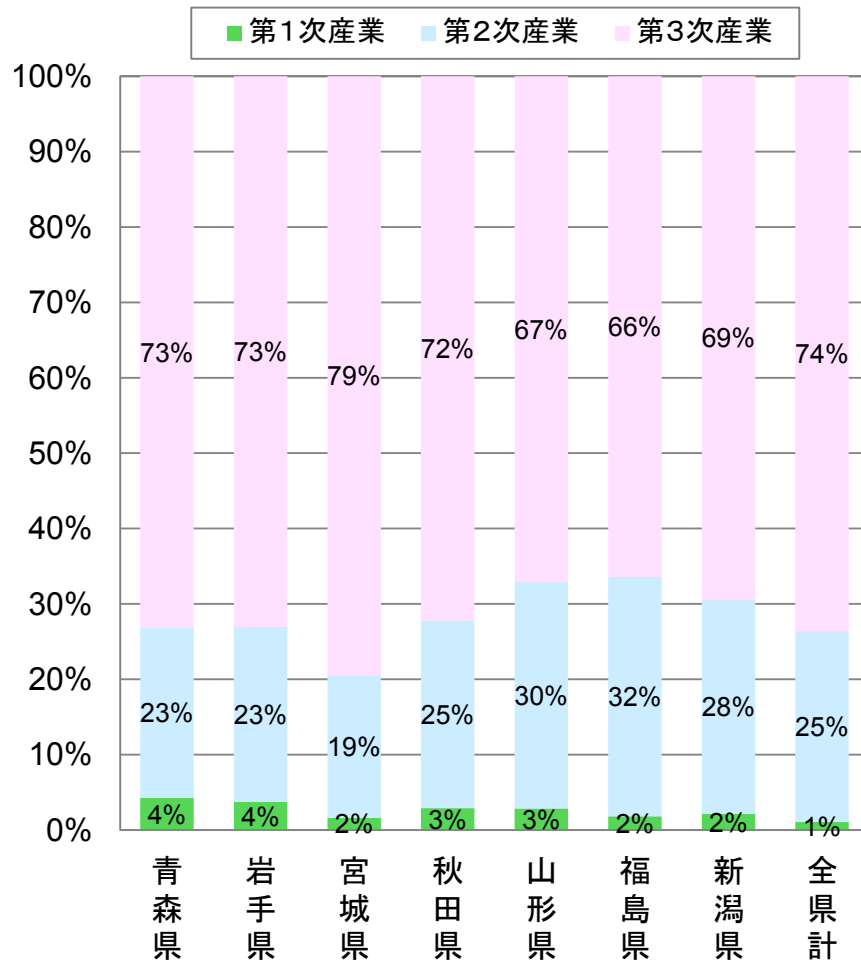
私立学校や宗教団体など、利益の追求を目的としない社会的・地域的サービスを家計に提供するもの

【特化係数】

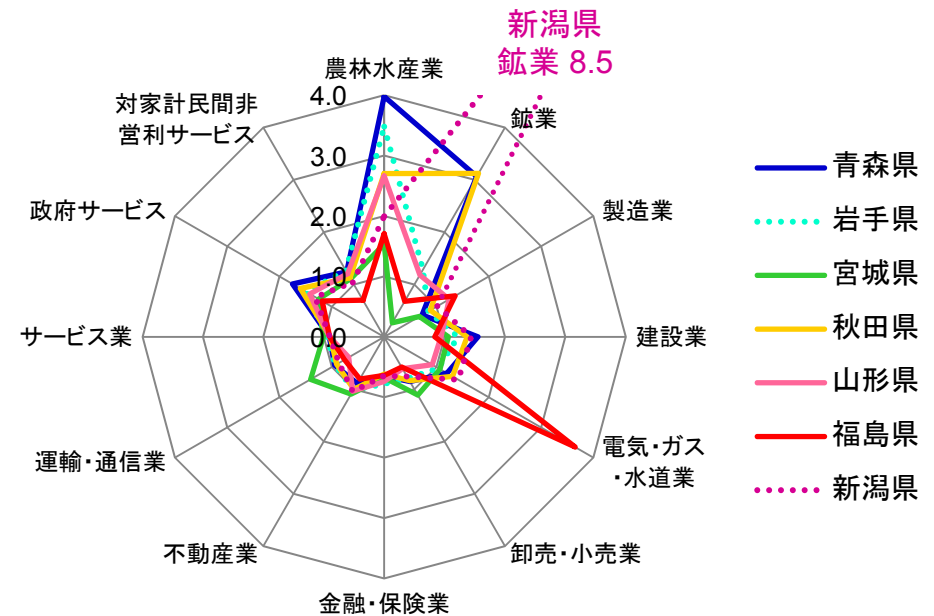
全国の構成比と東北圏の構成比の比

→東北圏における構成比が、全国における構成比を上回ると特化係数は1を超える

産業別県内総生産額の構成比



県別(東北圏)の産業別 県内総生産額構成比の特化係数



【政府サービス】

公務、国や地方公共団体による廃棄物処理、下水道事業等

【対家計民間非営利サービス】

私立学校や宗教団体など、利益の追求を目的としない社会的・地域的サービスを家計に提供するもの

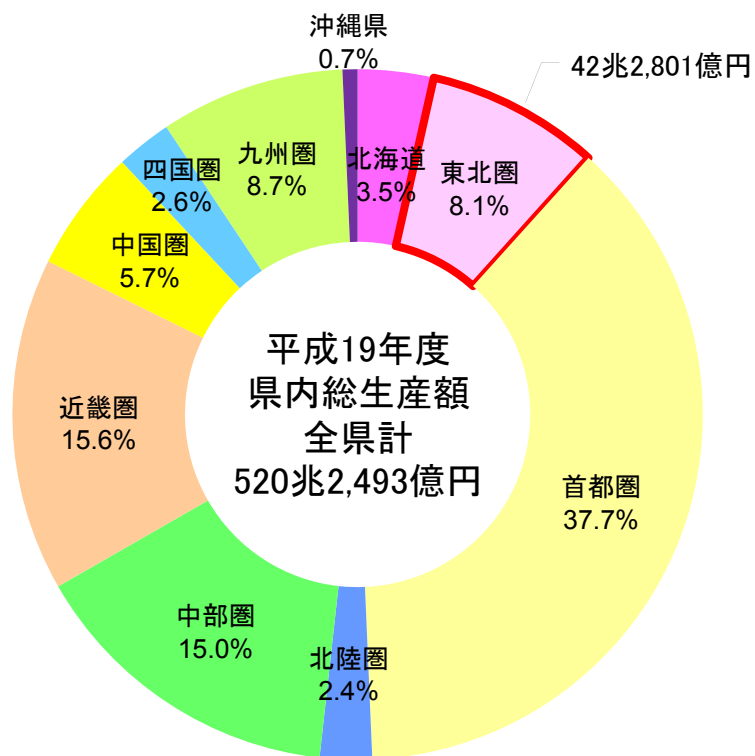
【特化係数】

全国の構成比と東北圏各県の構成比の比
→各県における構成比が、全国における構成比を上回ると特化係数は1を超える

県内総生産額

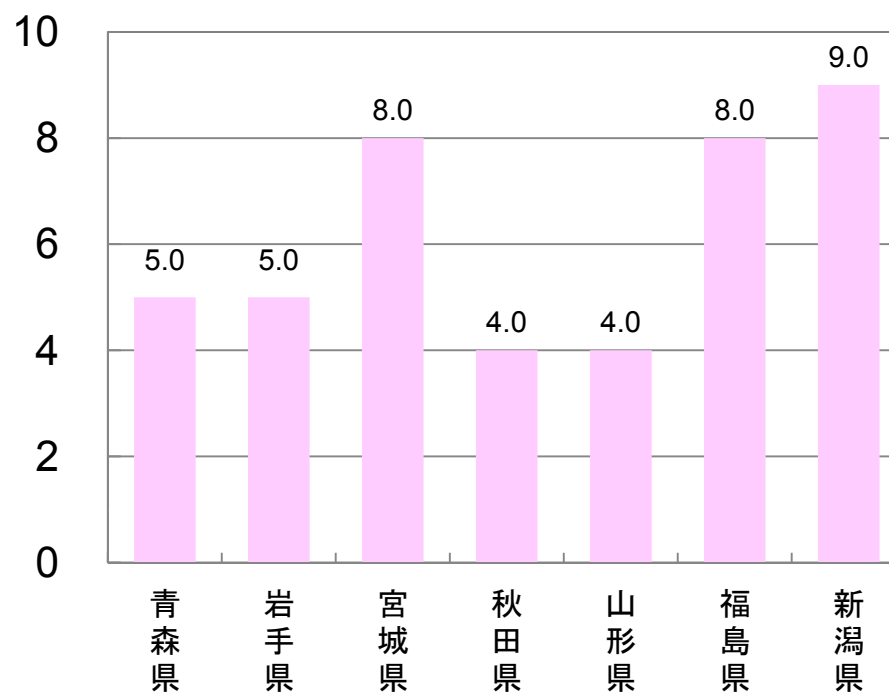
東北圏の県内総生産は全国の1割未満。

平成19年度 ブロック別
域内総生産額



平成19年度 東北圏
県内総生産額(県別)

(兆円)

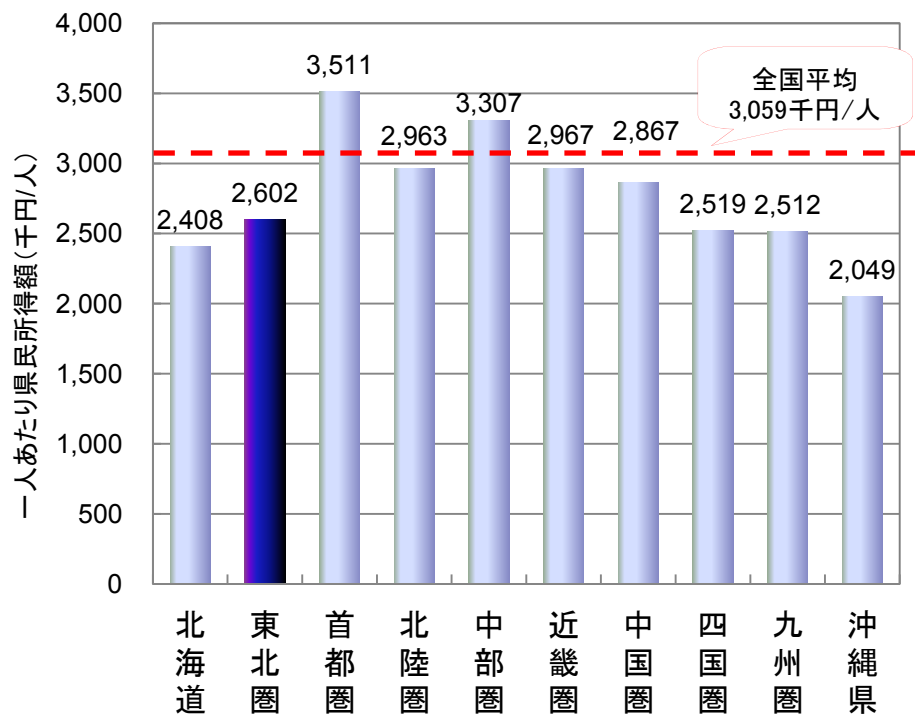


出典:平成19年度県民経済計算年報(平成22年6月発行)

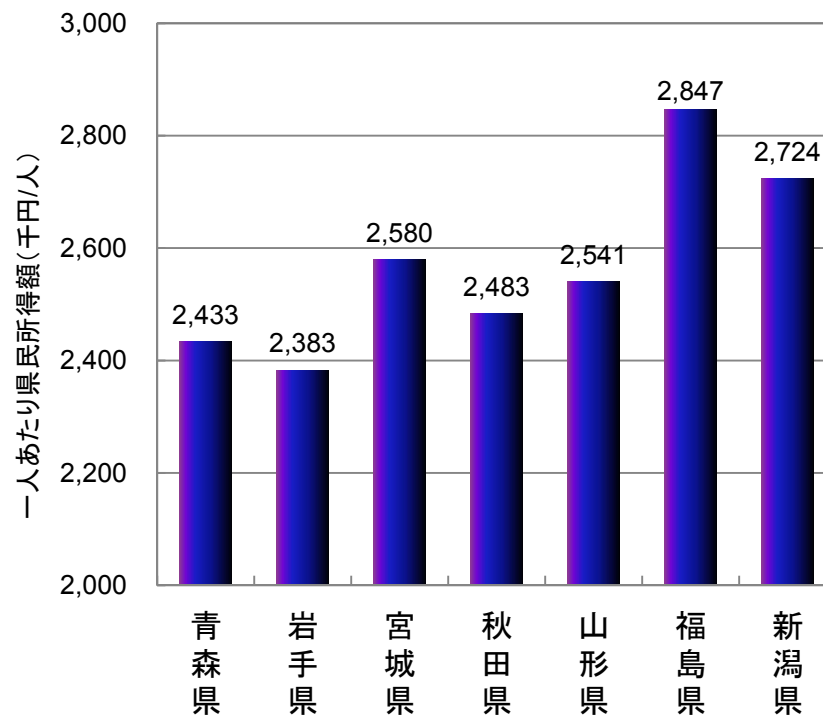
県民所得額

一人あたりの県民所得額は全国平均の85%程度。

平成19年度 ブロック別
一人あたり県民所得額



平成19年度 東北圏
一人あたり県民所得額(県別)

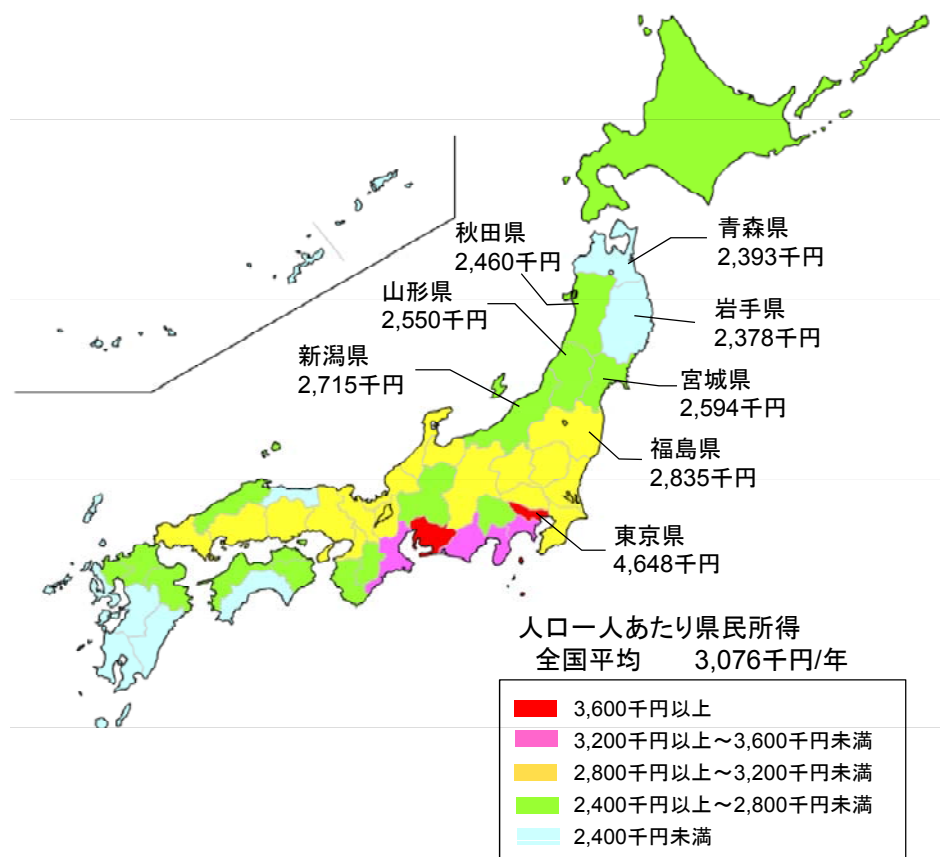


出典:平成19年度県民経済計算年報(平成22年6月発行)

人口一人あたりの県民所得額および推移

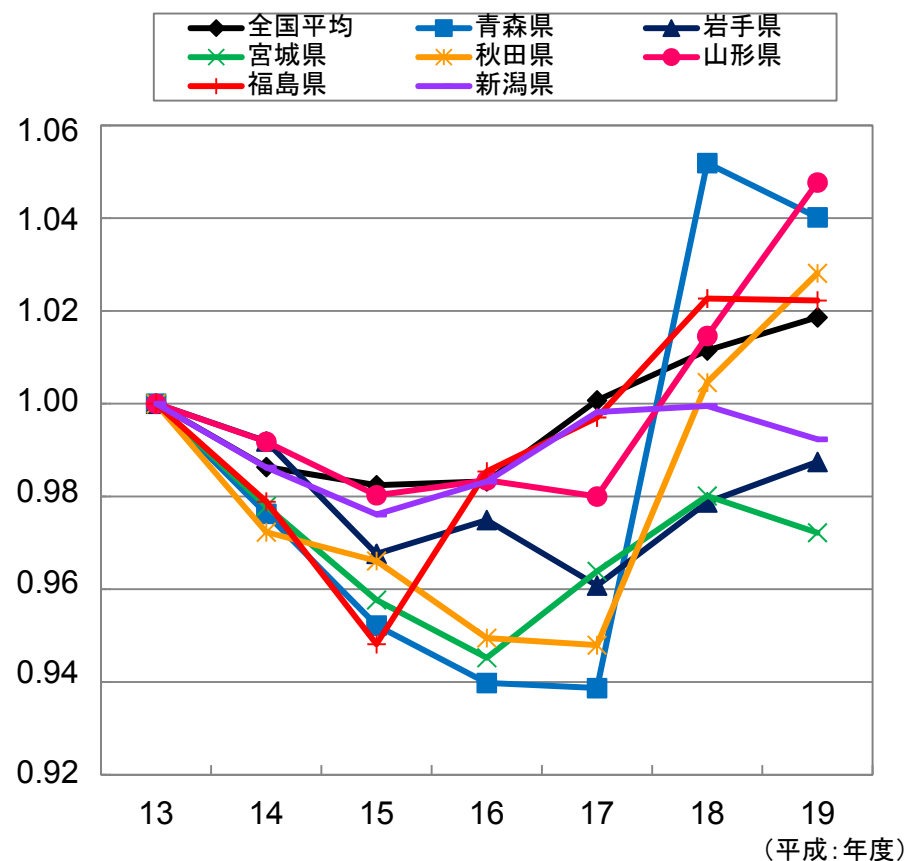
人口一人あたりの県民所得額は各県とも全国平均を下回る。

人口一人あたり県民所得の全国比較
(平成19年度)



出典：平成19年度県民経済計算(内閣府)、
平成19年度住民基本台帳人口(総務省)

県民一人あたり県民所得額の推移
(平成13年度を1.00とする)

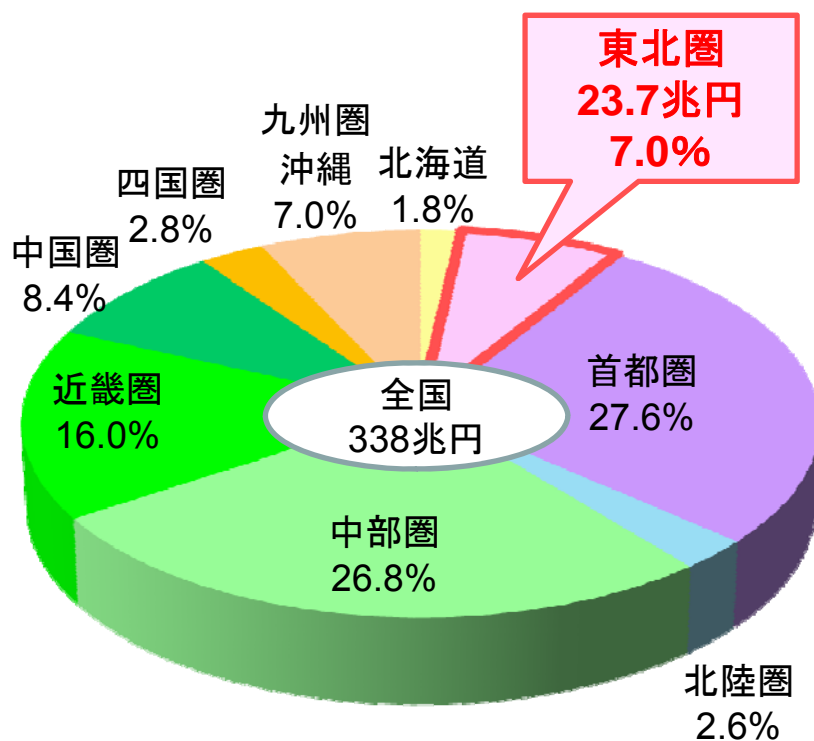


出典：各年度県民経済計算(内閣府)

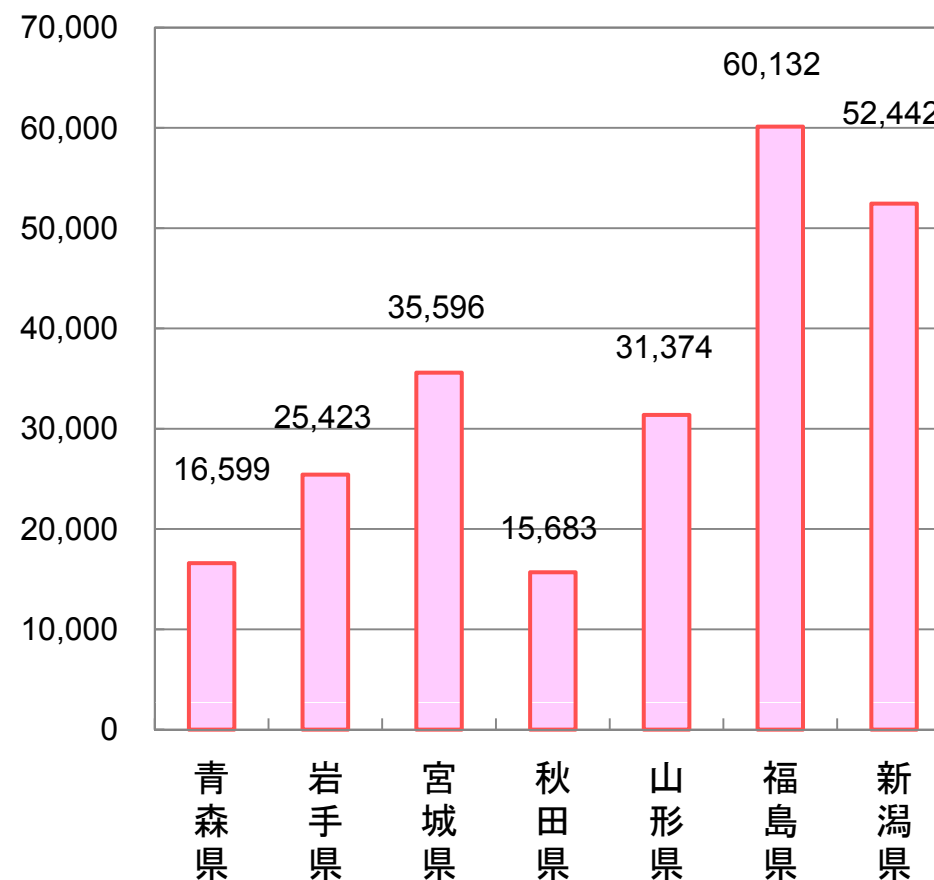
製造品出荷額等

東北圏における製造品出荷額等の全国シェアは7.0%。

製造品出荷額等シェア(平成20年)



(億円) 東北圏の製造品出荷額等(平成20年)

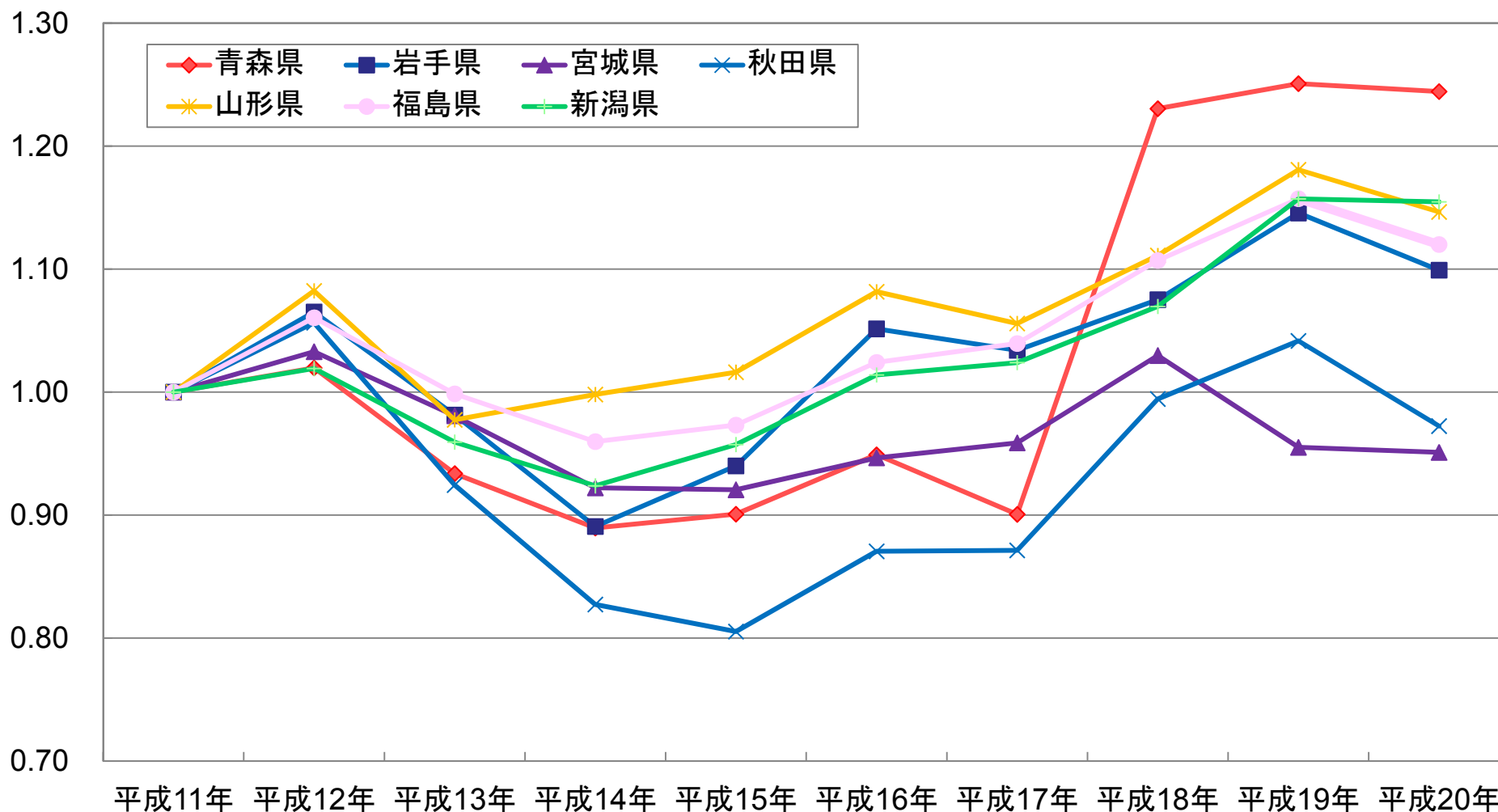


(注) 製造品出荷額等は、1年間における製造品出荷額、加工賃収入額及びその他収入額の合計であり、消費税及び内国消費税額を含んだ額を指す。

製造品出荷額等の推移(県別)

平成11年と比較し、平成20年の青森、新潟、山形、岩手、福島の製造品出荷額は上昇

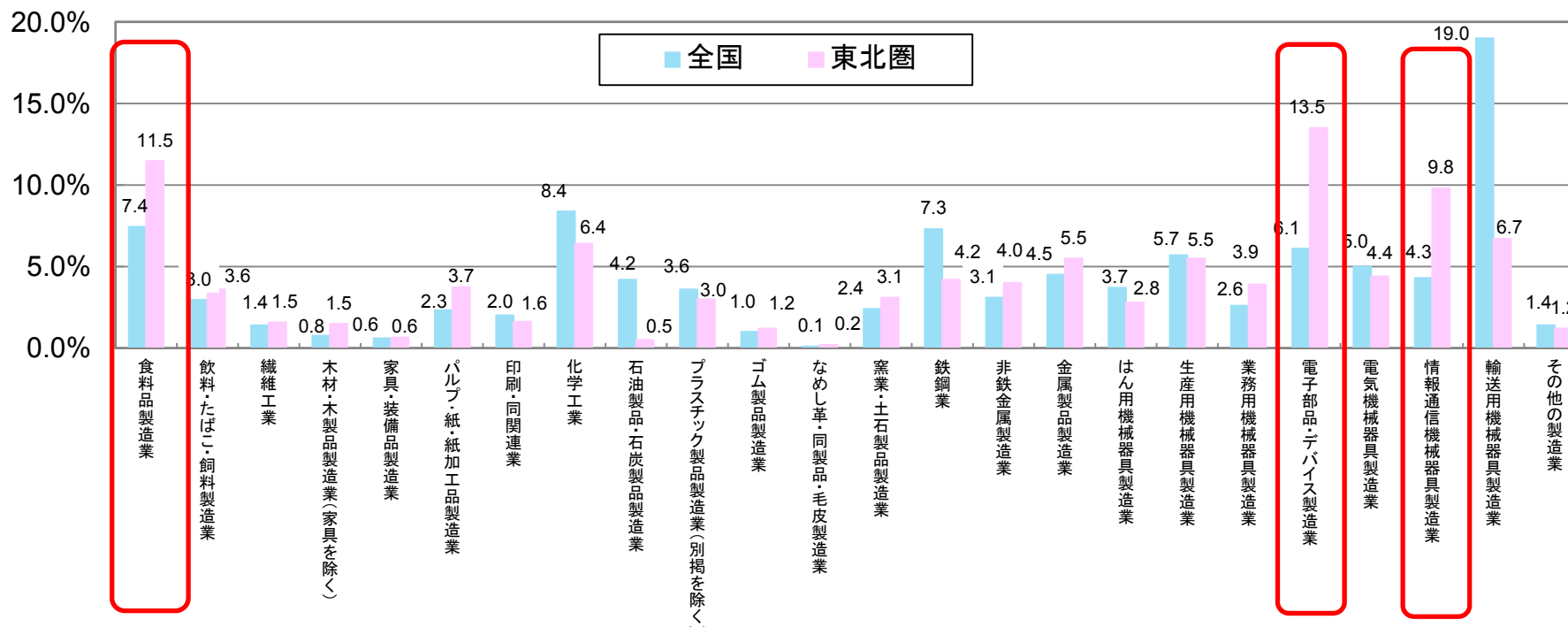
製造品出荷額の推移(平成11年を1.00とした場合)



産業中分類(製造業)別 製造品出荷額等シェア

電子部品・デバイス製造業、食料品製造業、情報通信機器製造業の出荷額が高い。

全国と東北圏を比較した産業中分類(製造業)別出荷額等シェア(平成20年)



製造品出荷額等の都道府県別順位(平成20年)

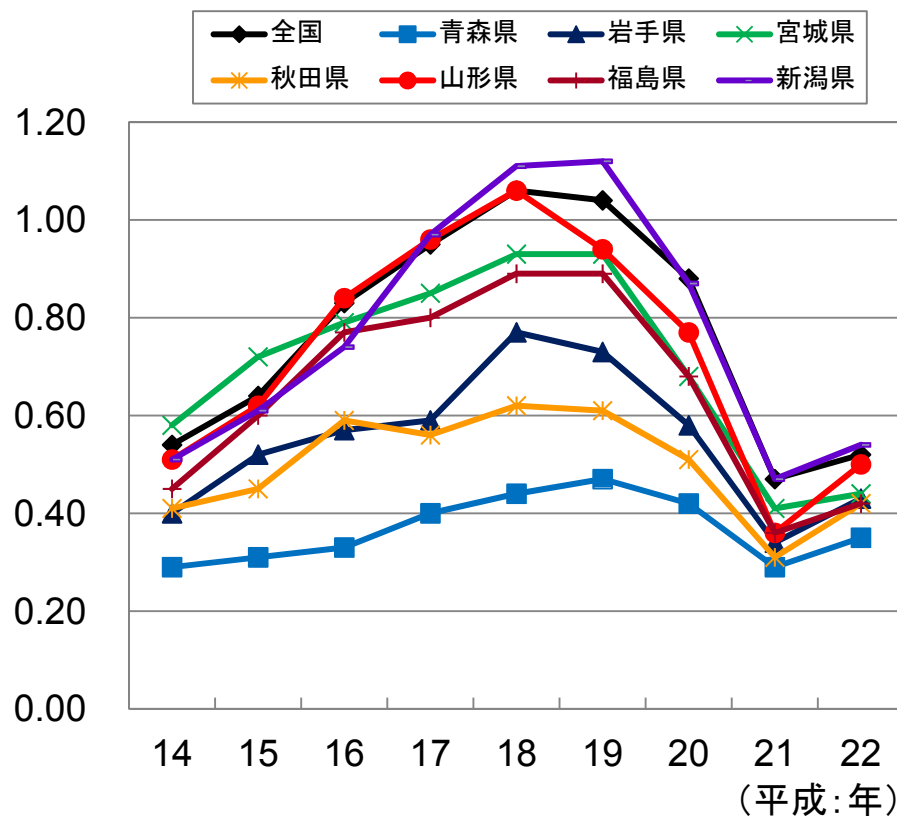
順位	全国	東北圏	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	新潟県
1	輸送用機械器具製造業	電子部品・デバイス製造業	非鉄金属製造業	輸送用機械器具製造業	食料品製造業	電子部品・デバイス製造業	情報通信機械器具製造業	情報通信機械器具製造業	食料品製造業
2	化学工業	食料品製造業	食料品製造業	食料品製造業	電子部品・デバイス製造業	化学工業	電子部品・デバイス製造業	電子部品・デバイス製造業	化学工業
3	食料品製造業	情報通信機械器具製造業	鉄鋼業	電子部品・デバイス製造業	鉄鋼業	食料品製造業	食料品製造業	輸送用機械器具製造業	電子部品・デバイス製造業

(注) 製造品出荷額等は、1年間における製造品出荷額、加工賃収入額及びその他収入額の合計であり、消費税及び内国消費税額を含んだ額を指す。

有効求人倍率・失業率の推移

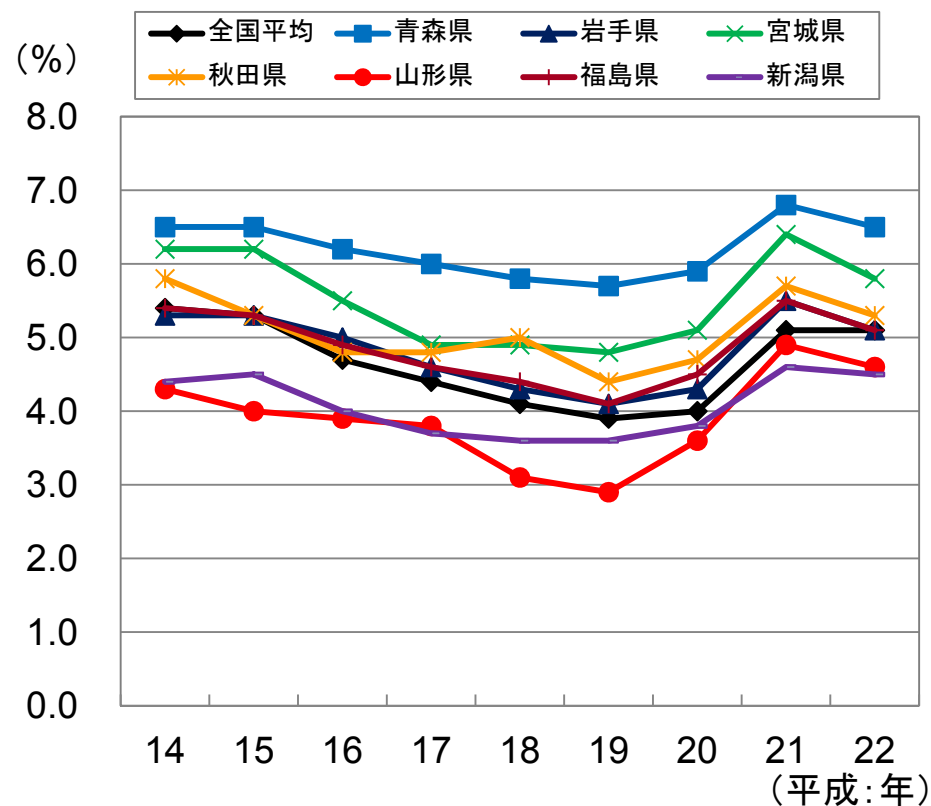
有効求人倍率は一部の県を除き、全国平均を下回る状況。

有効求人倍率の推移



出典：各年度県民経済計算(内閣府)

完全失業率の推移



(注)労働力調査は、都道府県別に表章するように標本設計を行っていないことから、都道府県別数値はモデル推計値

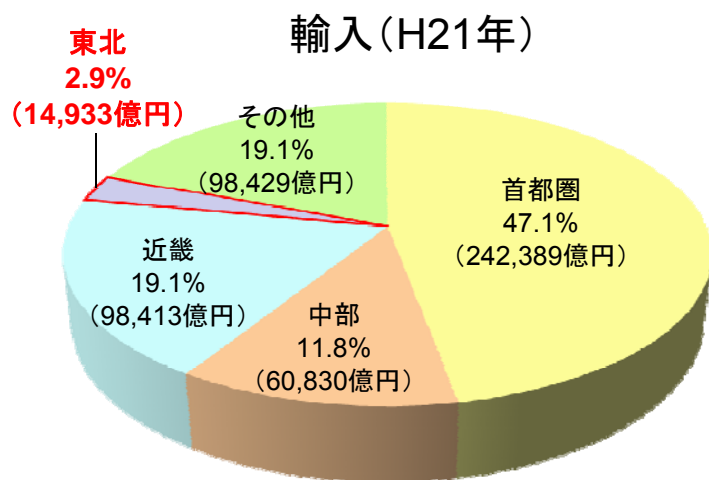
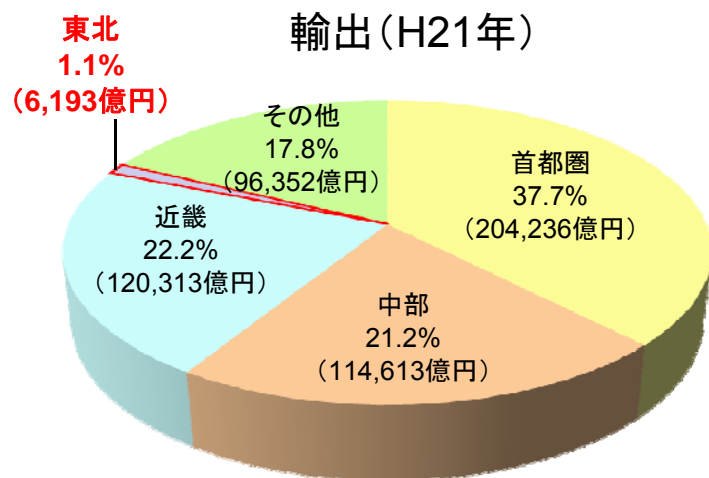
出典：労働力調査(総務省統計局)

6. 交通インフラ・国内外との接続状況

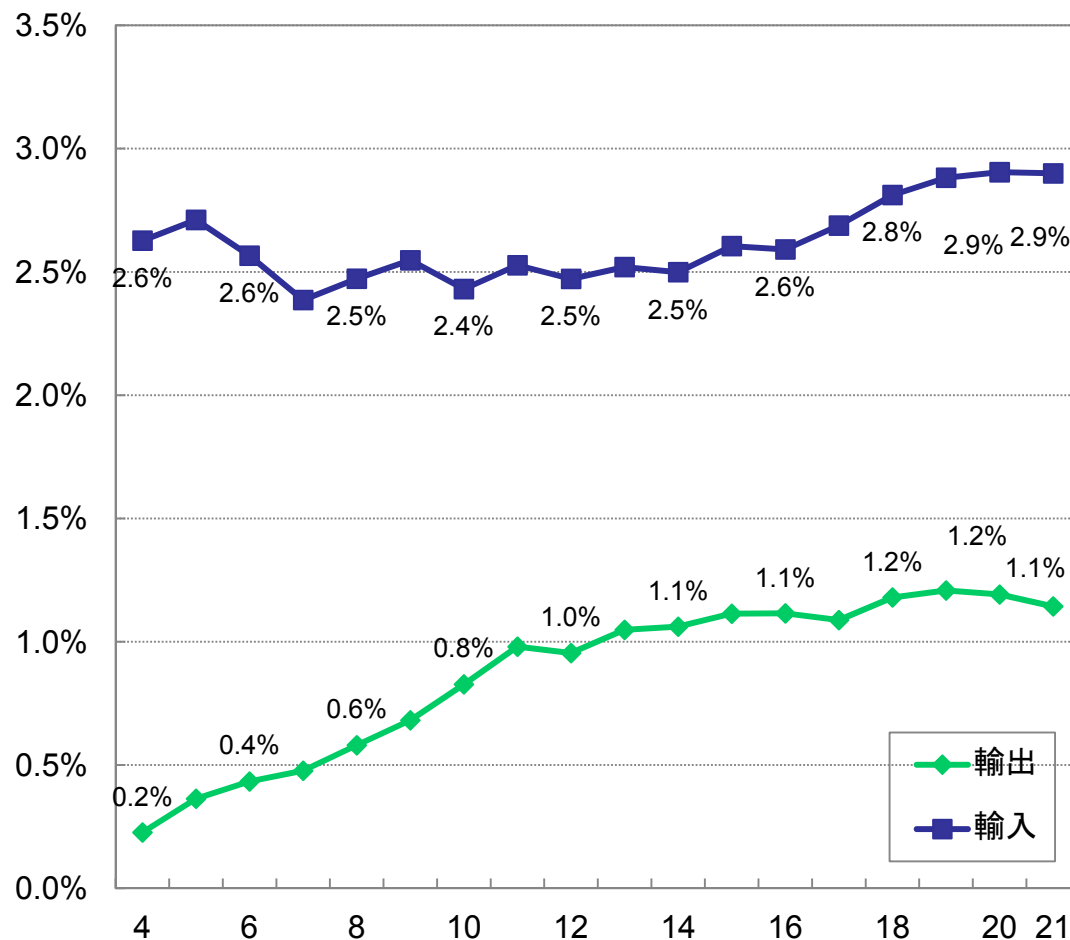
- 東北圏の輸出・輸入
- 東北圏の輸出・輸入(県別)
- 東北圏の空港立地と利用状況
- 空港別の旅客輸送実績
- 東北圏の国際線旅客数の割合
- 港湾の利用状況
- 東北圏の海上輸送の状況(国内貨物)
- 東北圏の海上輸送の状況(貿易貨物)
- 出国日本人数割合、訪日外国人の東北圏への訪問率
- バス輸送人員の推移
- 自動車保有台数の推移等

東北圏の輸出・輸入

全国に対し、輸出額約1.2%、輸入額約3%とシェアは少なく、横ばい。



東北圏の輸出入額シェアの推移



(平成:年)

出典:貿易統計(財務省)

東北圏の各県輸出入額割合(H21年)

輸出

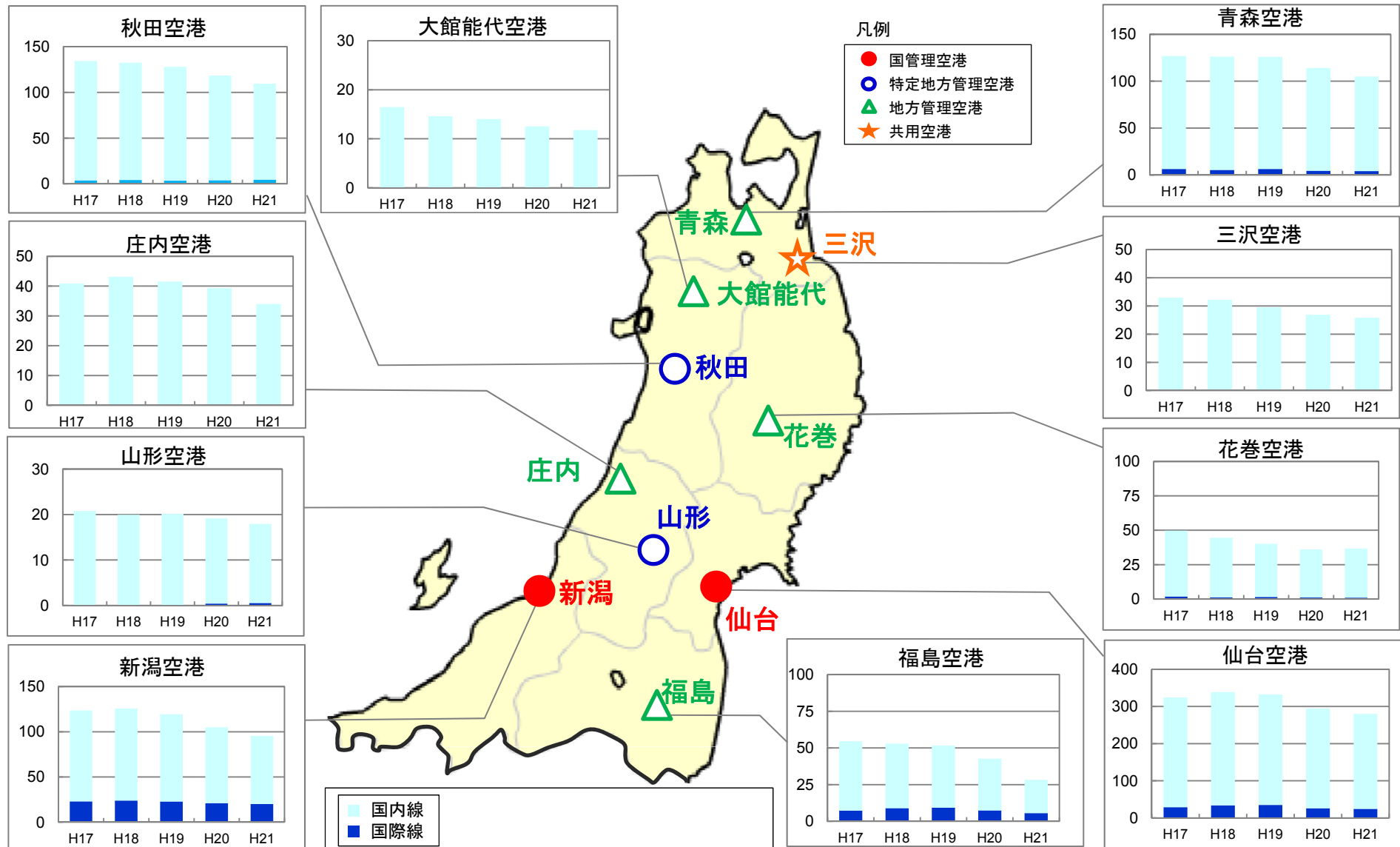
県名	輸出額 (百万円)	全国比 (%)
全 国	54,170,612	—
東北圏	619,271	1.14
青森県	123,416	0.23
岩手県	10,872	0.02
宮城県	280,864	0.52
秋田県	21,663	0.04
山形県	31,303	0.06
福島県	32,133	0.06
新潟県	119,020	0.22

輸入

県名	輸入額 (百万円)	全国比 (%)
全 国	51,499,378	—
東北圏	1,493,320	2.90
青森県	125,321	0.24
岩手県	17,133	0.03
宮城県	435,535	0.85
秋田県	77,528	0.15
山形県	63,743	0.12
福島県	347,517	0.67
新潟県	426,543	0.83

東北圏の空港立地と利用状況

圏域内の空港の乗降客数は減少傾向。



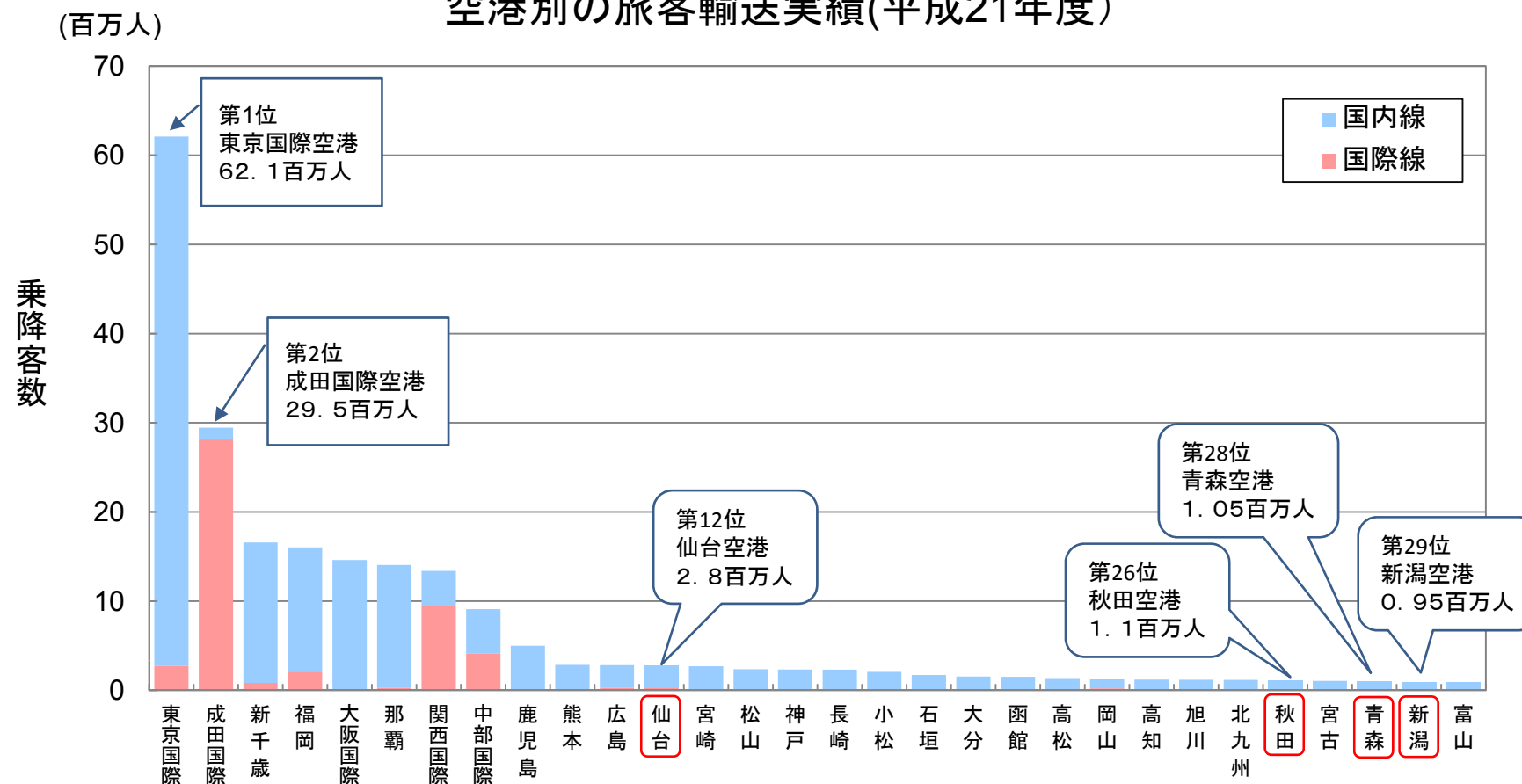
※【単位】: 縦軸は乗降客数(万人)、横軸は年度を表す

出典: 暦年・年度別空港管理状況調査(国土交通省航空局)

空港別の旅客輸送実績

旅客輸送実績で東北圏1位の仙台空港は、全国98空港中12位。

空港別の旅客輸送実績(平成21年度)



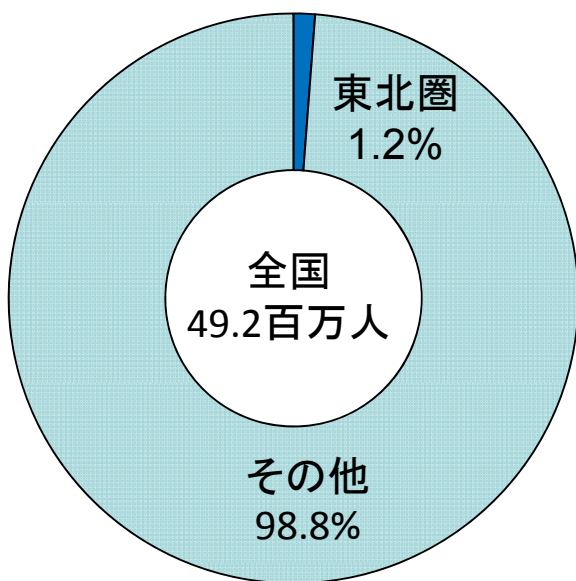
◆その他の東北圏空港◆
 41位: 花巻空港(約0.37百万人) 42位: 庄内空港(約0.34百万人) 46位: 福島空港(約0.28百万人)
 48位: 三沢空港(約0.26百万人) 51位: 山形空港(約0.18百万人) 59位: 大館能代空港(約0.12百万人)
 ※佐渡空港(乗降客なし)

出典: 暦年・年度別空港管理状況調書 (国土交通省航空局)

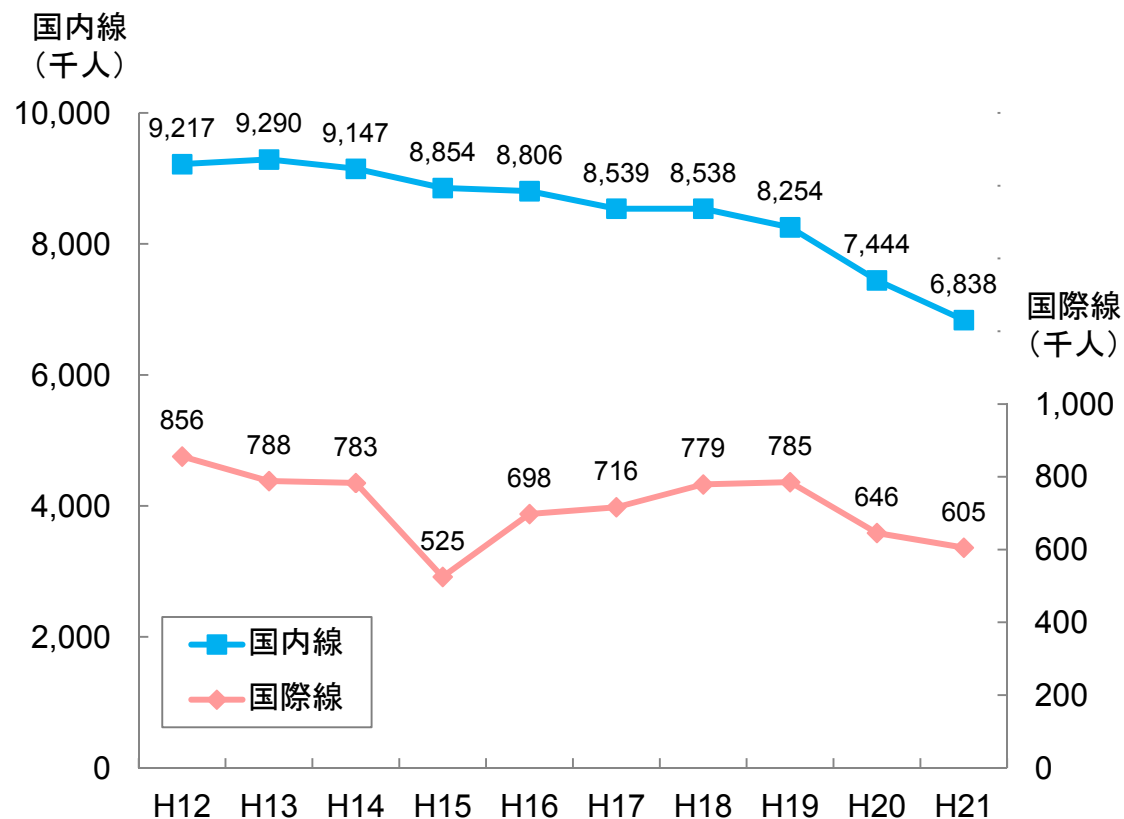
東北圏の国際線旅客数の割合

国際線旅客数は対全国比1.2%と低位。利用客数は緩やかな減少傾向。

国際線旅客数の全国比
(平成21年度)



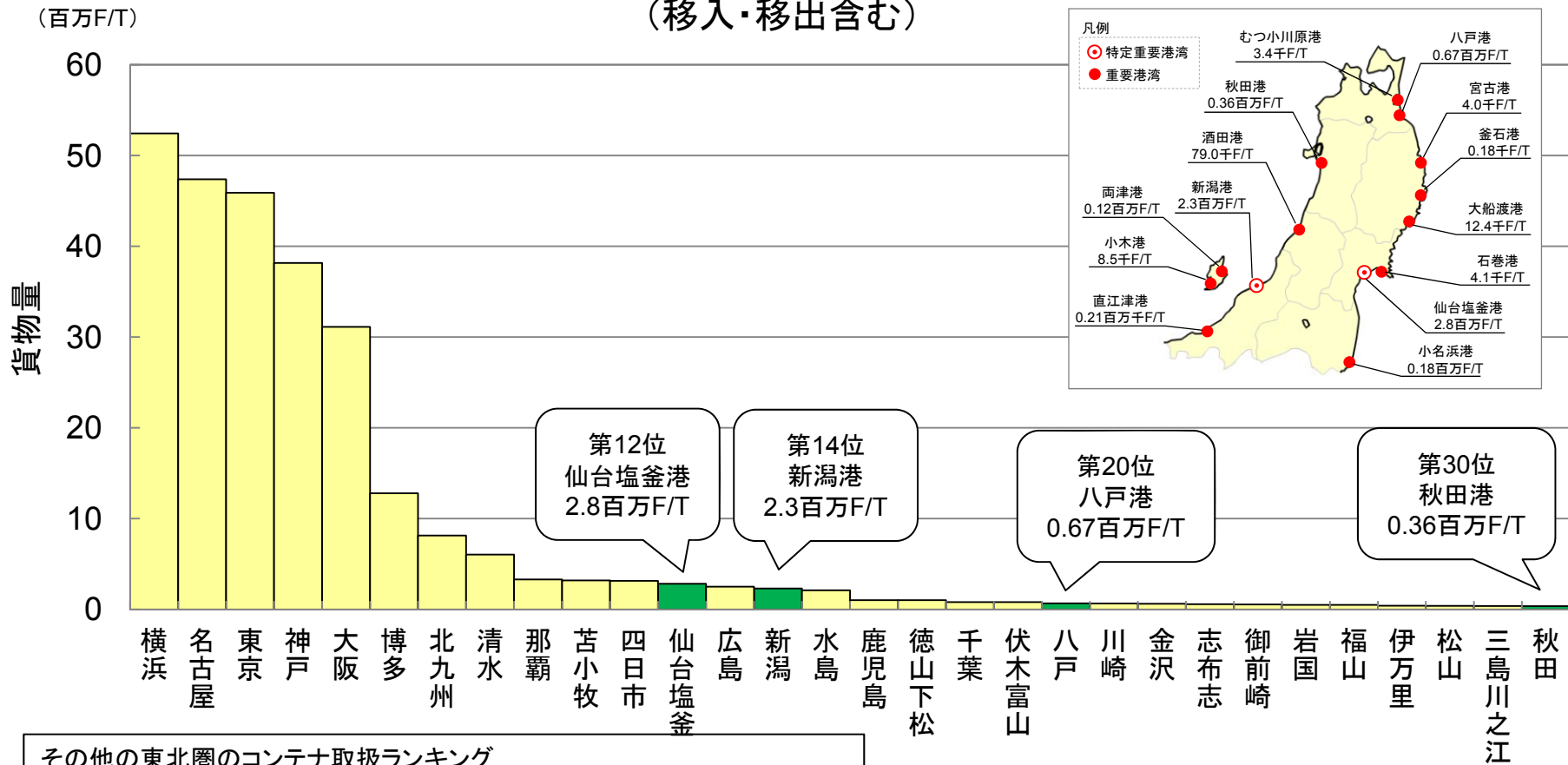
東北圏の国内線、国際線の利用者数の推移



出典: 暦年・年度別空港管理状況調書
(国土交通省航空局)

全国134のコンテナ貨物取扱湾中、仙台塩釜港が12位、新潟港が14位。

コンテナ取扱貨物量順位 平成20年度
(移入・移出含む)



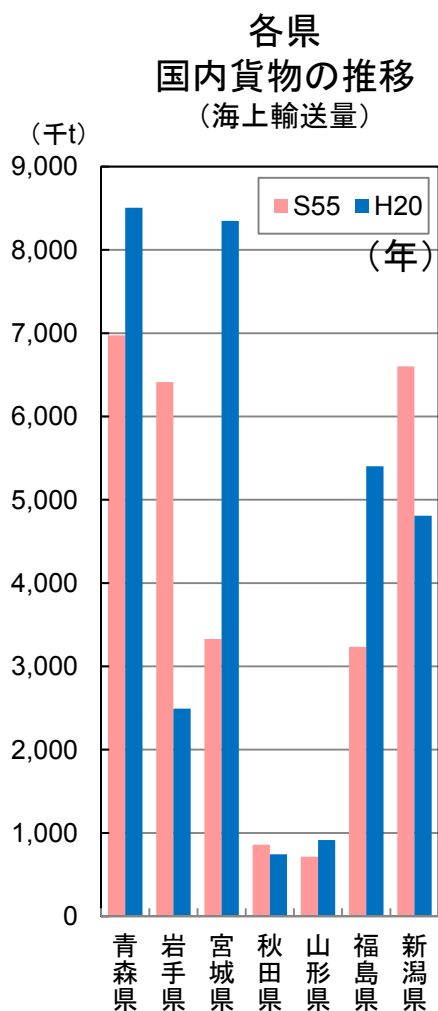
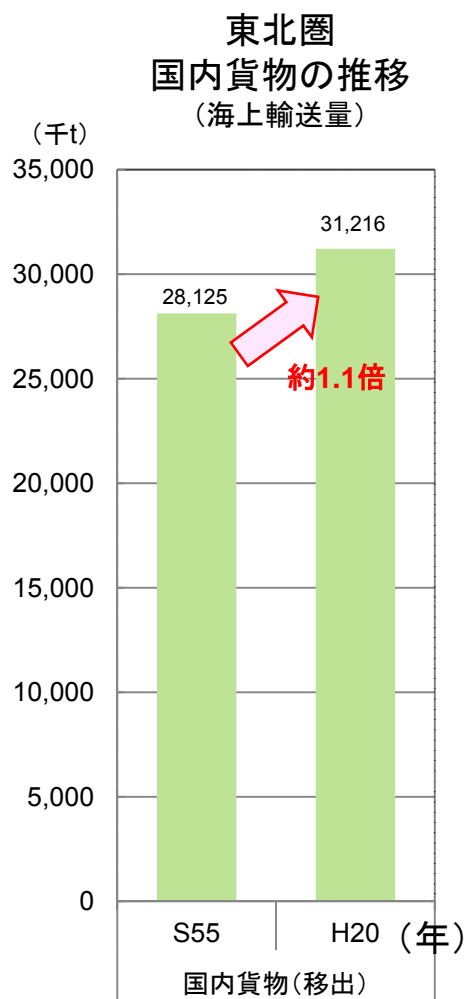
その他の東北圏のコンテナ取扱ランキング

38位: 直江津港 (約209千F/T)	42位: 小名浜港 (約177千F/T)
50位: 両津港 (約123千F/T)	60位: 酒田港 (約79千F/T)
89位: 大船渡港 (約12千F/T)	94位: 小木港 (約8千F/T)
110位: 石巻港 (約4千F/T)	111位: 宮古港 (約4千F/T)
115位: むつ小川原港 (約3千F/T)	130位: 釜石港 (約0.1F/T)

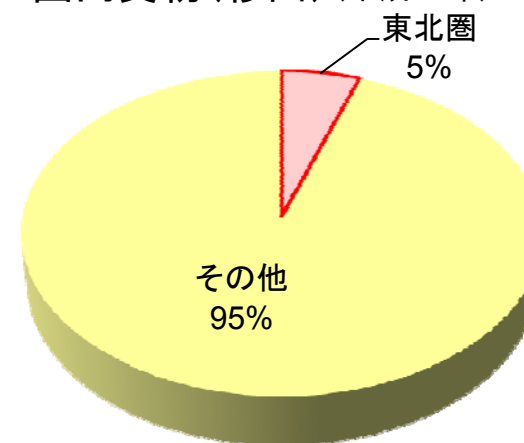
出典: 港湾取扱貨物量等の現況(国土交通省)
資料における上位30位までを図化

東北圏の海上輸送の状況(国内貨物)

東北圏全体の輸送量は増加傾向。



国内貨物(移出)(平成20年)



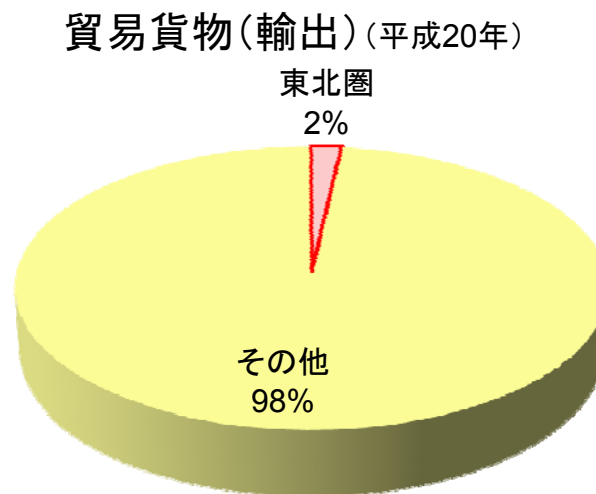
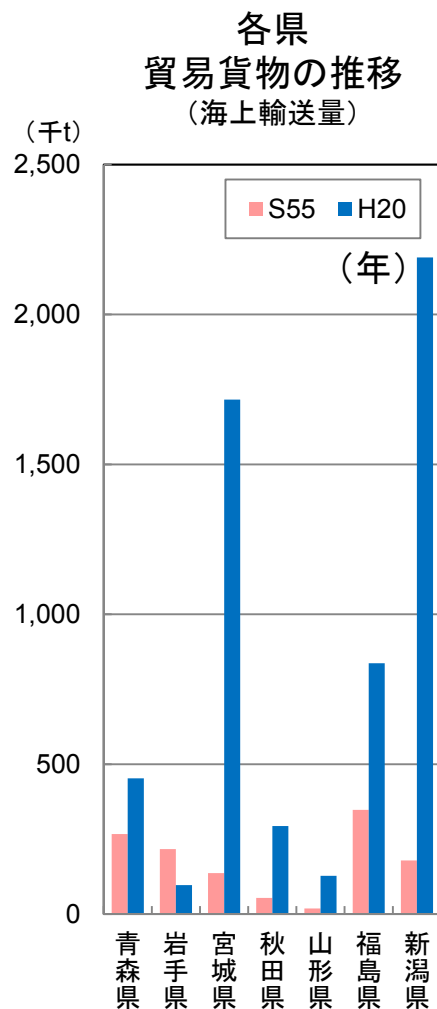
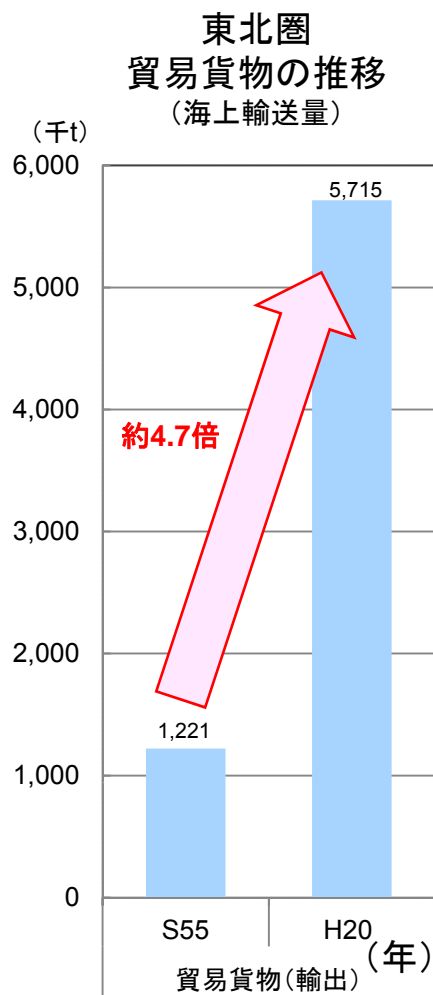
国内貨物(移出) 東北圏内訳(平成20年)

県名	国内貨物(移出) (千トン)	全国比 (%)
全国	581,862	-
東北圏	31,216	5.4
青森県	8,505	1.5
岩手県	2,493	0.4
宮城県	8,349	1.4
秋田県	744	0.1
山形県	914	0.2
福島県	5,402	0.9
新潟県	4,808	0.8

出典: 港湾統計年報(国土交通省)

東北圏の海上輸送の状況(貿易貨物)

東北圏全体の輸送量は増加傾向であるが、岩手県はS55年よりH20年の方が減少。



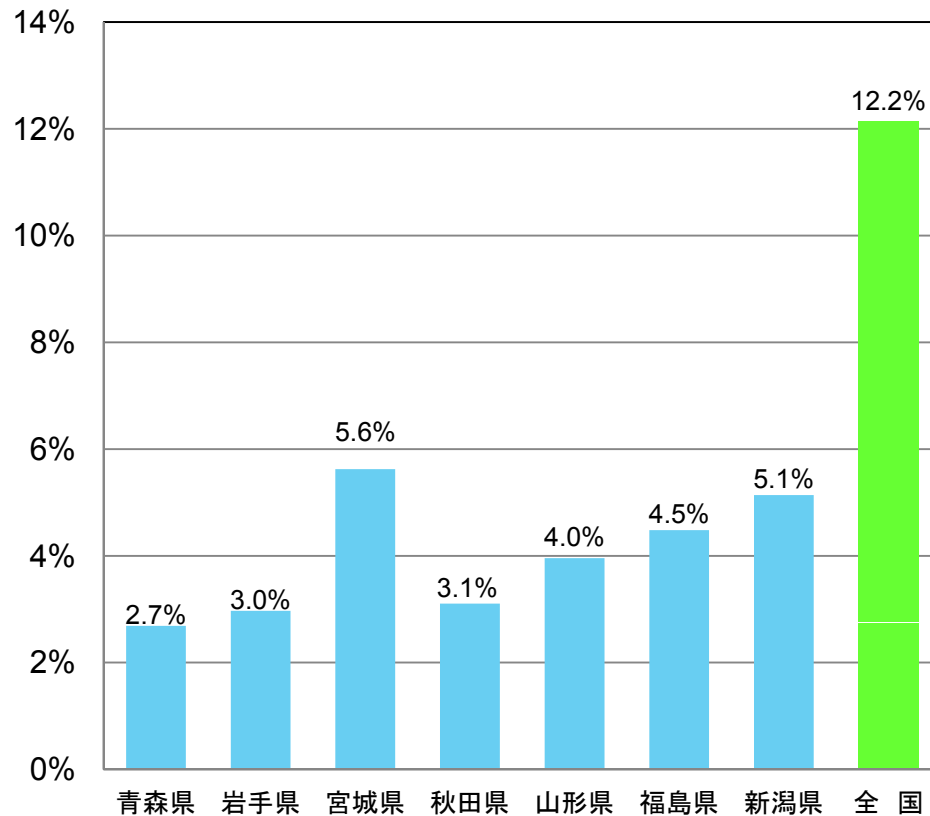
貿易貨物(輸出) 東北圏内訳 (平成20年)

県名	貿易貨物(輸出) (千トン)	全国比 (%)
全 国	309,554	-
東北圏	5,715	1.8
青森県	453	0.1
岩手県	97	0.0
宮城県	1,716	0.6
秋田県	294	0.1
山形県	128	0.0
福島県	837	0.3
新潟県	2,190	0.7

出典: 港湾統計年報(国土交通省)

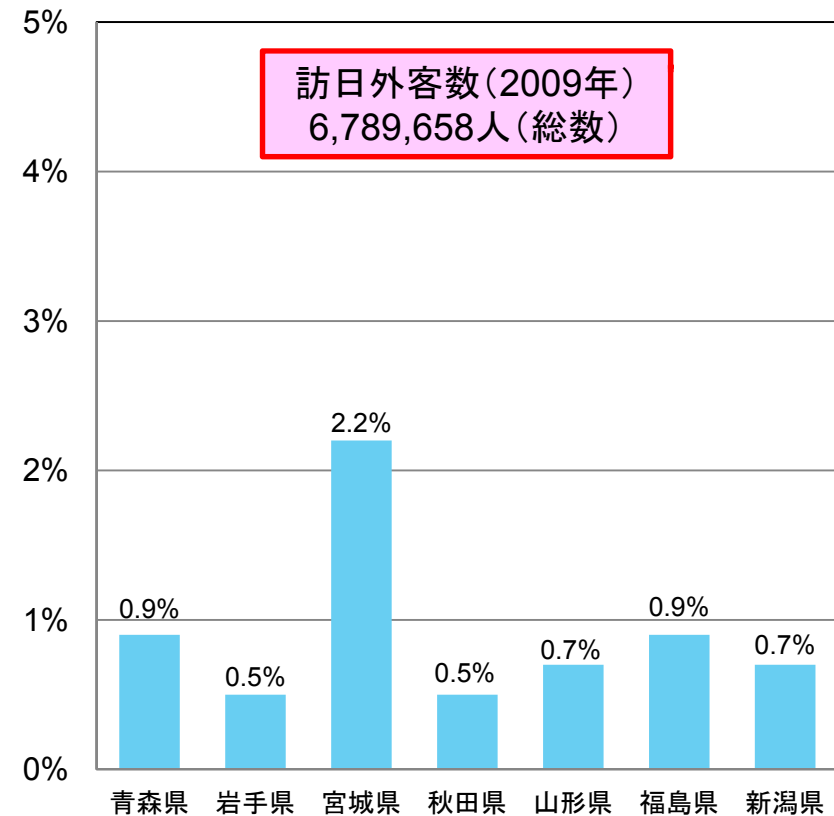
東北圏の出国率は全国平均以下、訪日外国人の訪問率も高くない。

人口当たり出国日本人割合(H21年)
(各県出国者数/各県総人口)



各県出国者数:「出入国管理統計年報」(法務省、2009年)
各県総人口:「住民基本台帳人口」(総務省、平成21年3月31日現在)

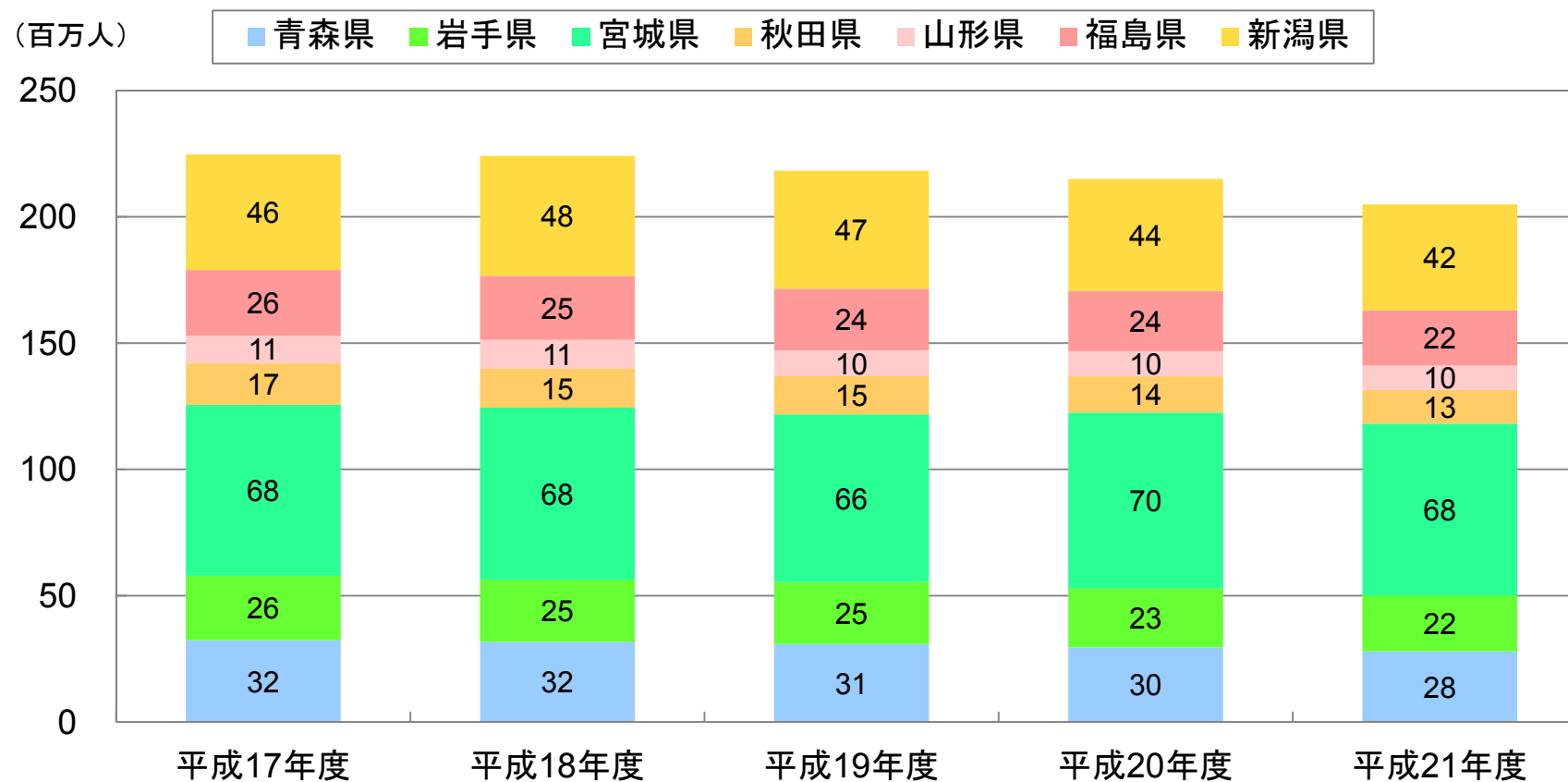
訪日外国人の東北圏への訪問率(H21年)
(都道府県別)



出典:「訪日外客訪問地調査2009」(日本政府観光局)

乗合バス輸送人員は減少傾向。

乗合バス輸送人員の推移

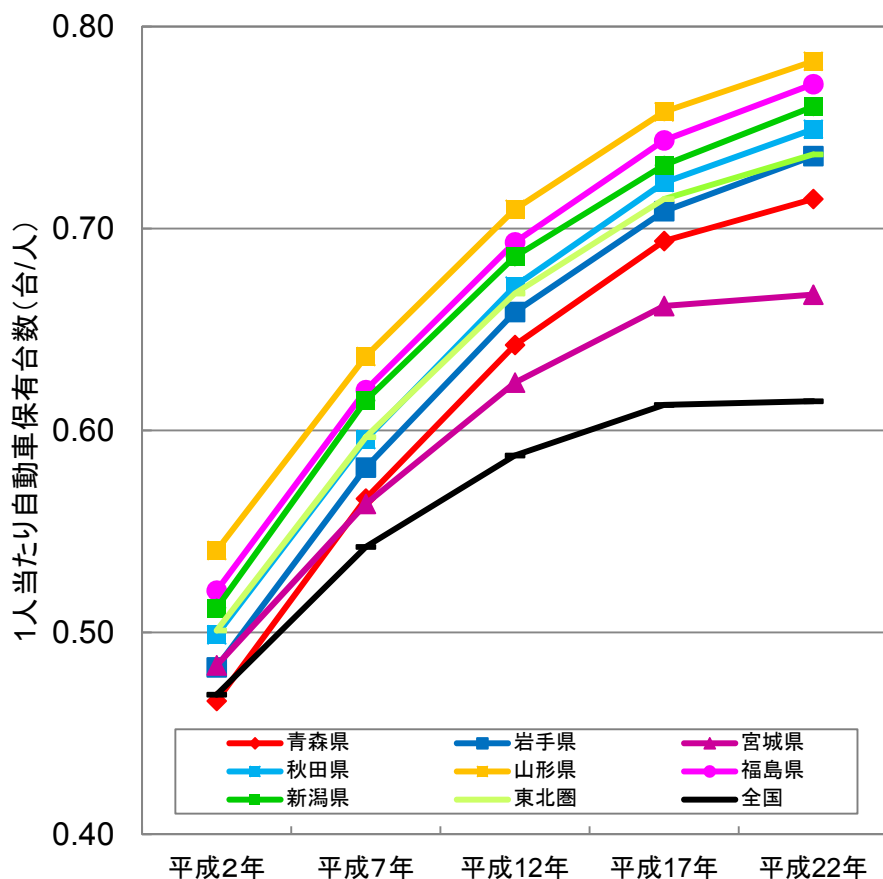


出典：東北運輸局HP、北陸信越運輸局HP

自動車保有台数の推移等

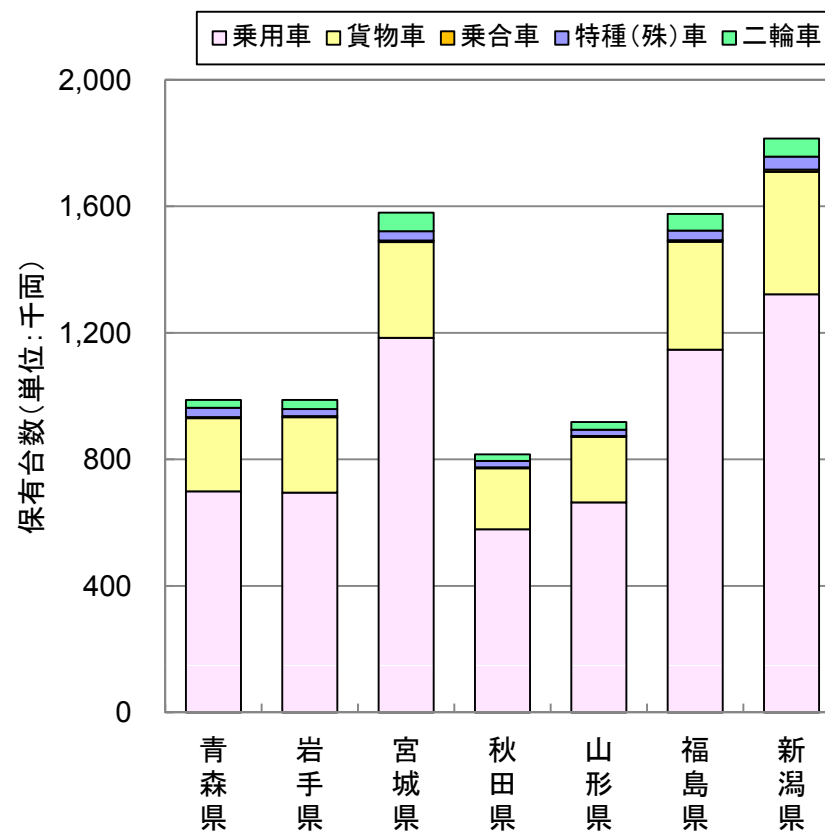
全国平均に比べ1人あたりの自動車保有台数が多い。

1人当たり自動車保有台数の推移



出典：都道府県別・車種別自動車保有台数
 ((財)自動車検査登録情報協会HPより)、
 国勢調査(総務省)

県別自動車保有台数の比較 (平成23年1月末現在)



出典：都道府県別・車種別自動車保有台数
 ((財)自動車検査登録情報協会HPより)

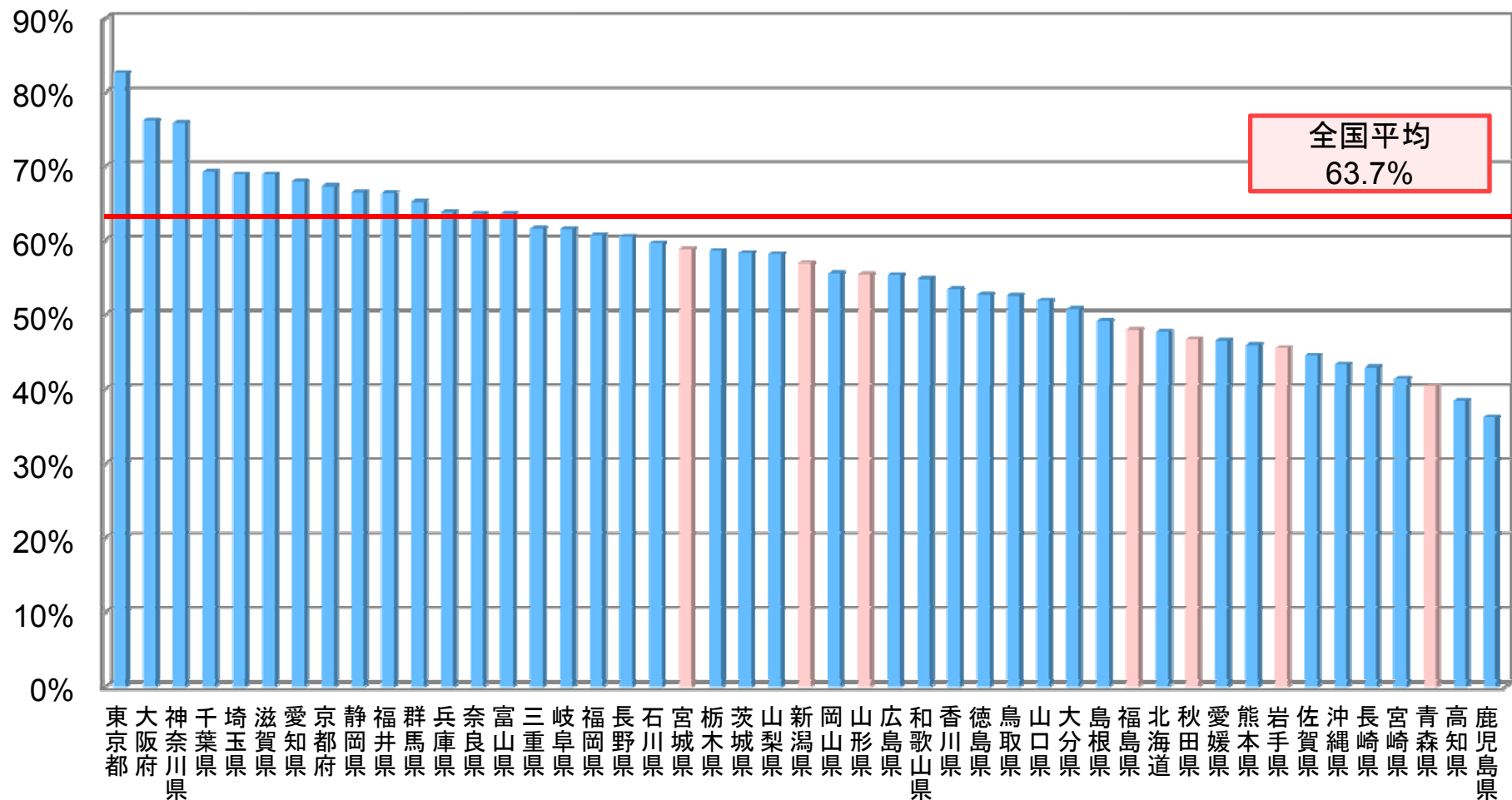
7. IT関連基盤の状況

- ・ブロードバンドサービスの世帯普及率

ブロードバンドサービスの世帯普及率

ブロードバンドサービスの世帯普及率は、各県とも全国平均よりも低い。

ブロードバンドサービスの世帯普及率(平成22年9月末現在)



出典:「ブロードバンドサービスに係る世帯普及率の全国順位(平成22年9月末現在)」

総務省東北総合通信局「東北におけるブロードバンドサービスの契約数(平成22年9月末現在)」【参考】より作成

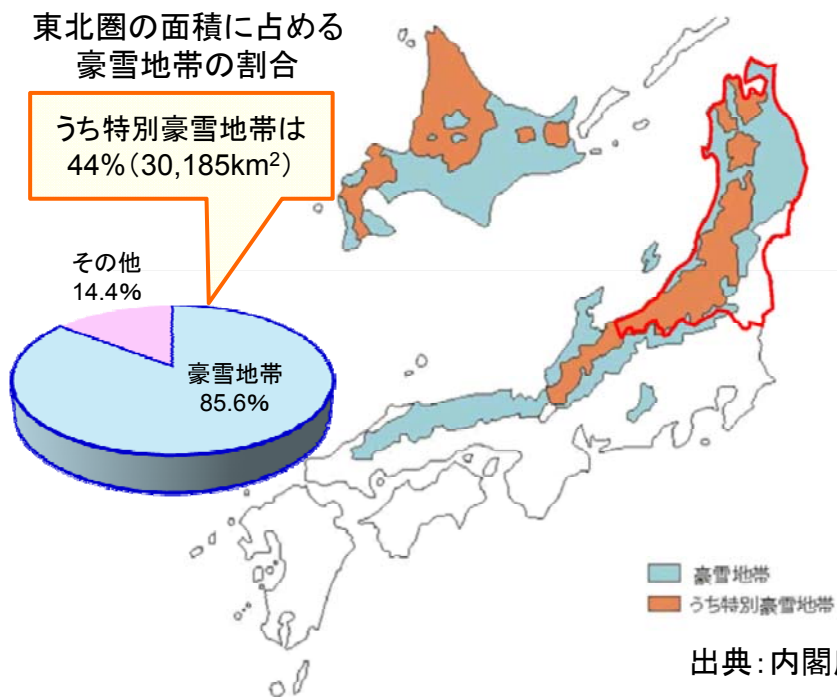
8. 利雪・克雪の状況

- 豪雪地帯の指定状況
- 雪害の状況
- 冬季通行不能区間の状況

豪雪地帯の指定状況

圏域面積の約85%が豪雪地帯で、そのうち約44%が特別豪雪地帯。
平成18年豪雪による全国死者152人のうち東北圏は81人。

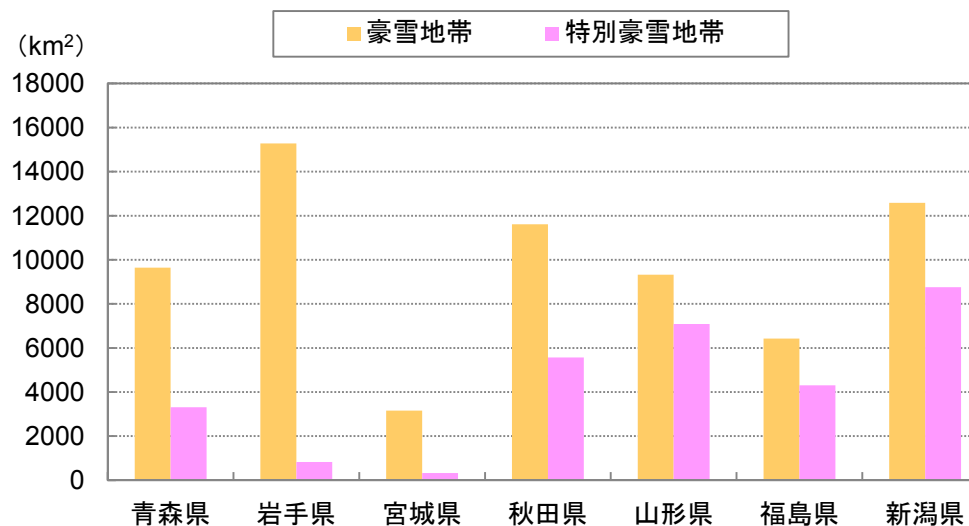
豪雪地帯及び
特別豪雪地帯指定地域



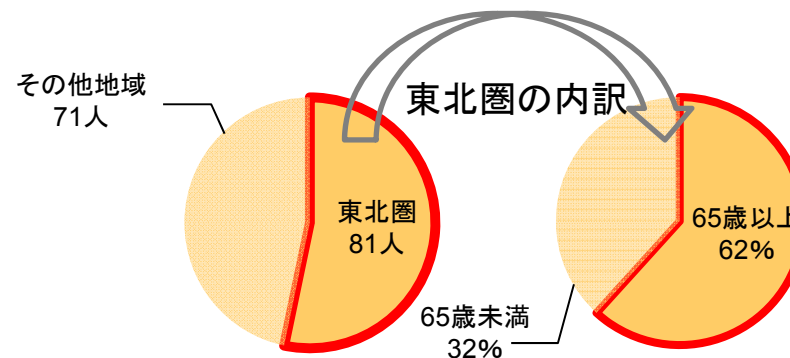
出典：内閣府調べ

※豪雪地帯：積雪が特にはなはだしいため、産業の発展が停滞的で、かつ、住民の生活水準の向上が阻害され、累年平均積雪積算値が5,000cm 日以上の地域。
※特別豪雪地帯：豪雪地帯のうち、積雪の度が特に高く、かつ、積雪により長期間自動車の交通が途絶する等により住民の生活に著しい支障を生ずる地域。

県別の豪雪地帯・特別豪雪地帯面積(平成21年10月1日現在)



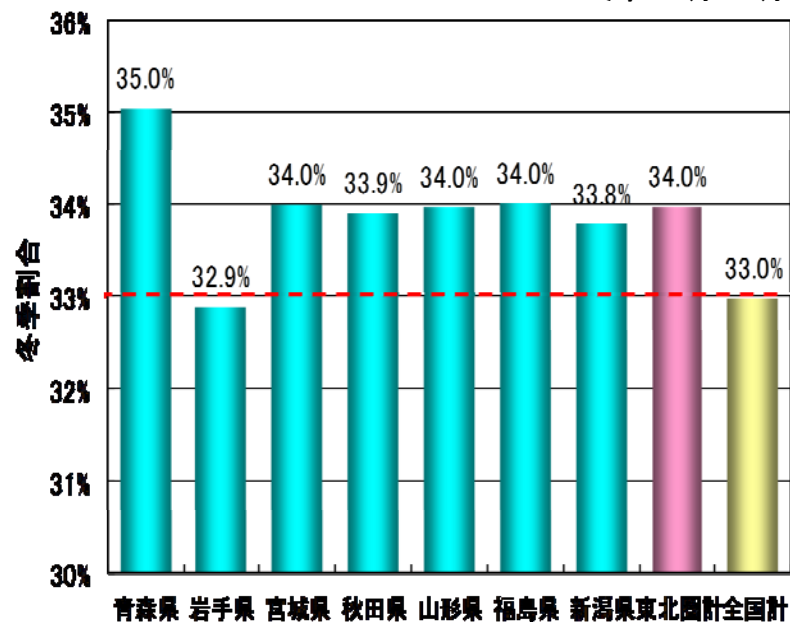
平成18年豪雪による全国死者数に占める
東北圏の割合



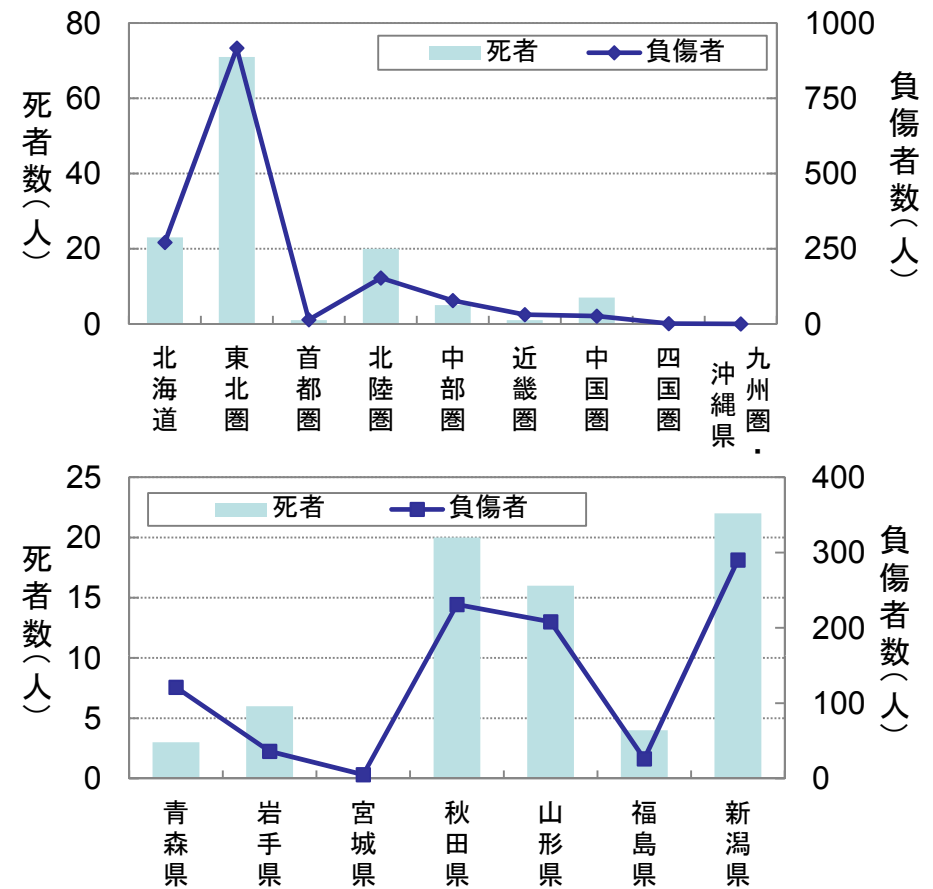
資料：防災白書 51

総事故件数に占める冬季の割合が全国に比べて高い。
雪害による死傷者数も多い。

総事故件数に占める冬季事故の割合
(H16年度) 冬季:12月~3月



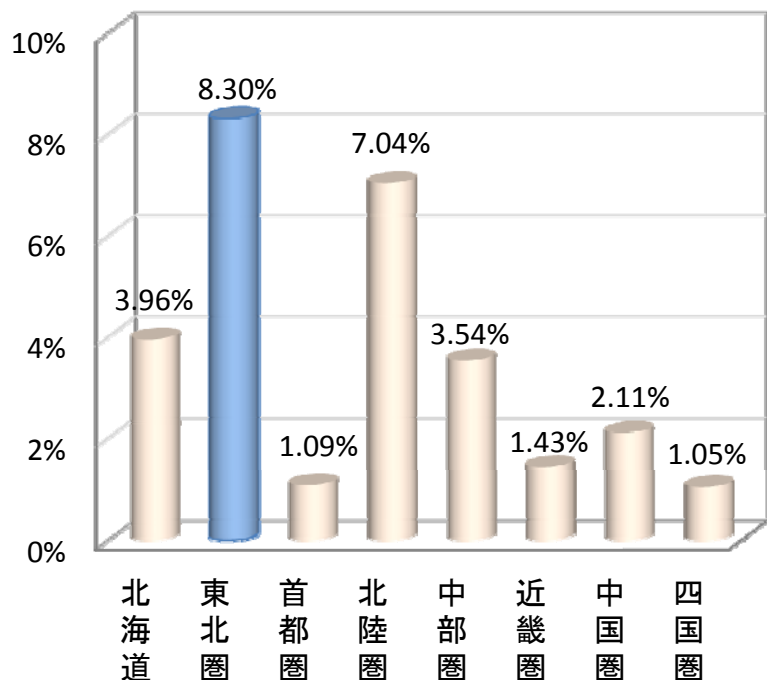
雪害による死傷者の地域分布



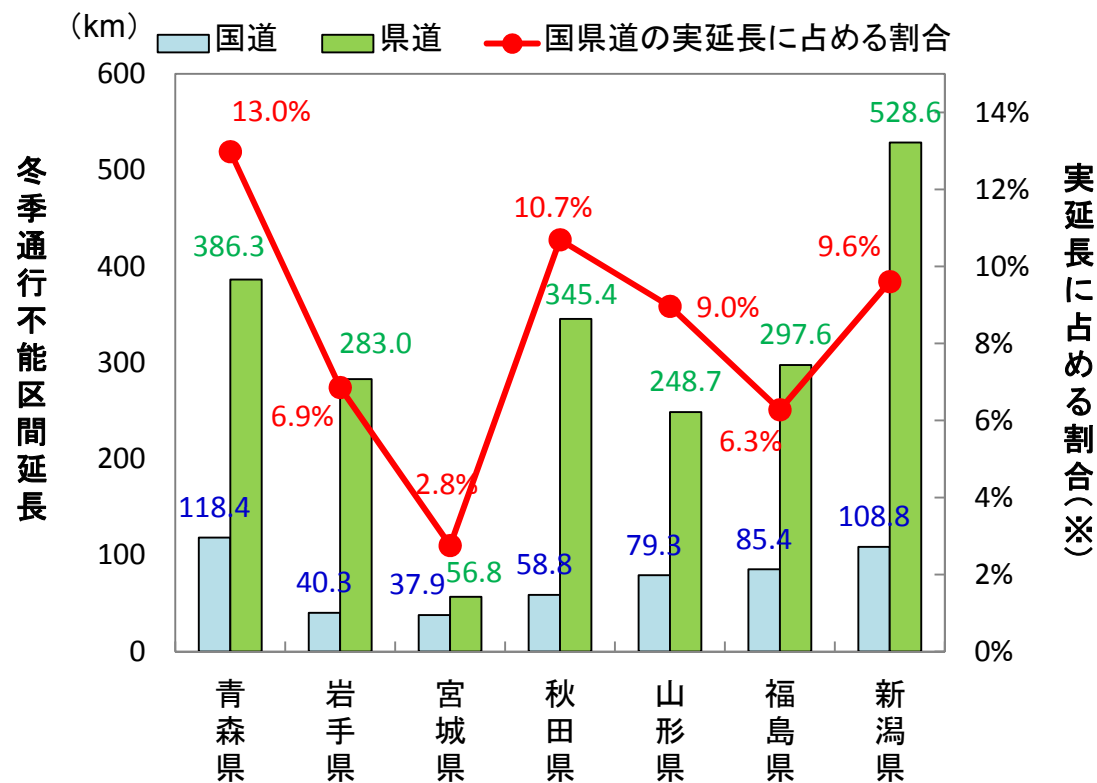
出典：消防庁：今冬（H22.11～H23.3.7まで）の
雪による被害状況等（速報値）

冬季通行不能区間の状況

圏域別冬季通行不能区間長比



冬季通行不能区間の状況



(※) 各県ごとの実延長に占める冬季通行不能区間の割合



※写真は東北地方整備局HPより引用

冬季の道路状況

出典: JARTIC(冬の閉鎖道路)、道路統計年報2010

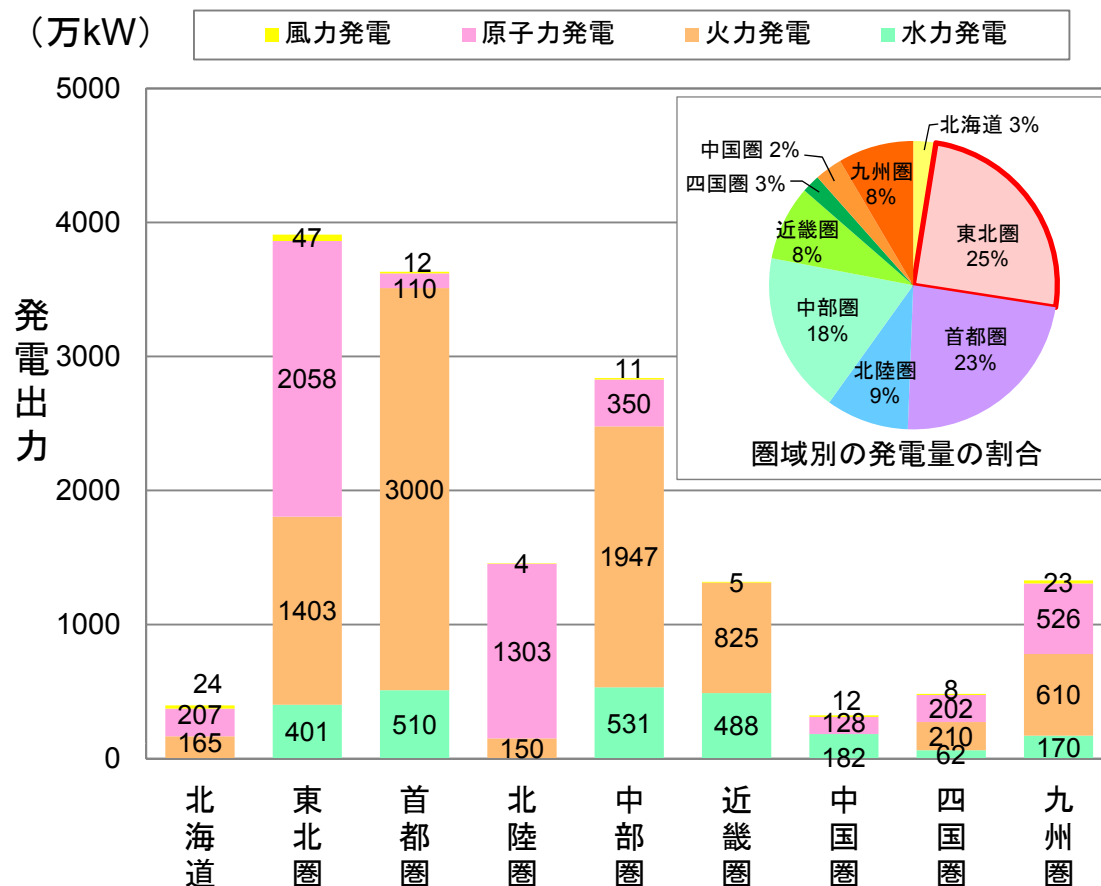
9. 多様なエネルギー・水資源の状況

- 発電所の立地と出力の状況
- 発電所の立地と出力の状況(各県)
- 原子力発電の状況
- 水力発電の状況
- 新エネルギー(風力発電)の状況
- 新エネルギー(地熱発電)の状況
- ダム・水資源の状況
- 水資源賦存量

発電所の立地と出力の状況

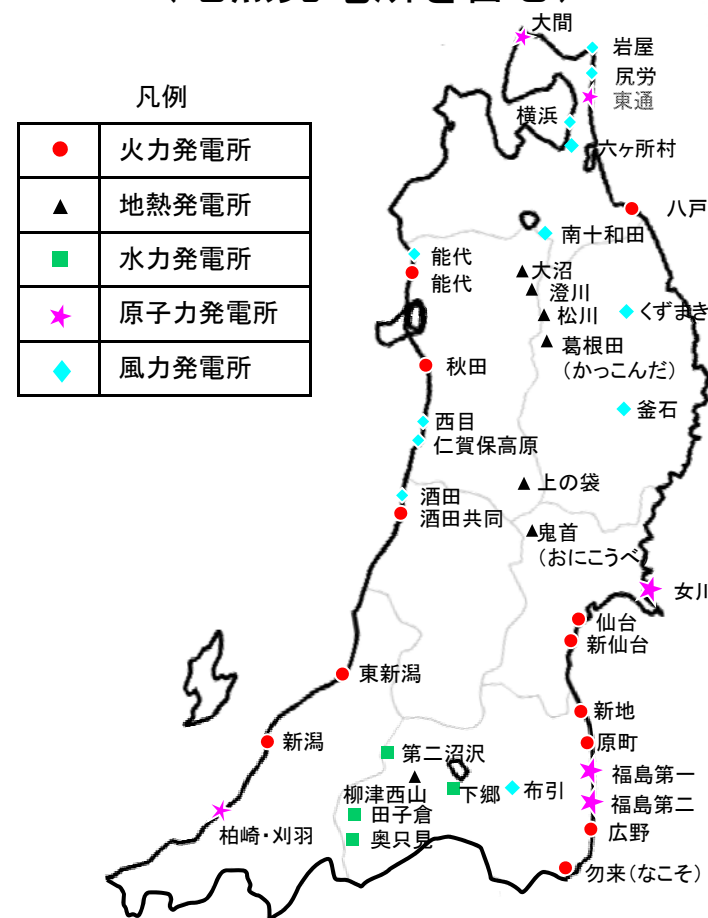
火力、原子力、水力、風力の総出力量は全国で東北圏が最も大きく、うち原子力に特徴。

発電所の出力量(H22年度)



風力発電出力: NEDO風力発電ガイドブック2008.2第9版より集計
 その他出力: 電気事業便覧(平成22年版)の主要発電所より集計
 (水力36万kW・火力150万kW以上が便覧に記載)

東北圏の主な発電所
(地熱発電所を含む)

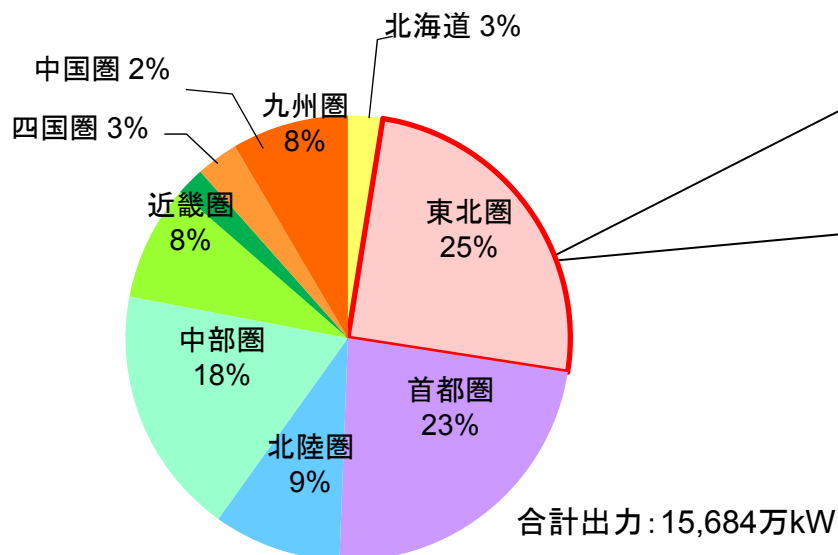


水力は出力36万kW、火力は出力150万kW以上、風力は出力1万kW以上の東北の主な発電所について記載。

発電所の立地と出力の状況(各県)

出典:風力は「NEDO風力発電ガイドブック2008.2第9版より集計
 その他は電気事業便覧(平成22年版)より集計

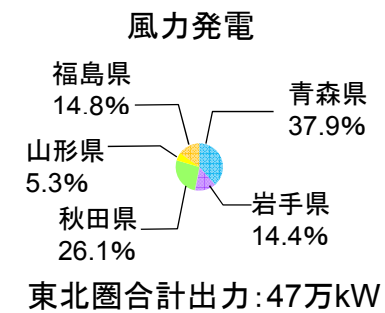
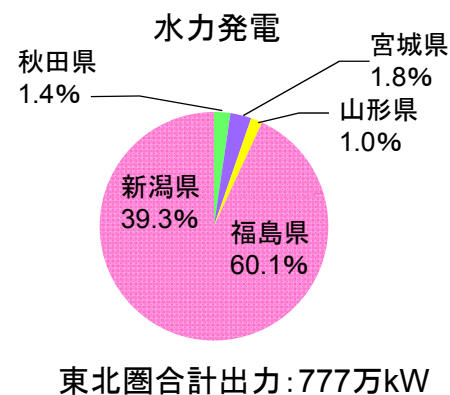
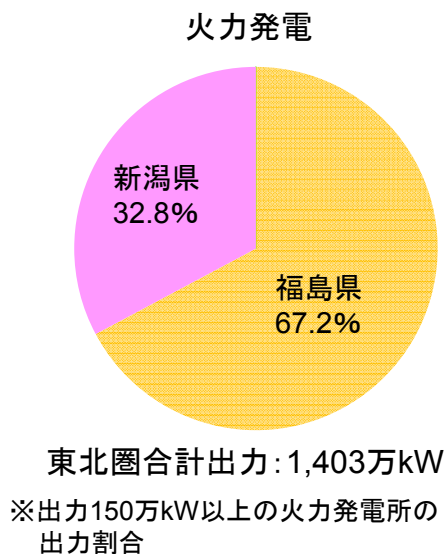
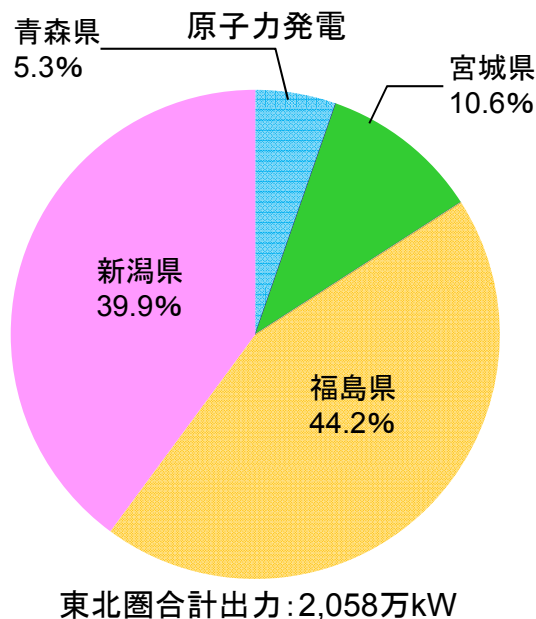
圏域別の発電出力量の割合



東北各県の発電出力量の割合

県名	発電出力 (万kW)	全国比 (%)
全国	15,684	—
東北圏	3,909	24.92
青森県	128	0.82
岩手県	7	0.04
宮城県	217	1.38
秋田県	12	0.08
山形県	3	0.02
福島県	2,100	13.39
新潟県	1,442	9.19

東北各県の電源別出力割合

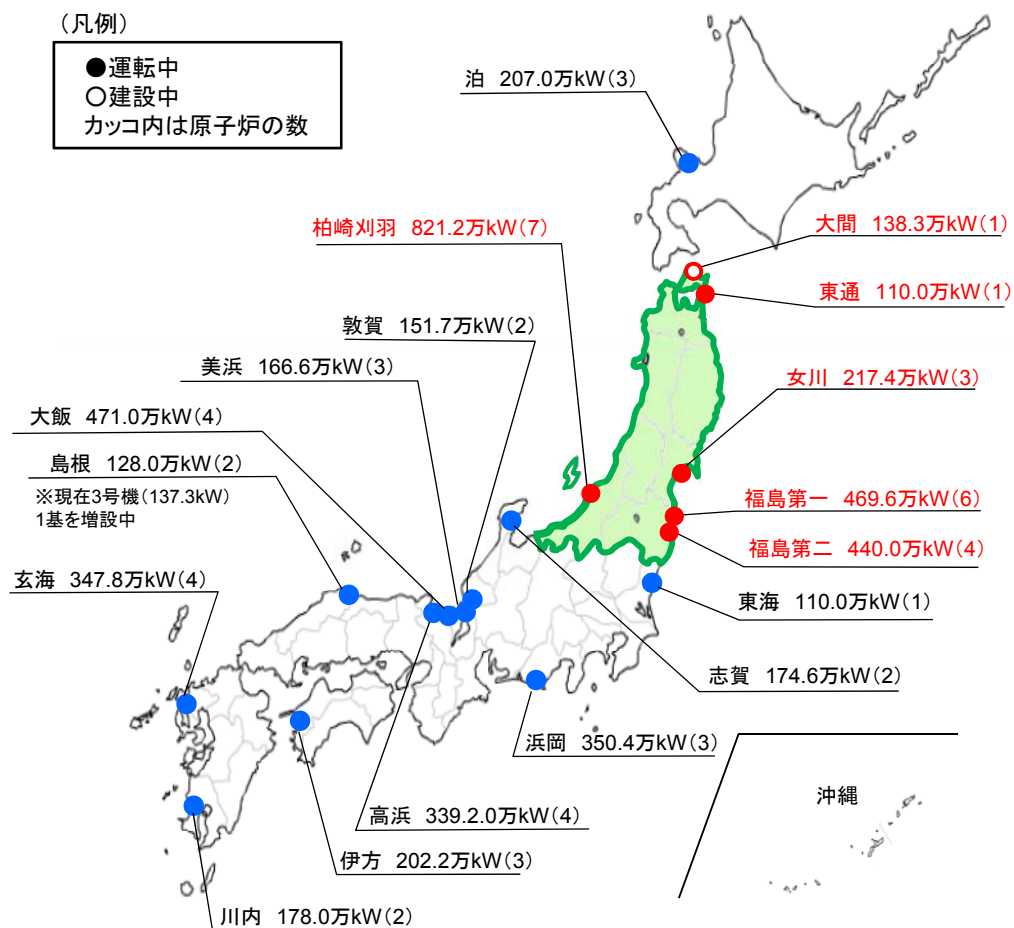


※自家用は1発電所1,000kW以上の発電出力の合計
 ※地域別は下記の区分による。
 ①10電力会社分は、自社設備分である。
 ②電源開発(株)分は発電所所在地別である。

原子力発電の状況

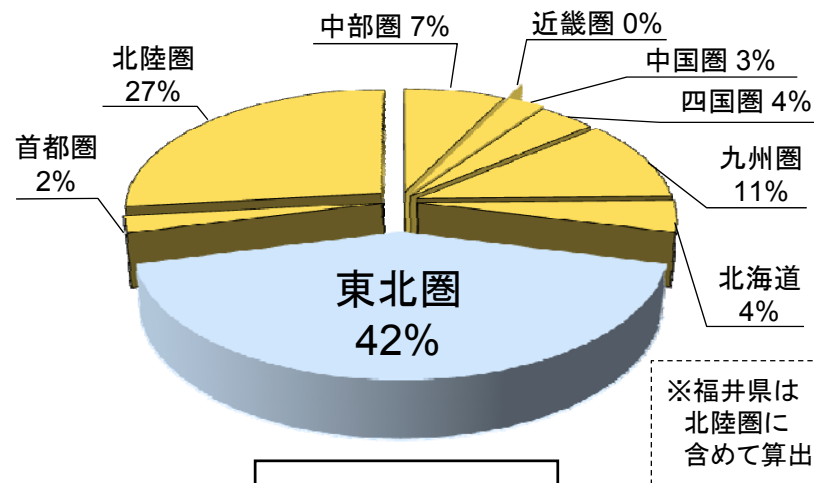
原子力発電の出力は東北圏が全国で最も多く、約4割を占める。
東北圏には東京電力の発電所が立地し、首都圏の電力を支えている。

原子力発電所の運転状況(平成22年度末)

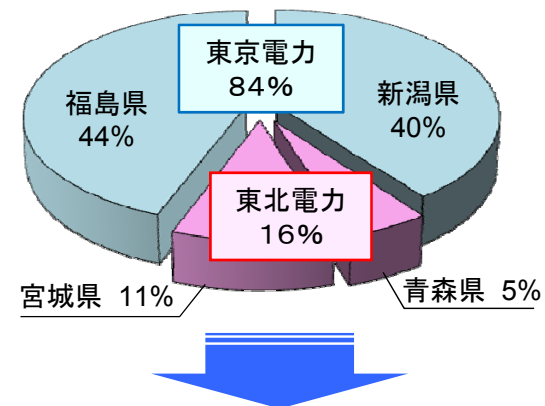


出典: 電気事業連合会HPより作成

圏域別原子力発電所の出力割合

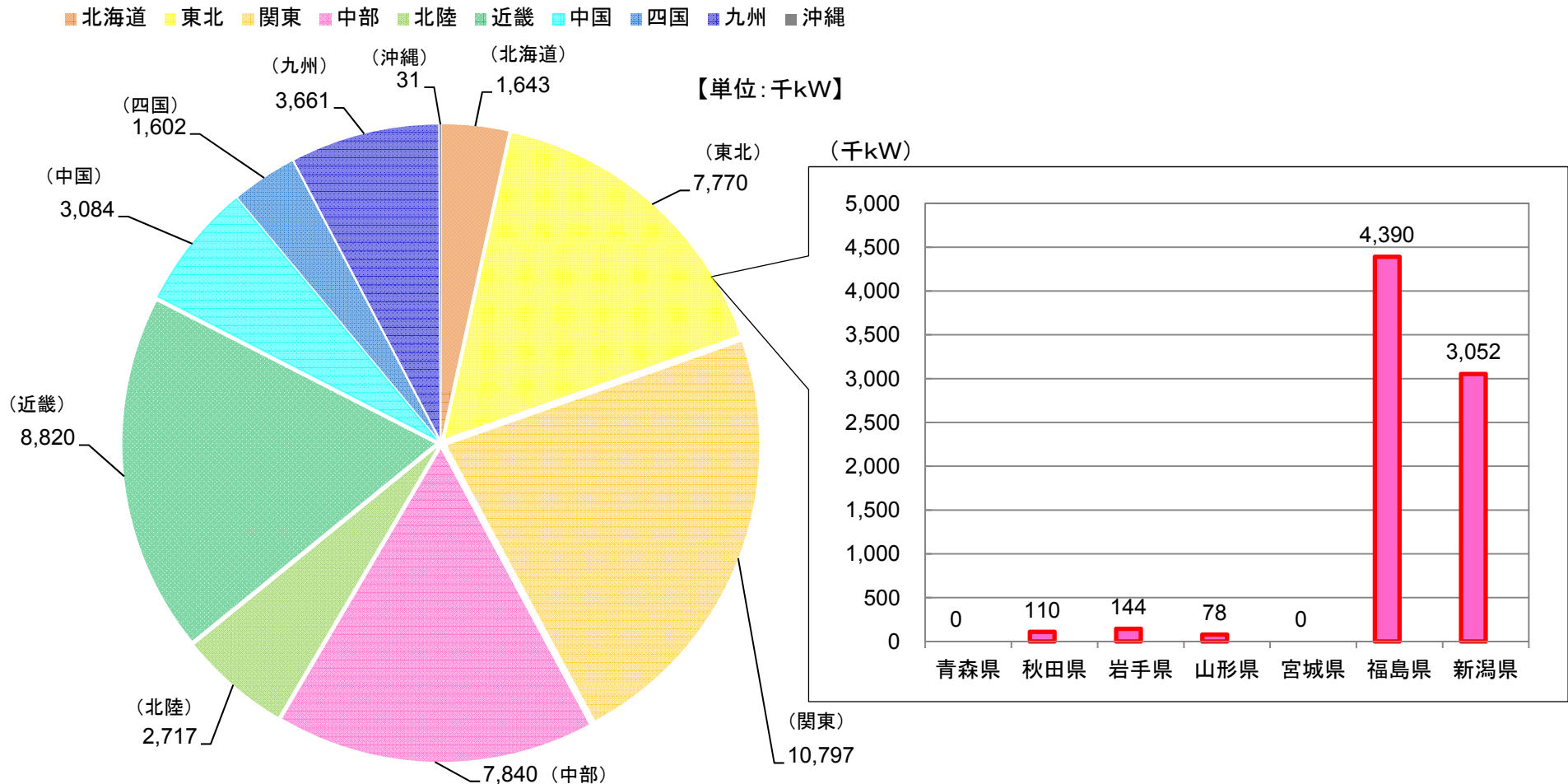


東北圏の内訳



東北圏で発電される電力の
84%は首都圏へ

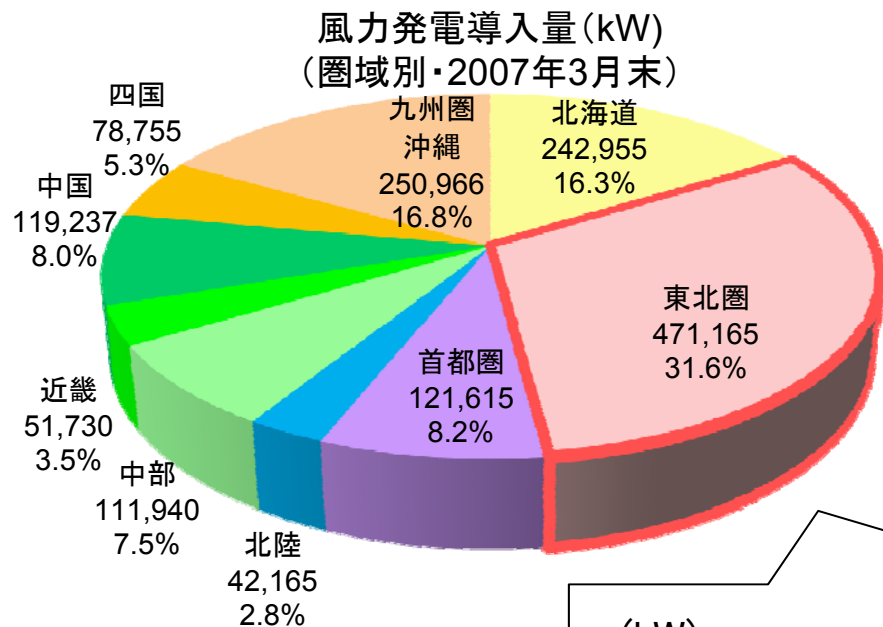
各地域別の水力発電出力について(平成22年3月末現在)



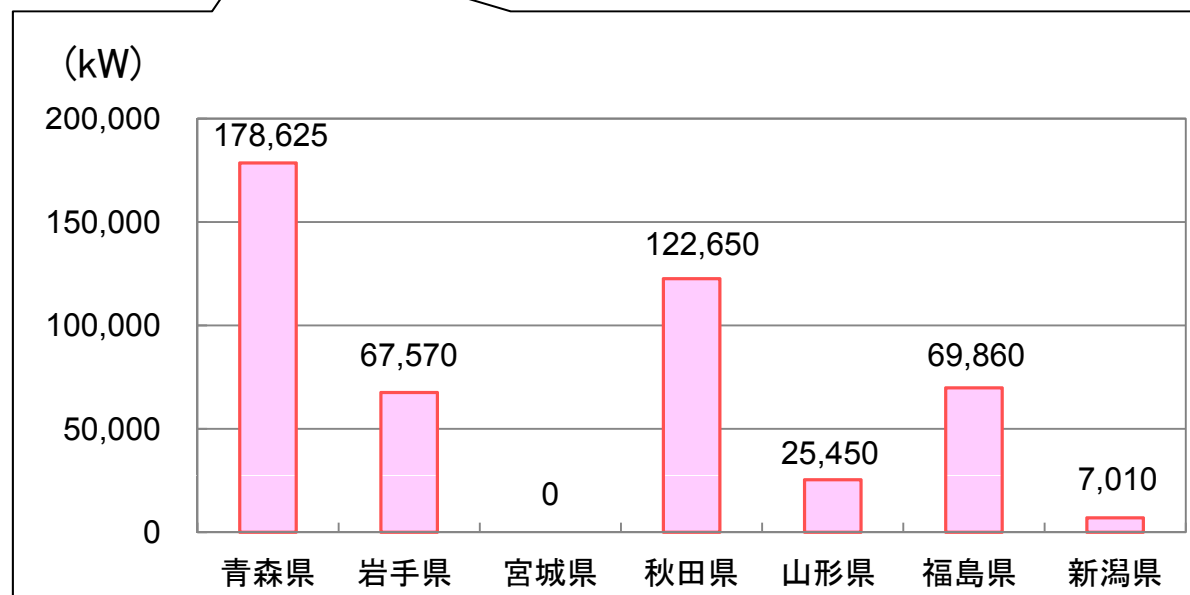
※自家用は1発電所1,000kW以上の発電出力の合計
 ※地域別は下記の区分による。
 ①10電力会社分は、自社設備分である。
 ②電源開発(株)分は発電所所在地別である。

新エネルギー(風力発電)の状況

風力発電導入量に占める東北圏の割合は全体の約3割を占める



資料:青森県六ヶ所村(六ヶ所村HPより)

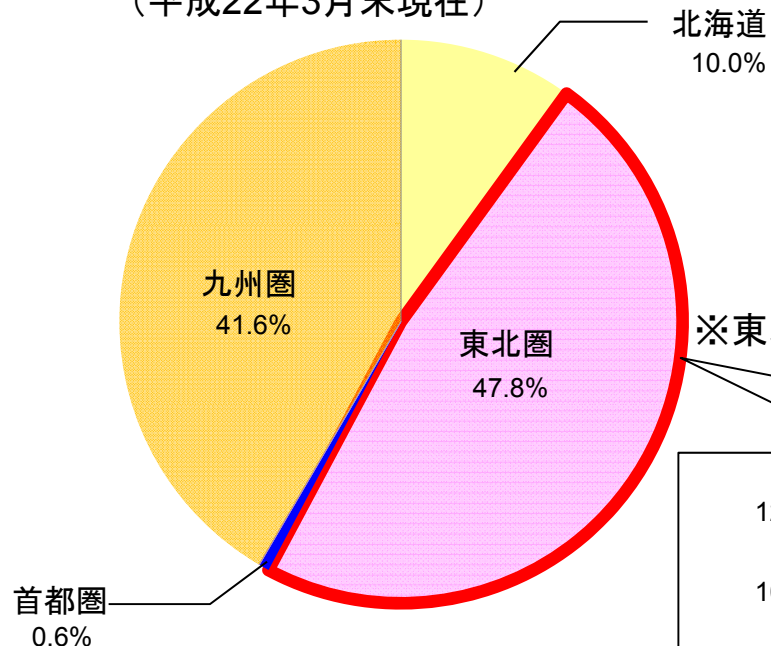


出典:NEDO風力発電ガイドブック2008から作成

新エネルギー(地熱発電)の状況

地熱発電導入量に占める東北圏の割合は全体の約5割を占める

圏域別地熱発電導入量割合
(平成22年3月末現在)



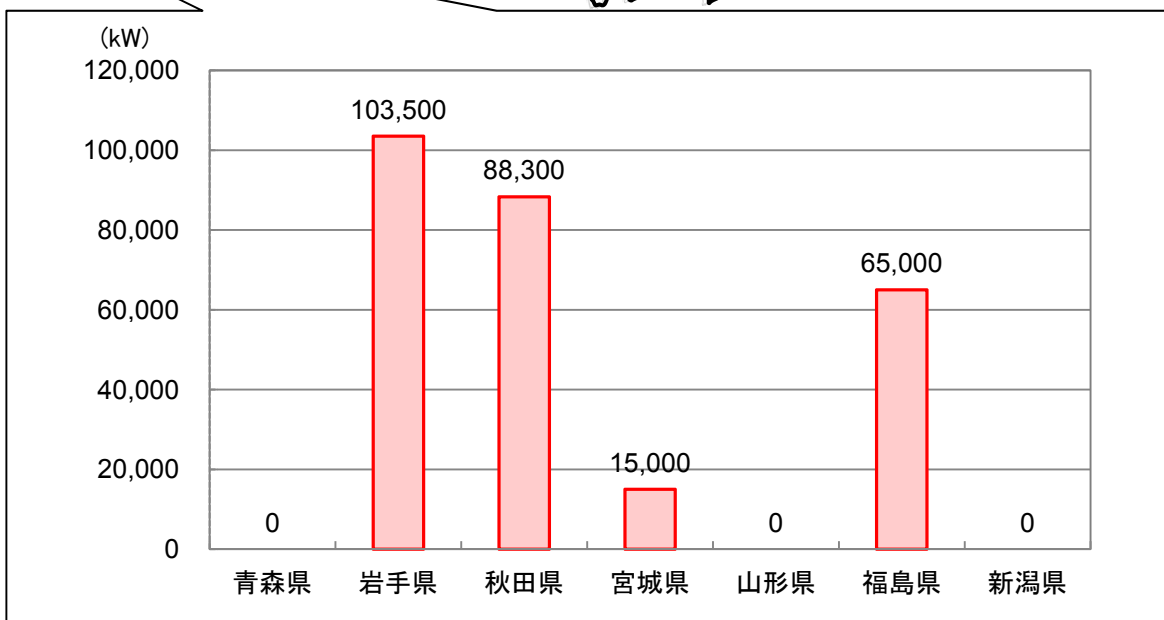
東北圏に所在する地熱発電所
(平成22年3月末現在)



※東北圏の総出力は計271,800kW

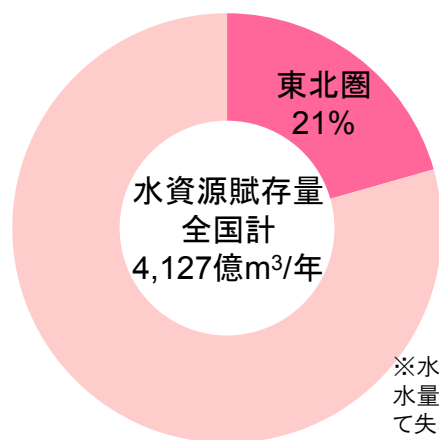


(写真: 鬼首地熱発電所【電源開発(株)HPより】)

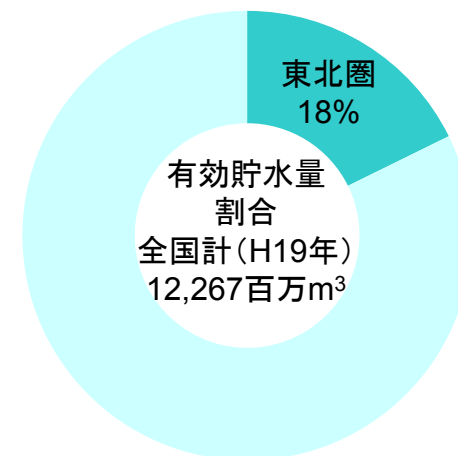
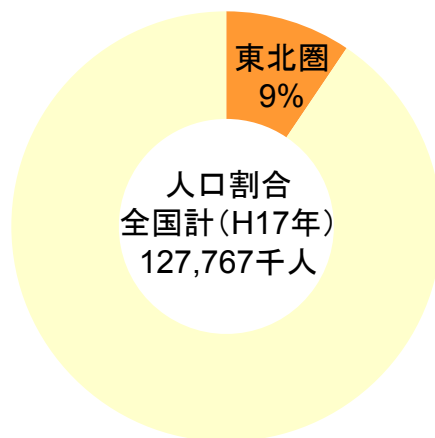


ダム・水資源の状況

東北圏のダムの有効貯水量割合は全国の2割弱。

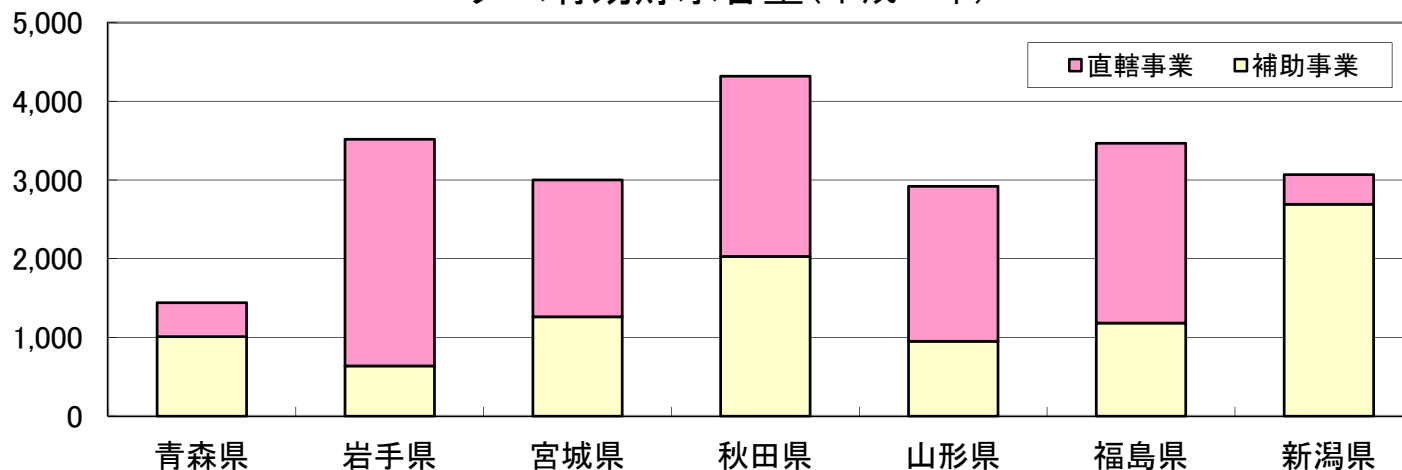


※水資源賦存量は、降水量から蒸発散によって失われる水量を引いたものに面積を乗じた値で、1976～2005年の平均値。



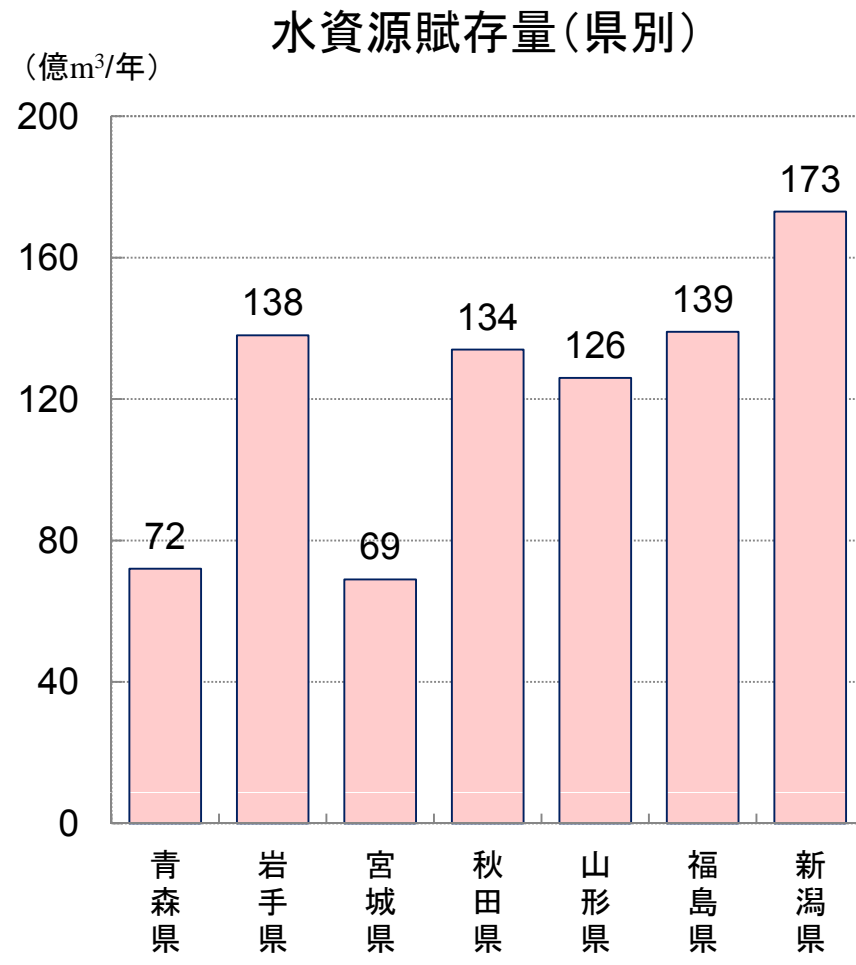
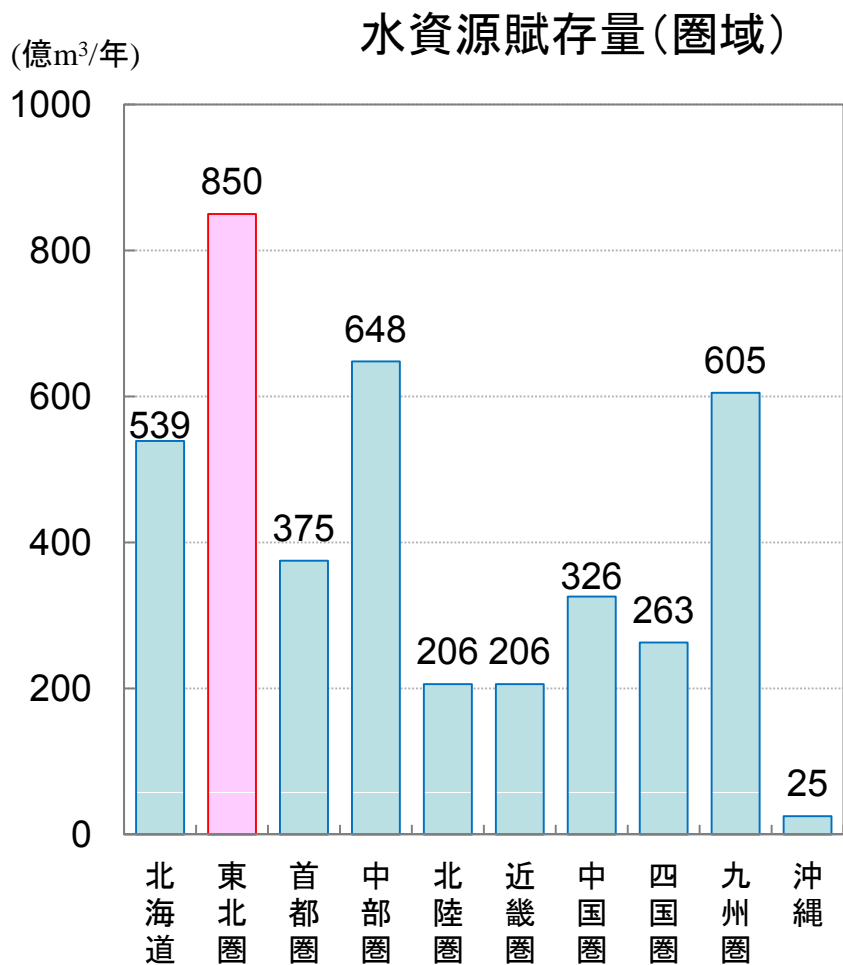
(百万m³)

ダム有効貯水容量(平成19年)



出典：平成22年版日本の水資源(国土交通省)、平成17年国勢調査(総務省)、平成22年版建設統計要覧(国土交通省)

東北圏は最も多くの水資源賦存量を有す。



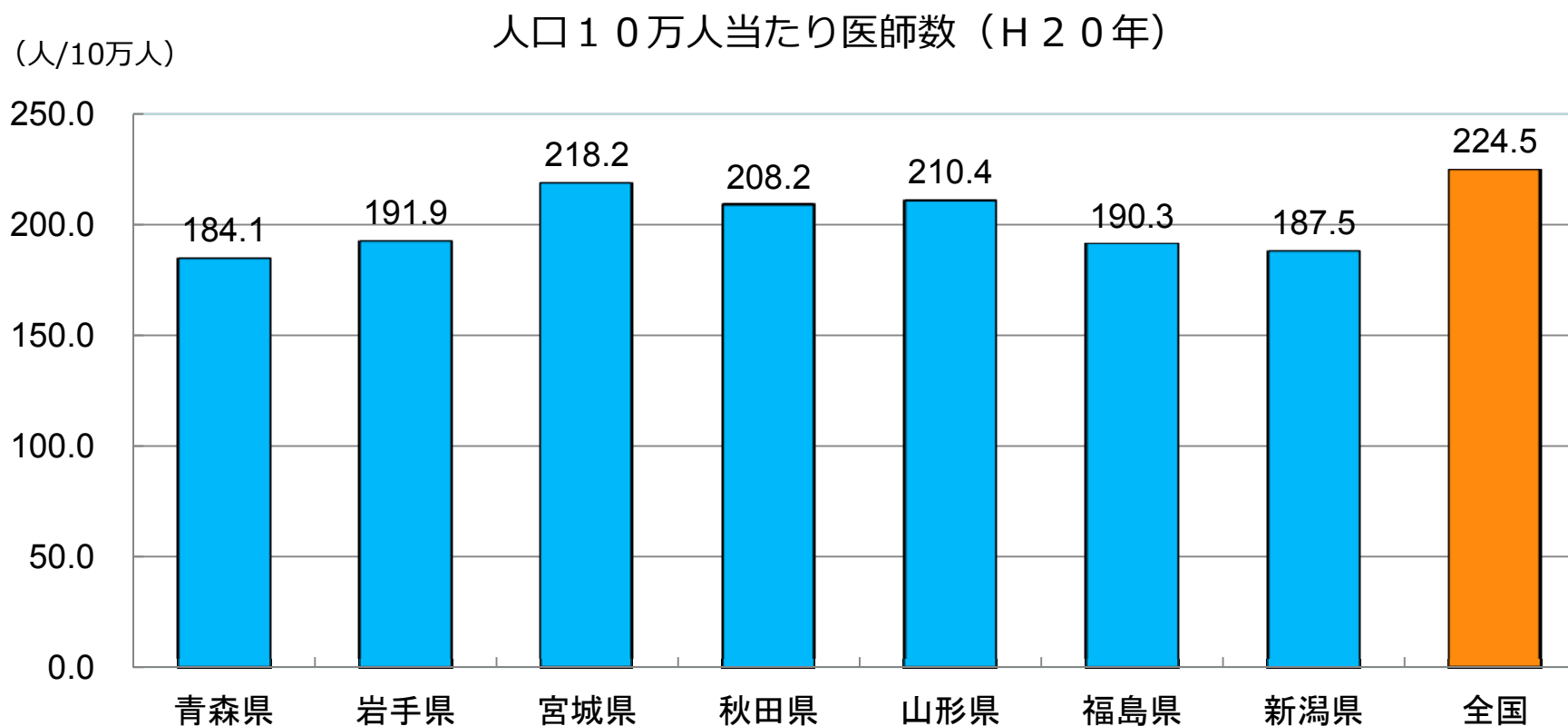
※水資源賦存量は、降水量から蒸発散によって失われる水量を引いたものに面積を乗じた値で、1976～2005年の平均値。

10. 医療サービス等提供の状況

- 人口10万人当たり医師数
- 人口10万人当たり病床数
- 三次救急医療施設の時間圏域

人口10万人当たり医師数

人口10万人当たり医師数は全国平均と比較して少ない。



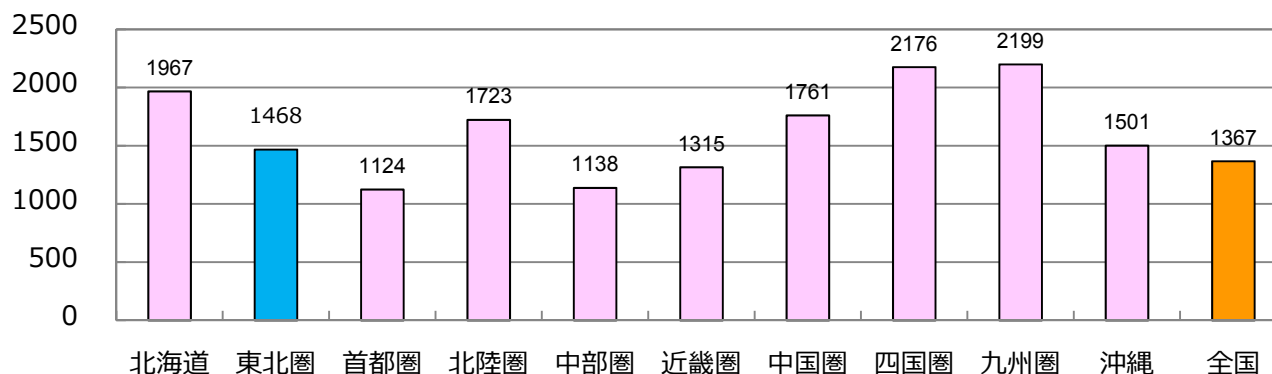
出典：平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査
（厚生労働省統計情報部）

人口10万人当たり病床数

人口10万人当たり病床数は全国平均並。

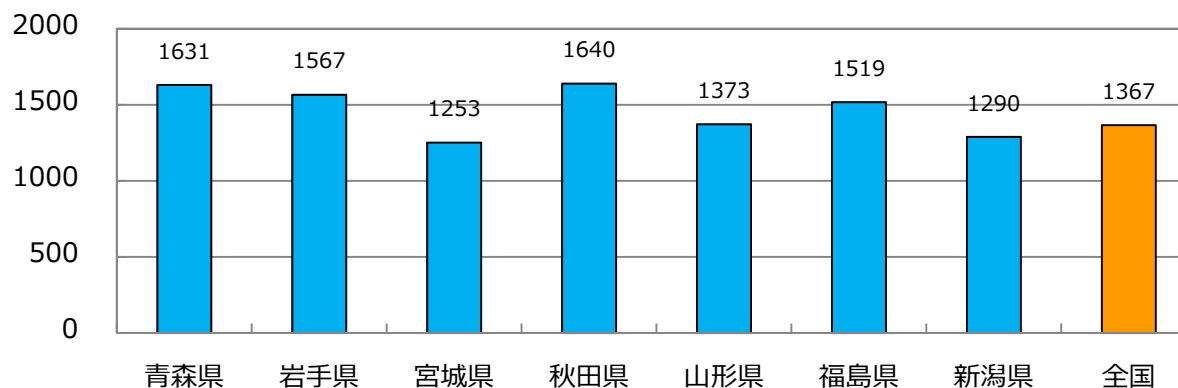
平成21年 圏域別の病床数比較(人口10万人当たり)

人口10万人当たり病床数(床)



平成21年 東北圏内の病床数比較(人口10万人当たり)

人口10万人当たり病床数(床)



東北圏の
各県の比較

出典：平成21年医療施設(動態)調査
(厚生労働省統計情報部)

三次救急医療施設の時間圏域


三次救急施設のカバー圏(60分到達圏)から外れる地域も多い。

【三次救急医療施設】

一般病院で治療の出来ない重傷救急患者に対応する救命救急センター。24時間の診療体制がとれ、かつ高度の診療機能を有する施設

一般的に搬送時間が30分を超えると、死亡率が急増すると言われている。

凡例

	60分到達圏
	高規格幹線道路 供用区間
	高規格幹線道路 その他区間
	地域高規格道路 供用区間
	地域高規格道路 その他区間
	第三次救急医療機関
	救急車退出路

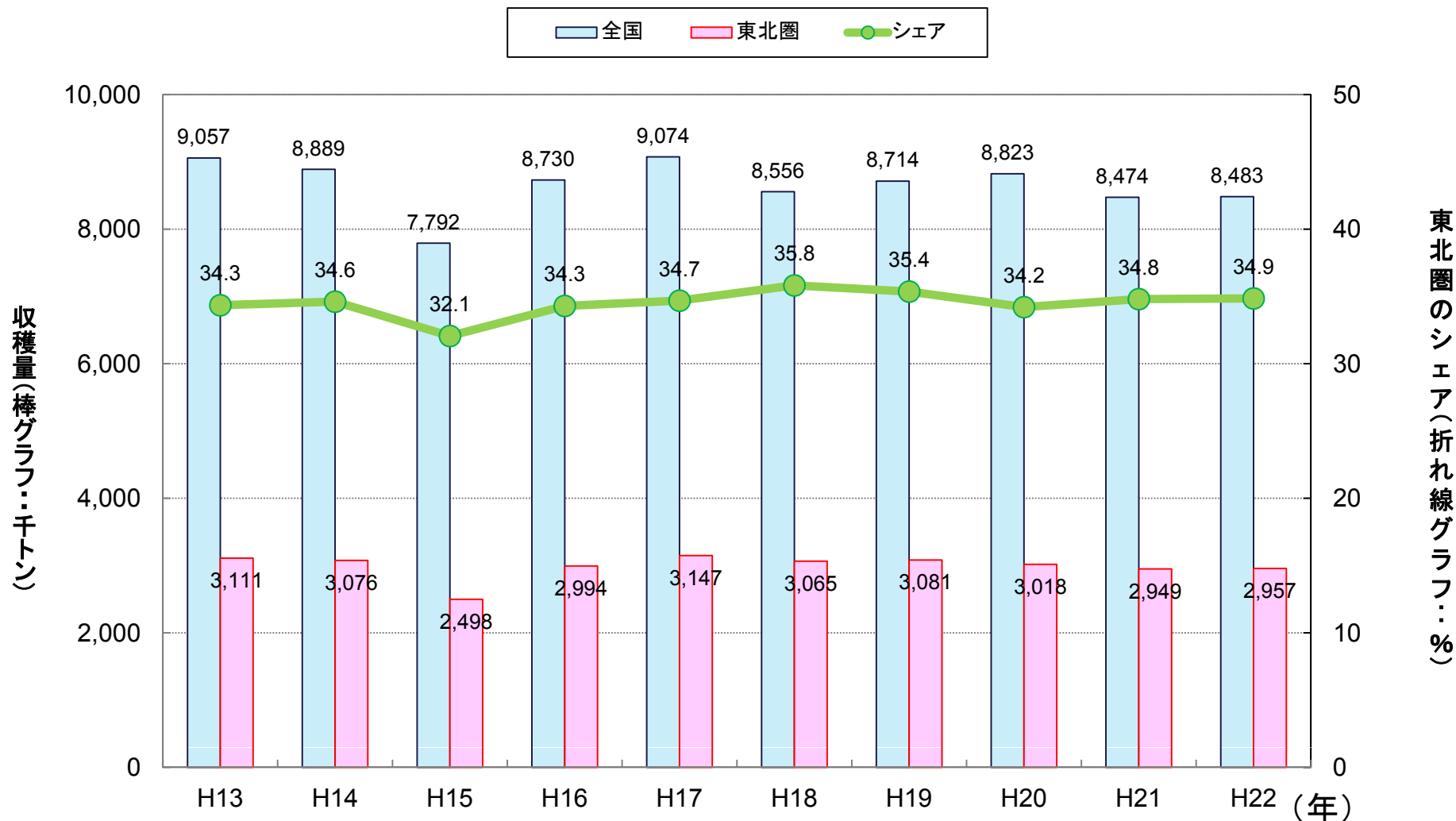
(平成19年度末時点)



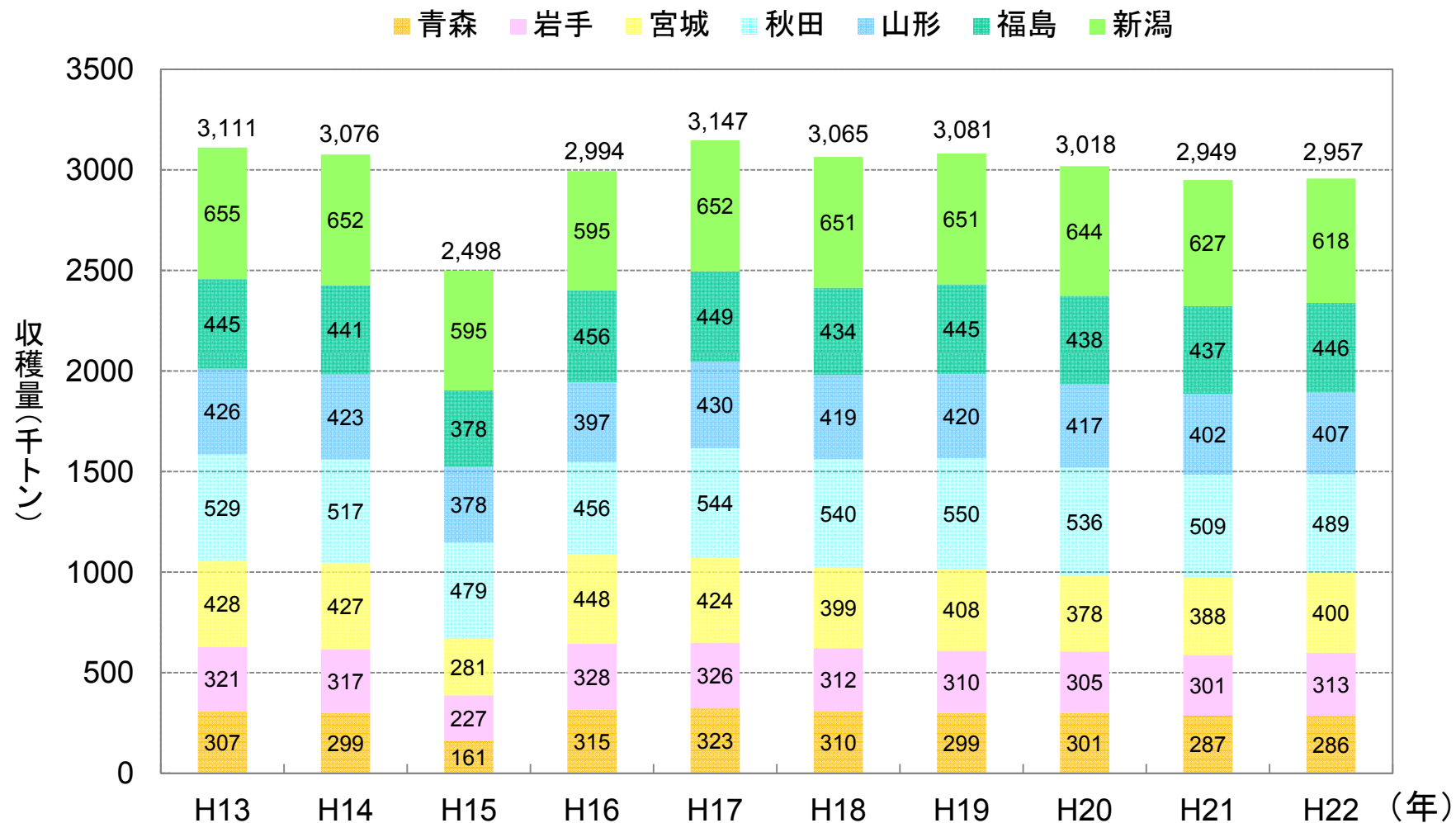
11. 農林水産業の現状

- 米の安定供給
- 米の安定供給(県別)
- 農業産出額の状況(耕種)
- 農業産出額の全国シェア(耕種)
- 農業産出額の状況(畜産)
- 農業産出額の全国シェア(畜産)
- 林業産出額
- 林業産出額(県別)
- 漁獲量・収穫量の状況
- 農林漁業の就業者平均年齢
- 産業分類別の就業者平均年齢(県別)
- 農林漁業従業者の平均年齢
- 農林漁業従業者の平均年齢(県別)
- 漁業就業者数と高齢化率

東北圏の米の収穫量は、全国の約35%で安定的に推移している。



東北圏の各県別米の収穫量の推移

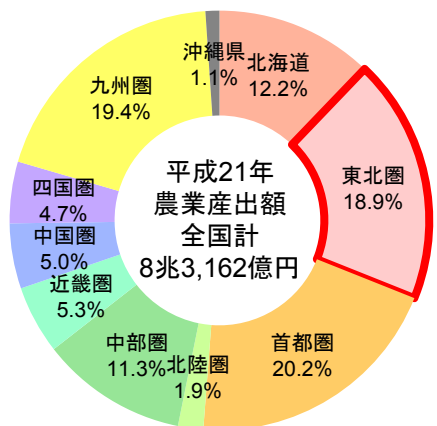


出典：農林水産統計(農林水産省)

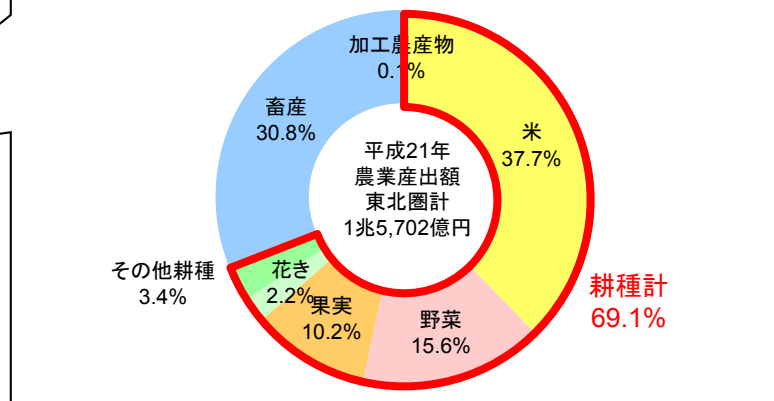
農業産出額の状況(耕種)

農業産出額は全国の約2割。耕種では米の産出額構成比が大きい。

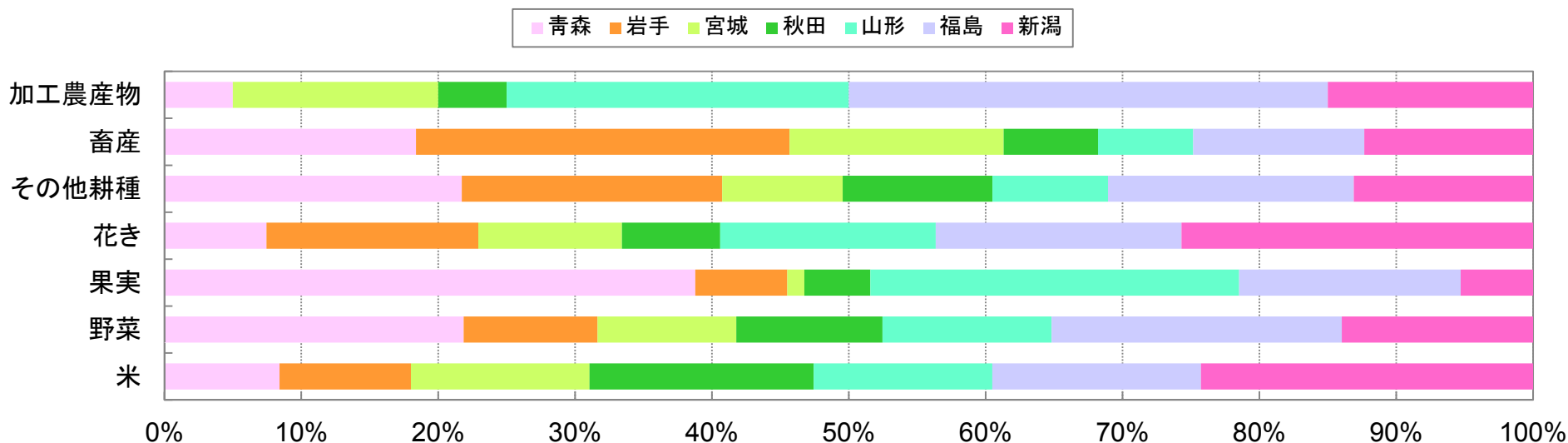
圏域別の農業産出額シェア



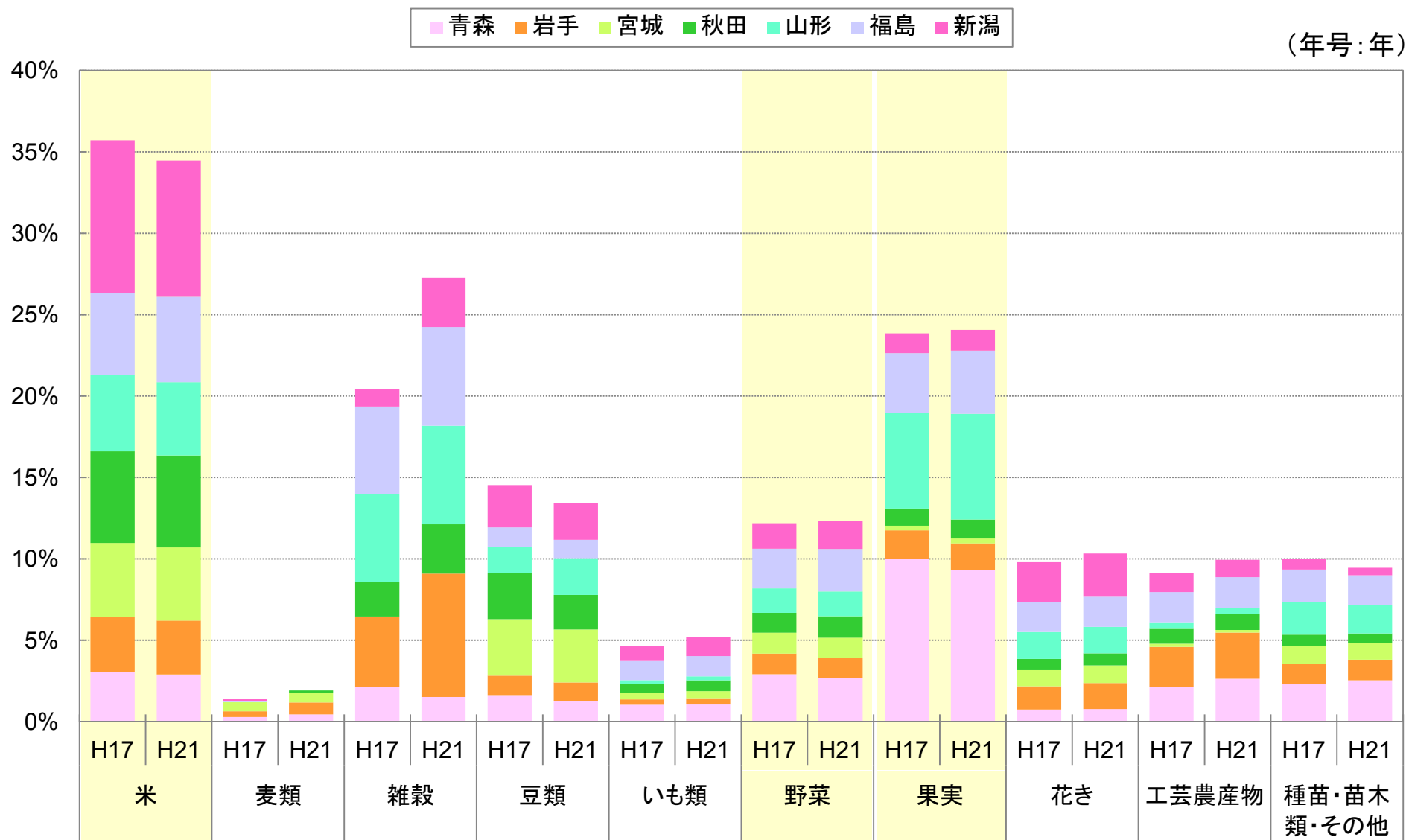
東北圏内の作物別農業産出額構成比



県別の作物別農業産出額構成比 (平成21年)



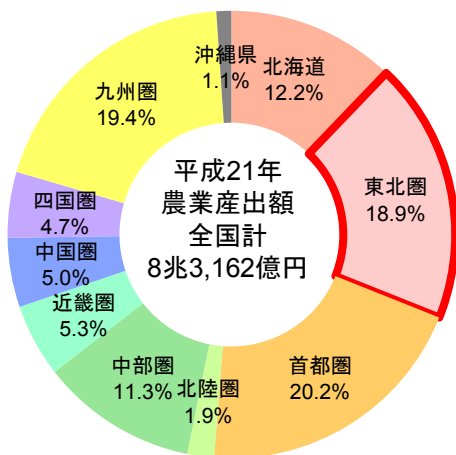
東北圏内の作物別農業産出額の全国シェア



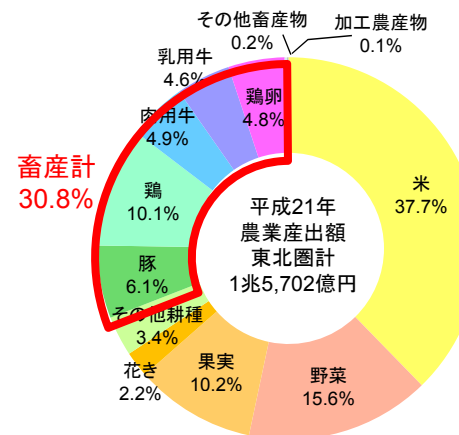
農業産出額の状況(畜産)

農業産出額は全国の約2割。畜産では鶏の産出額構成比が大きい。

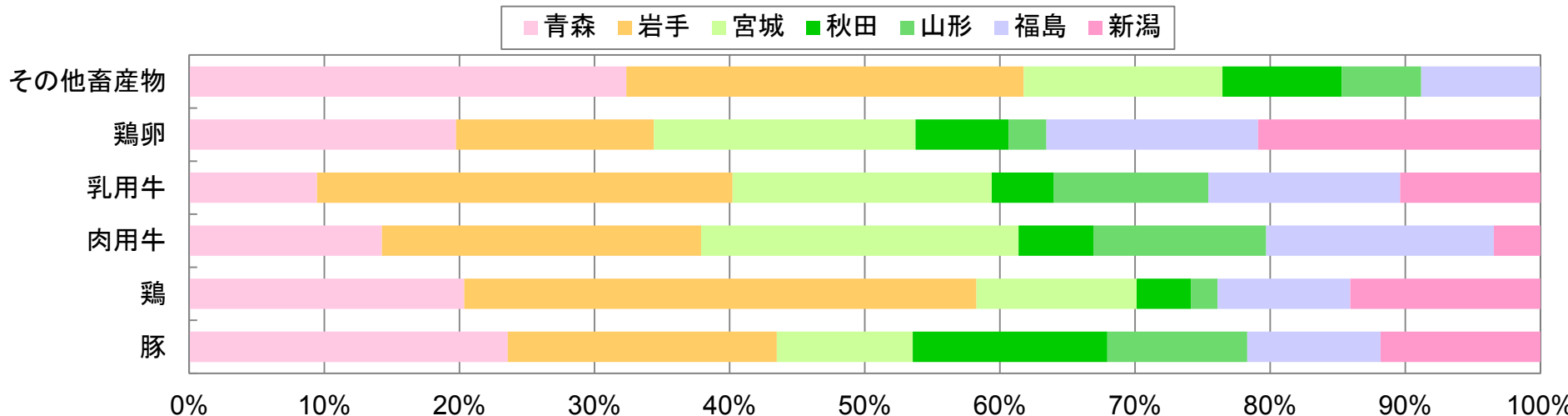
圏域別の農業産出額シェア



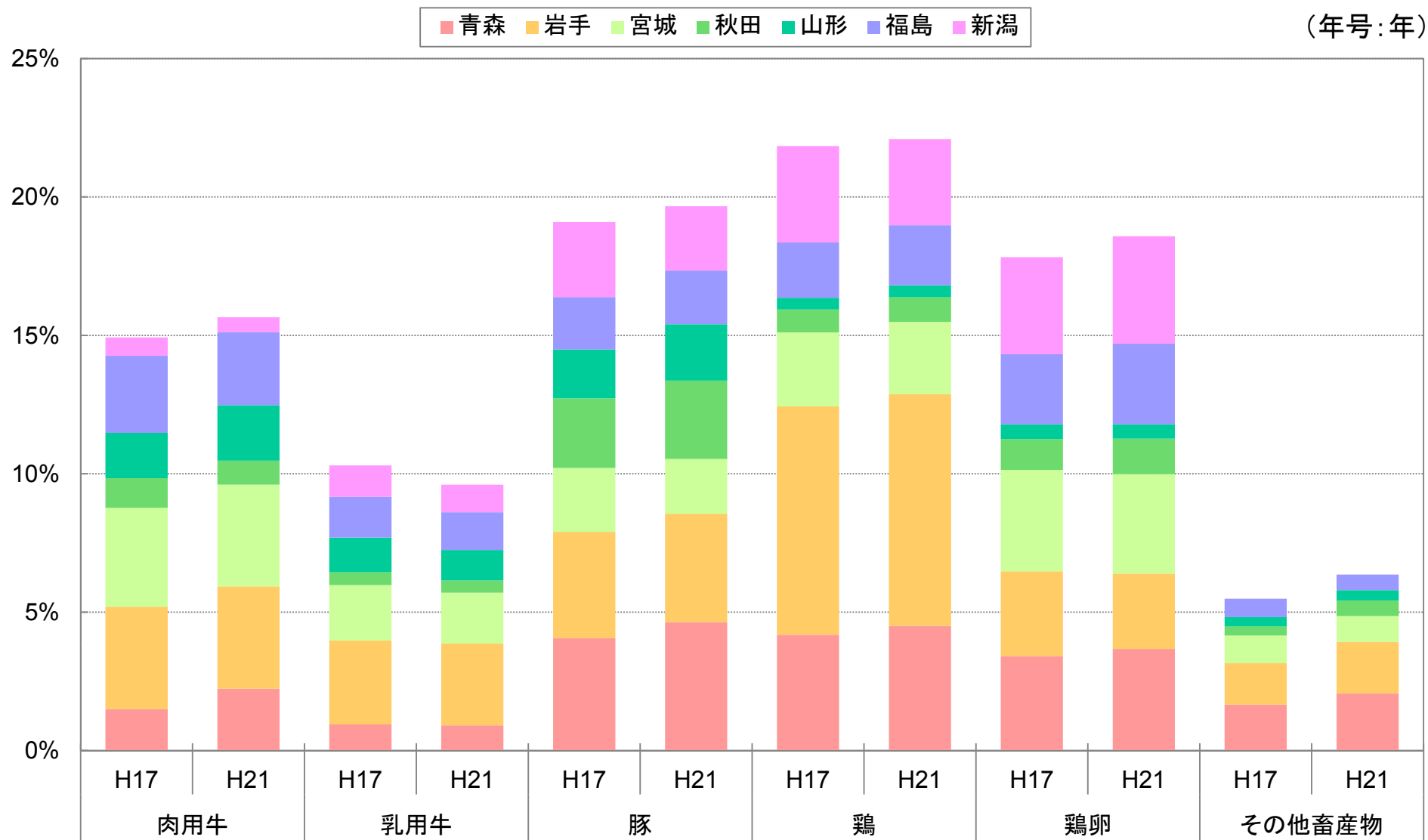
東北圏内の作物別農業産出額構成比



県別の作物別農業産出額構成比 (平成21年)

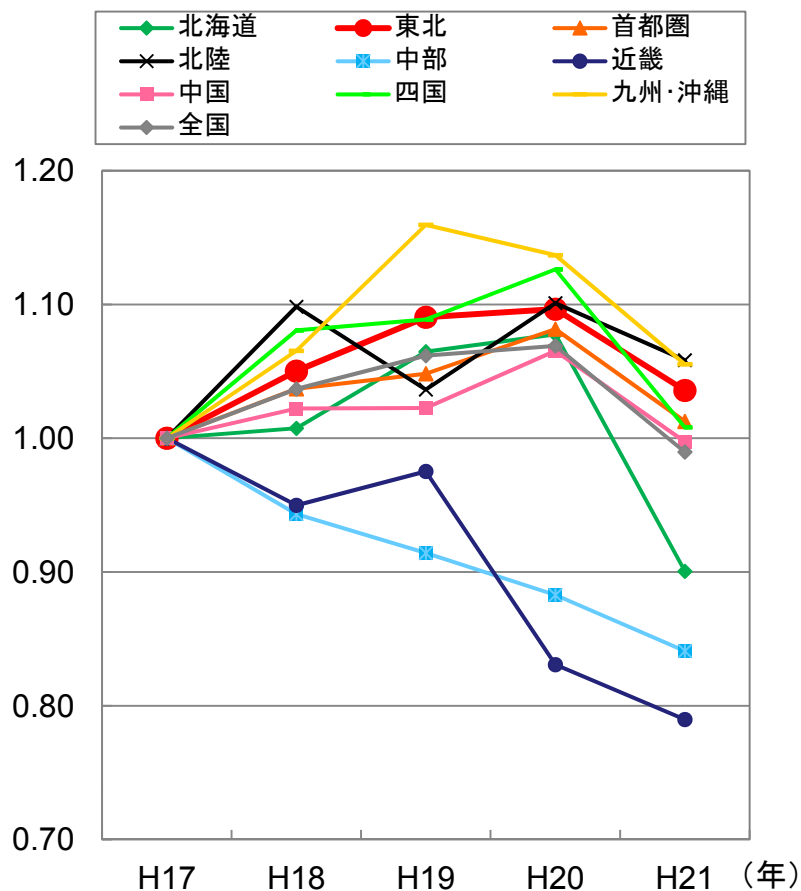


東北圏内の作物別農業産出額の全国シェア

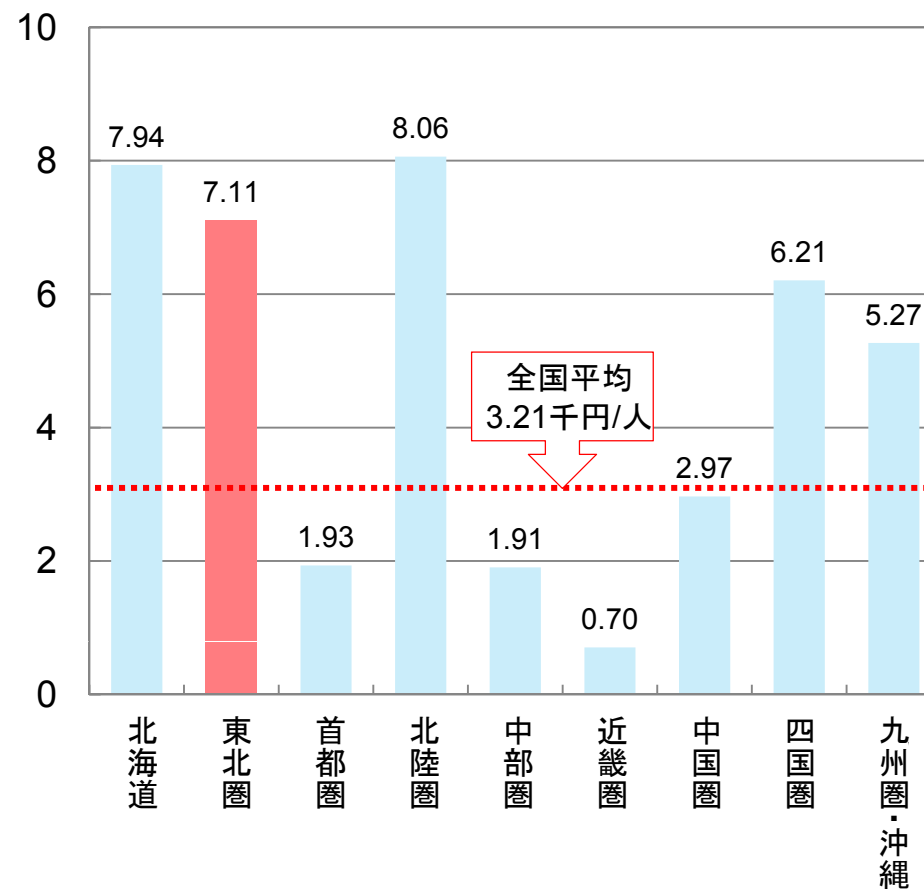


産出額はH20年をピークに減少。
東北圏の人口あたり産出額は全国平均を上回る。

林業産出額の推移
(H17年を1.00とした場合)

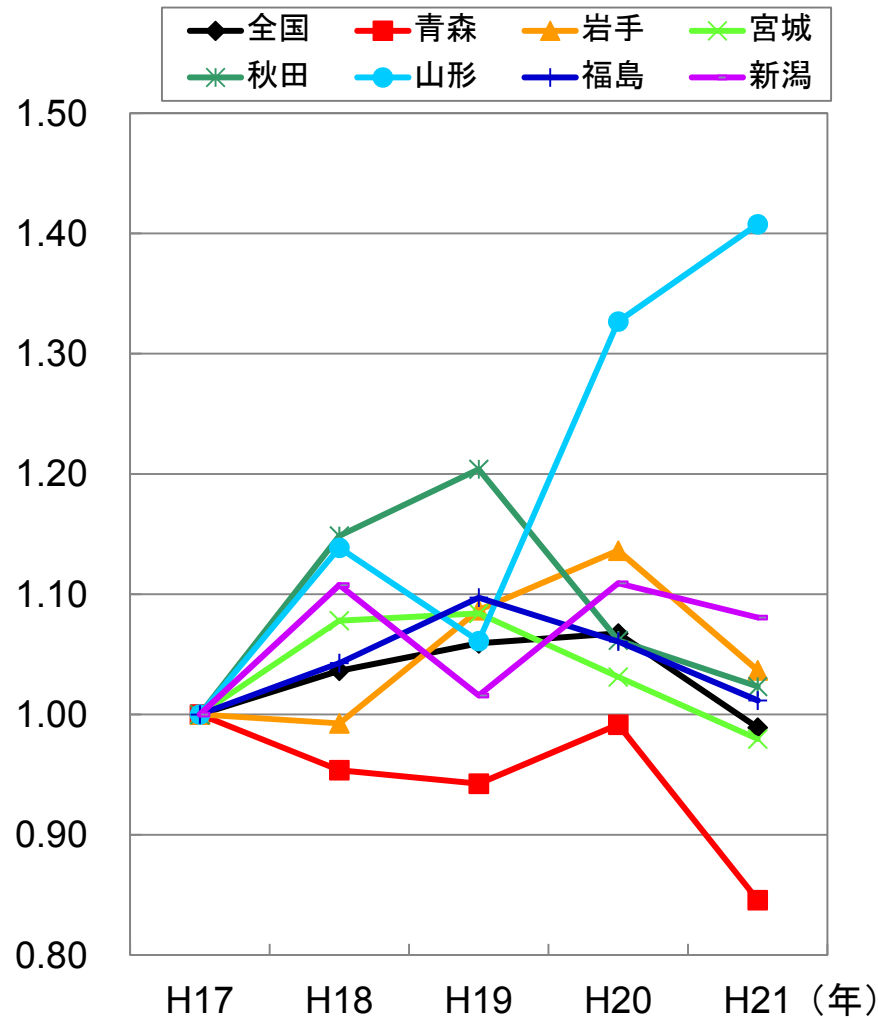


人口あたり林業産出額(H21年)
(千円/人)

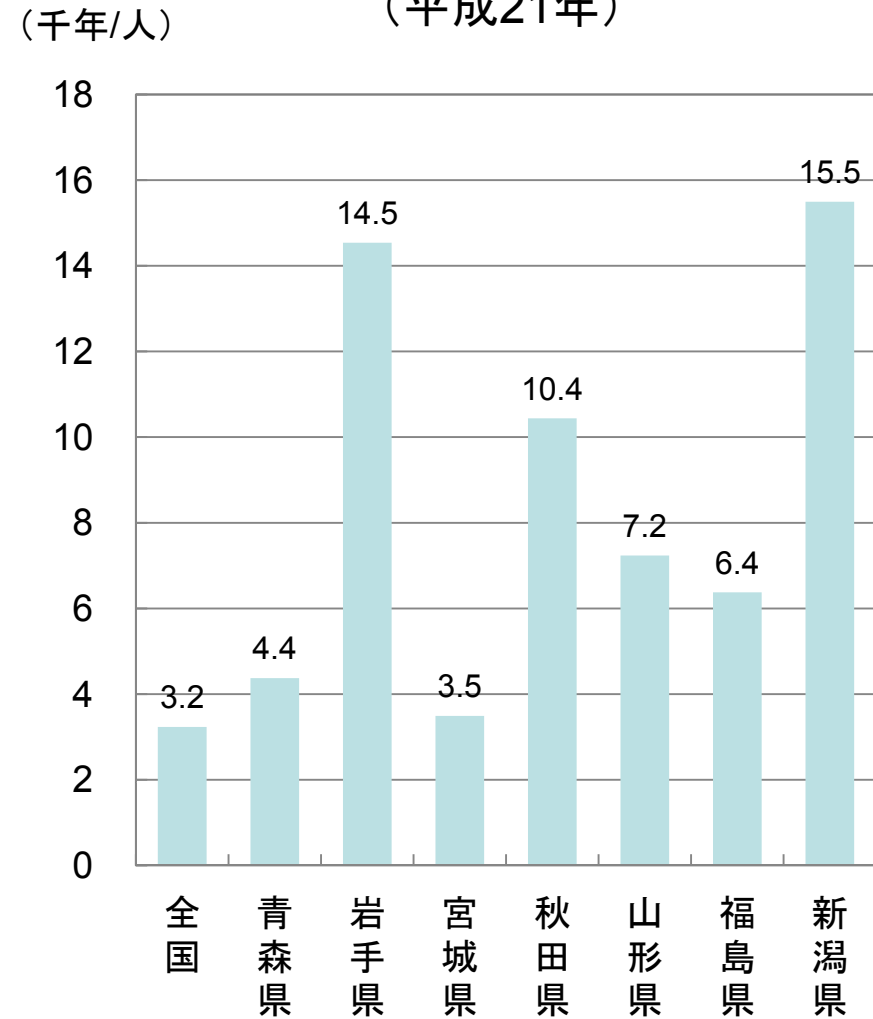


出典：生産林業所得統計(農林水産省)、国勢調査(総務省)

林業産出額の推移
(H17年を1.00とした場合)



人口あたり林業産出額
(平成21年)



出典: 生産林業所得統計(農林水産省)、H17年国勢調査(総務省)

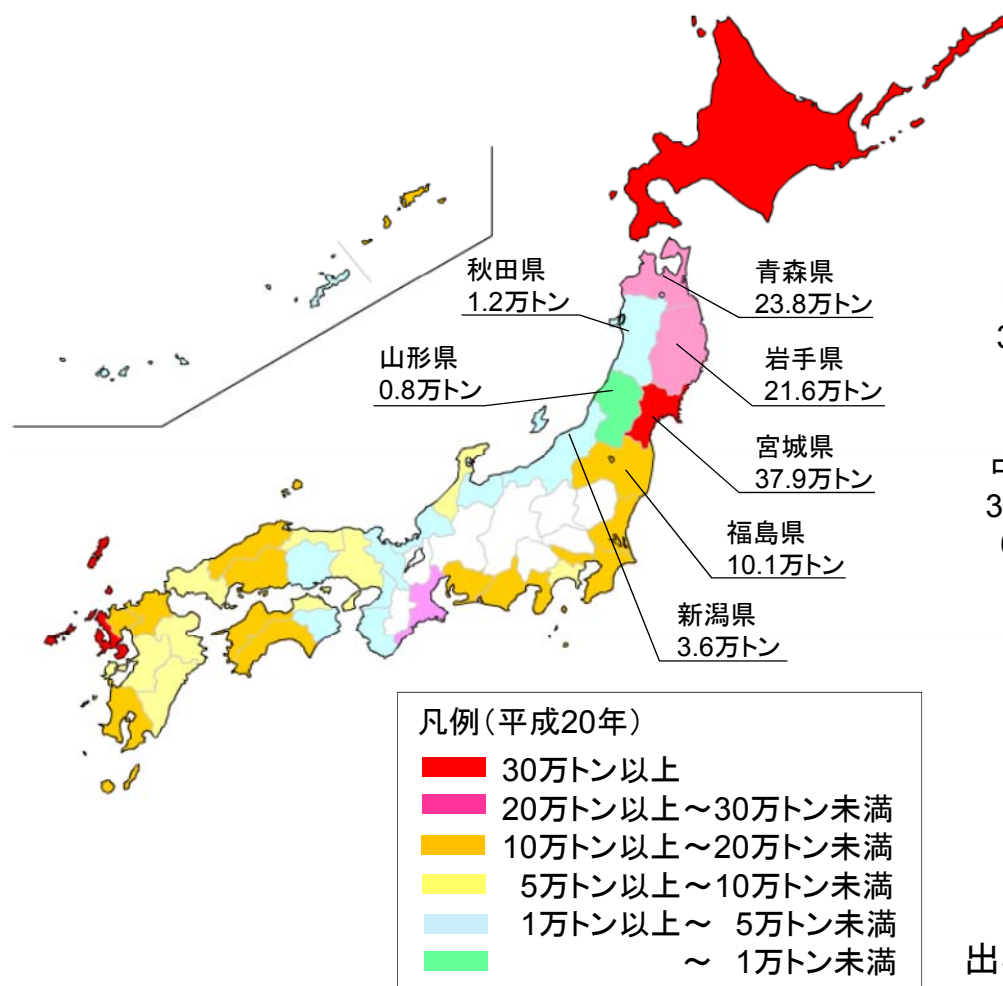
漁獲量・収穫量の状況

太平洋側で漁業が盛んで、漁獲量・収穫量の合計値は全国の約18%シェア。

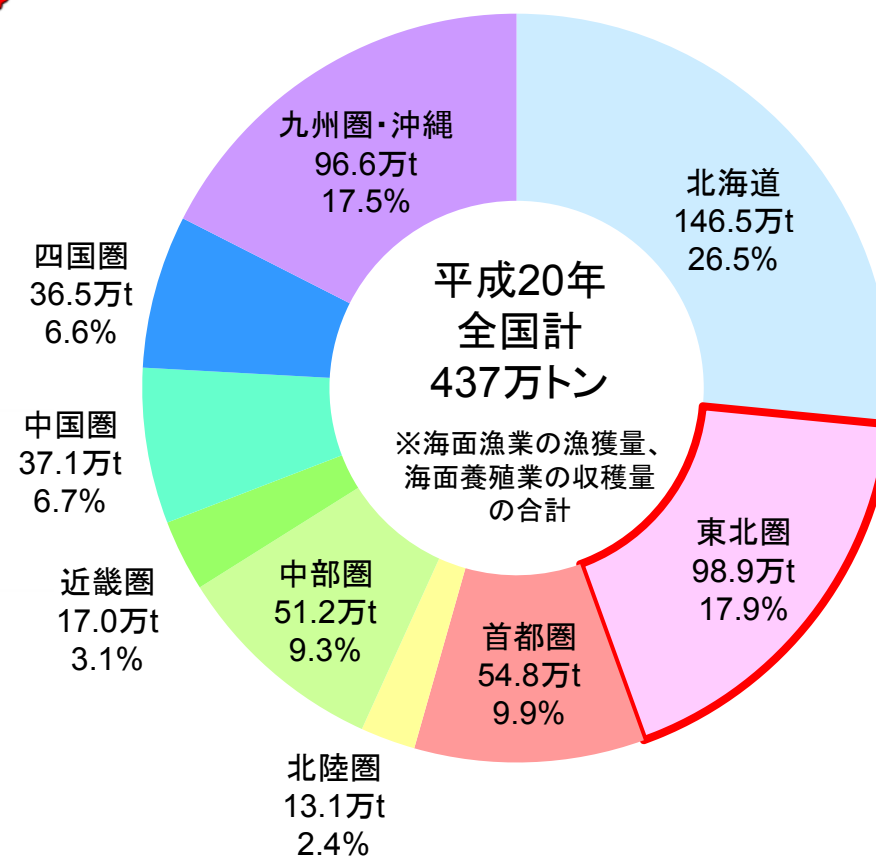
(注1) 漁獲量: 海面において、漁労作業により得られた水産動植物の採捕時の原形重量

(注2) 収穫量: 海面又は陸上に設けられた施設において、海水を使用して水産動植物を集約的に育成し、収穫された重量

都道府県別漁獲量・収穫量(H20年)



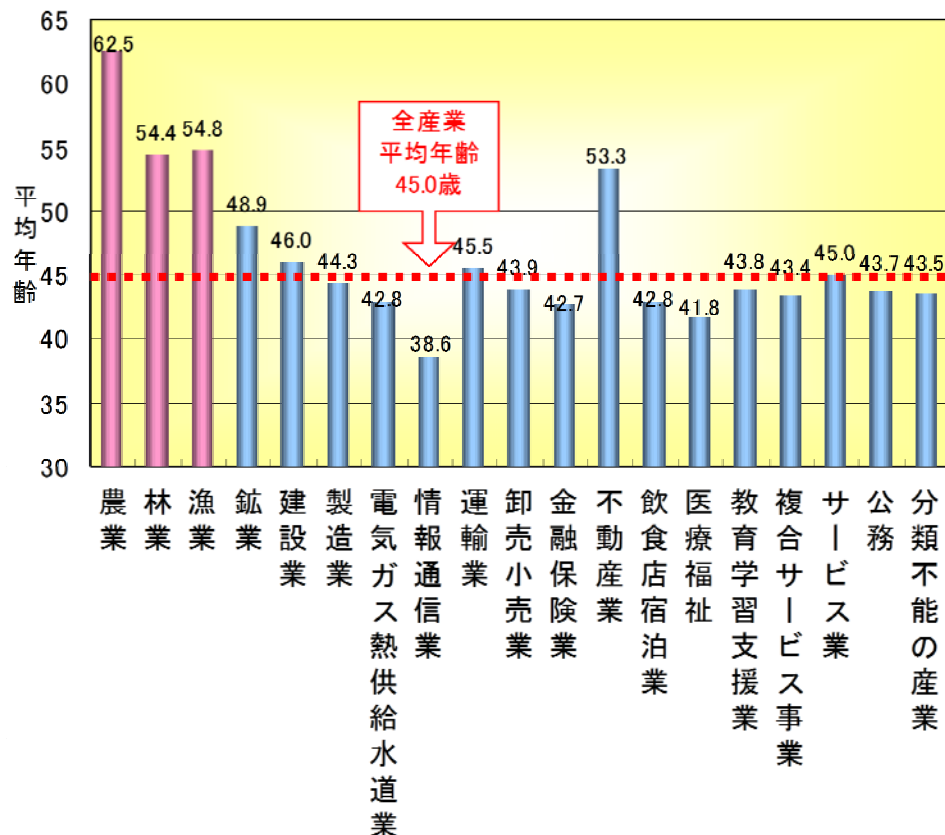
広域圏別漁獲量、収穫量の割合(H20年)



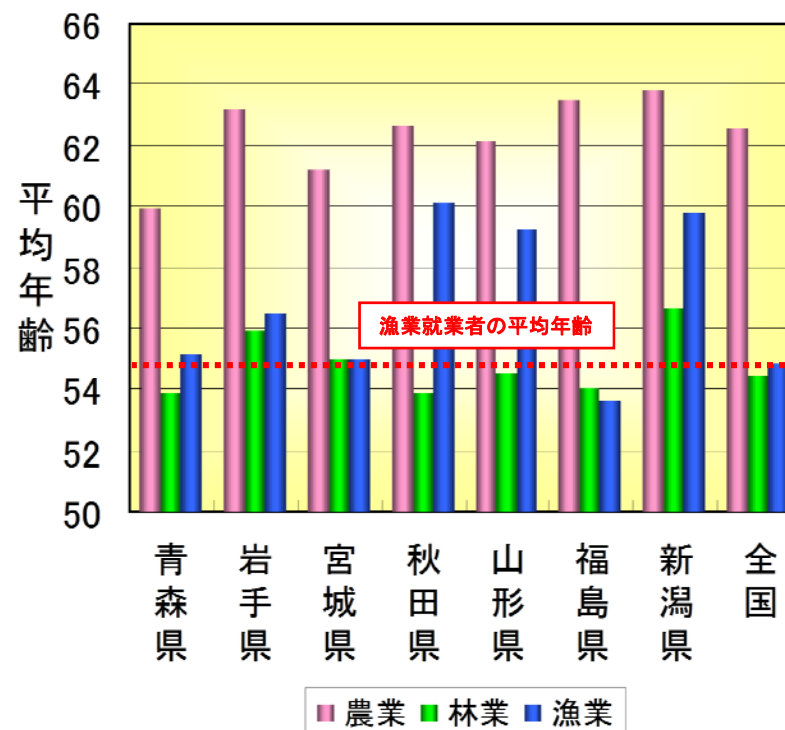
農林漁業の就業者平均年齢

東北圏の農林漁業就業者平均年齢は、漁業が全国に比べ高め。

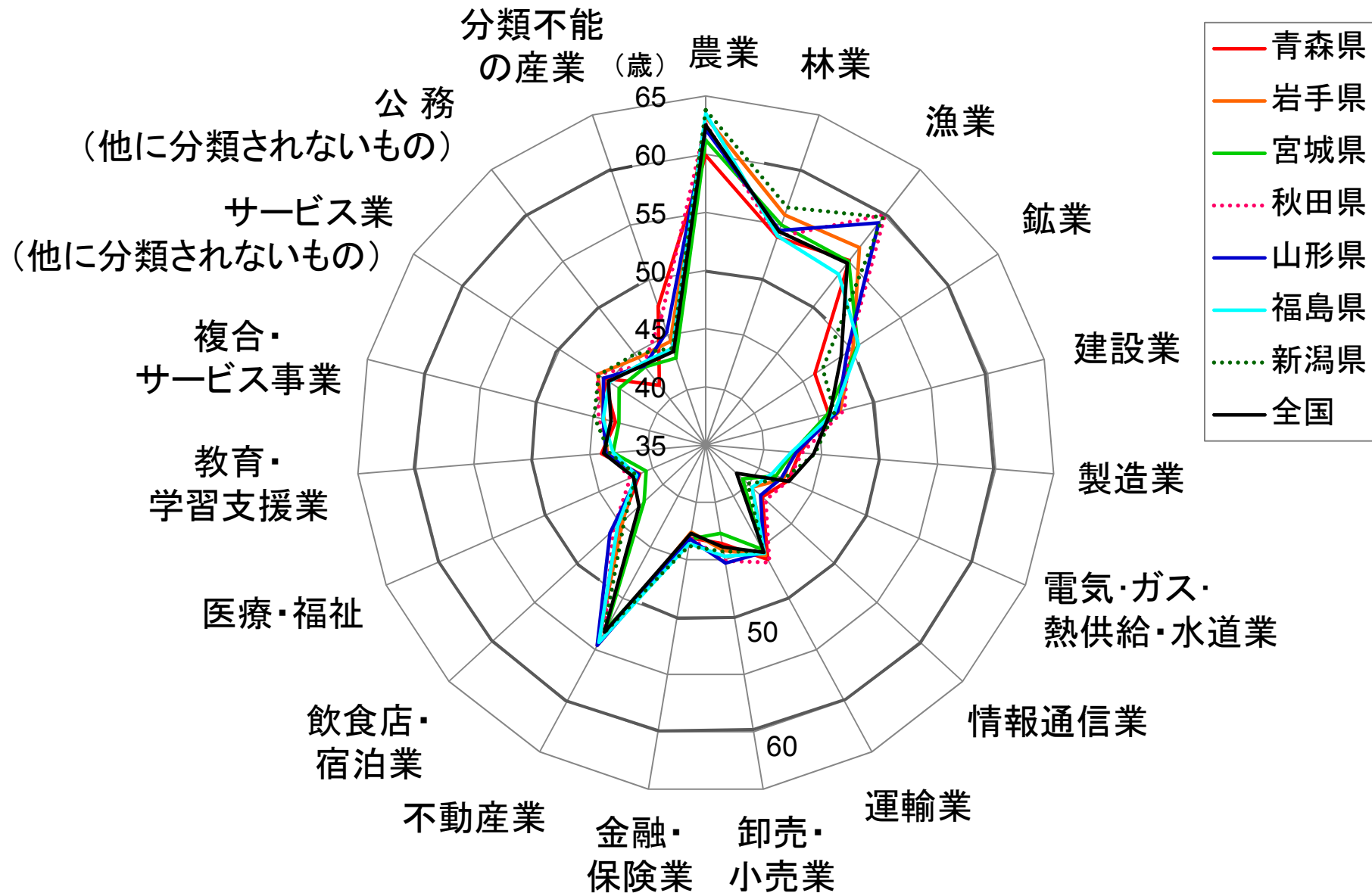
産業分類別就業者平均年齢
(平成17年:全国平均)



東北圏内の農林水産業就業者の
平均年齢(平成17年)



産業分類別の就業者平均年齢(県別)

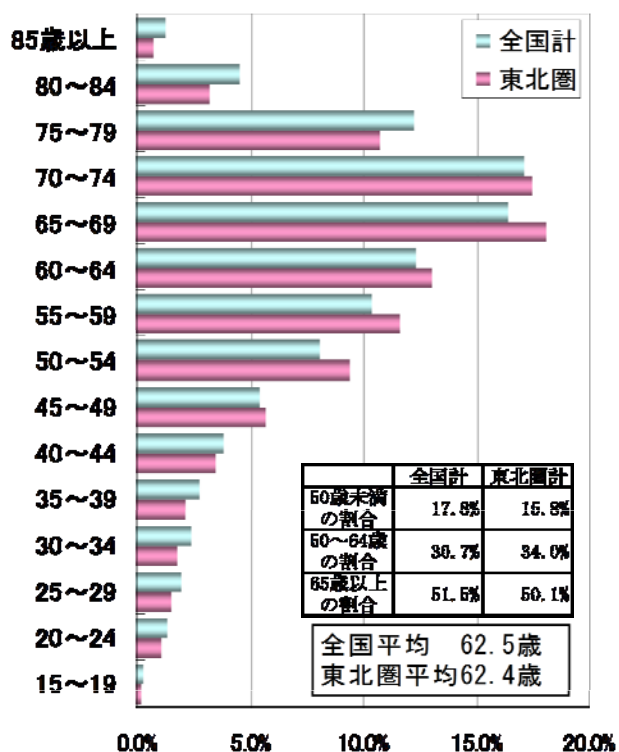


農林漁業従業者の平均年齢

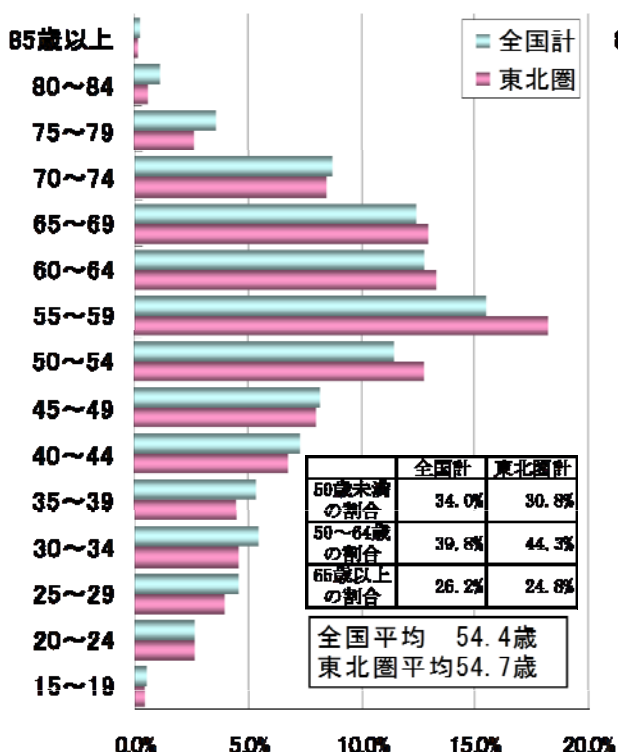
平均年齢は概ね全国と同程度であるが、50～69歳の従業者シェアが全国と比べ多い。

農林漁業従事者の平均年齢(平成17年)

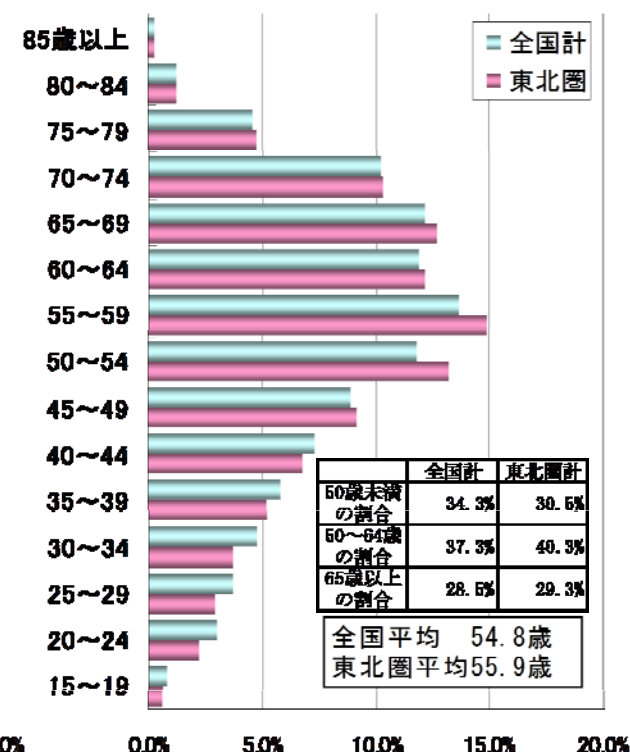
農業従事者の年齢構成



林業従事者の年齢構成

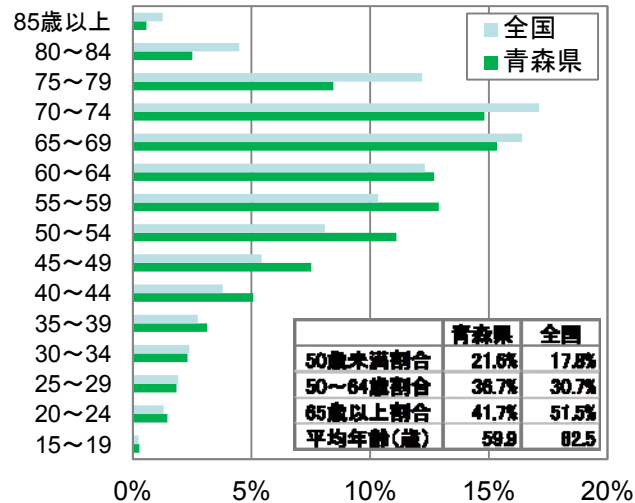


漁業従事者の年齢構成

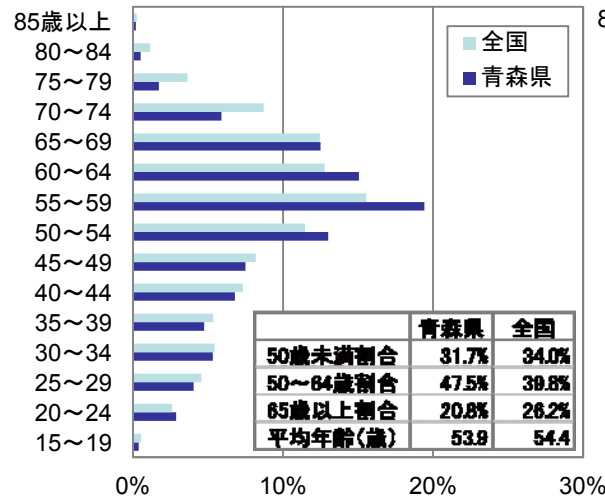


農林漁業従業者の平均年齢(県別)

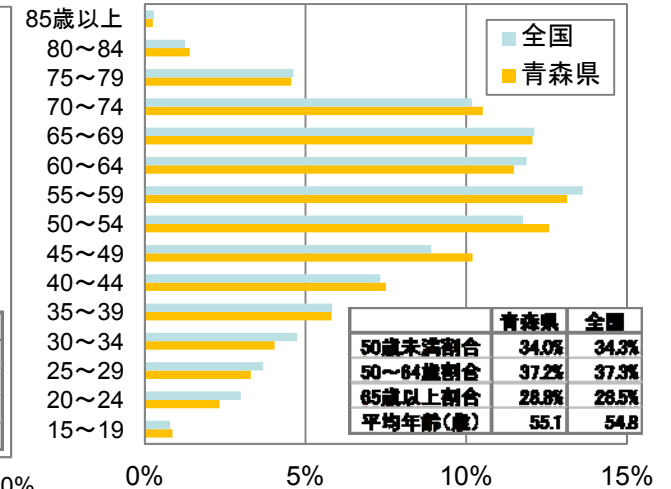
青森県 農業



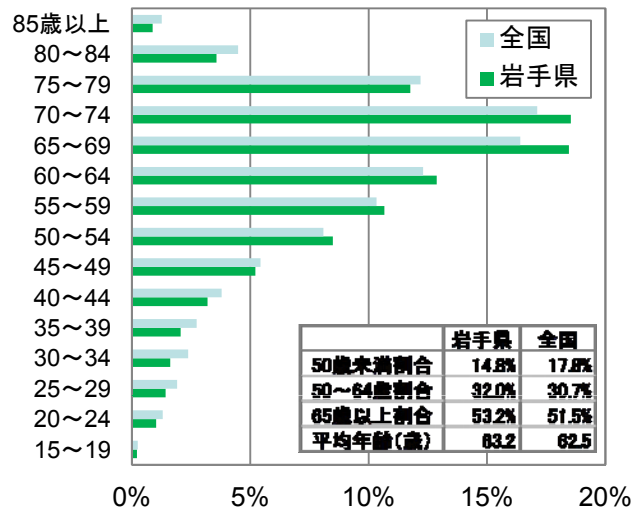
青森県 林業



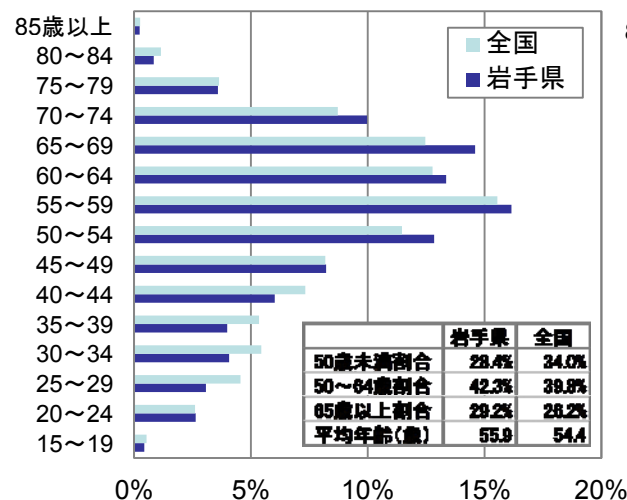
青森県 漁業



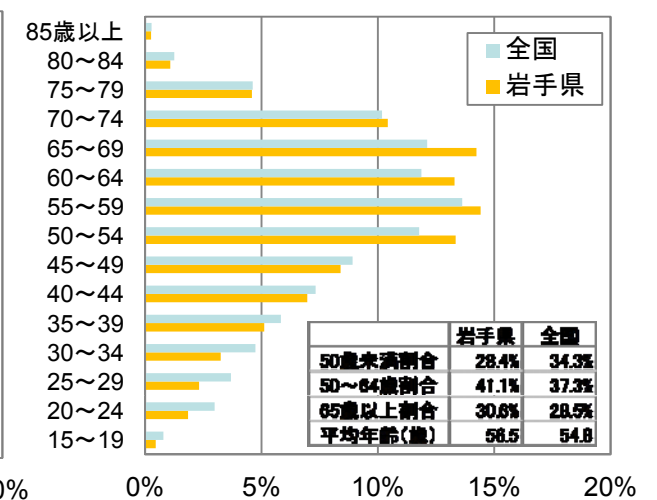
岩手県 農業



岩手県 林業

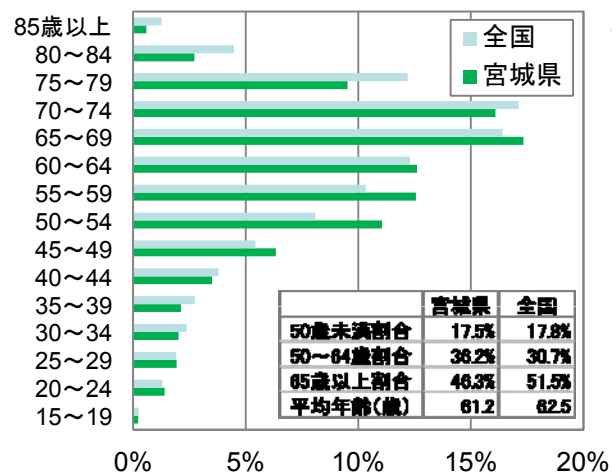


岩手県 漁業

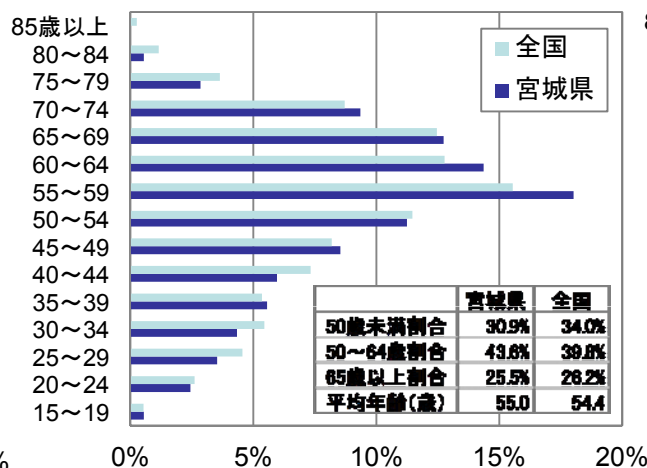


農林漁業従業者の平均年齢(県別)

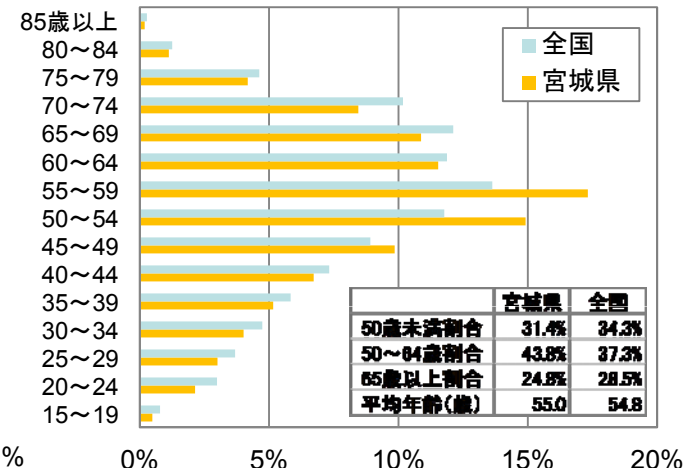
宮城県 農業



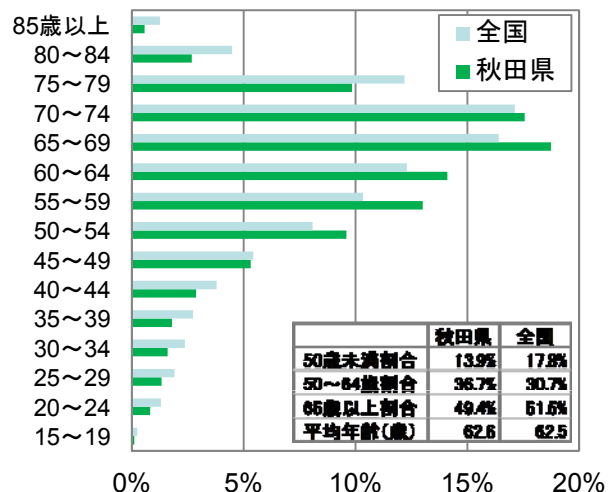
宮城県 林業



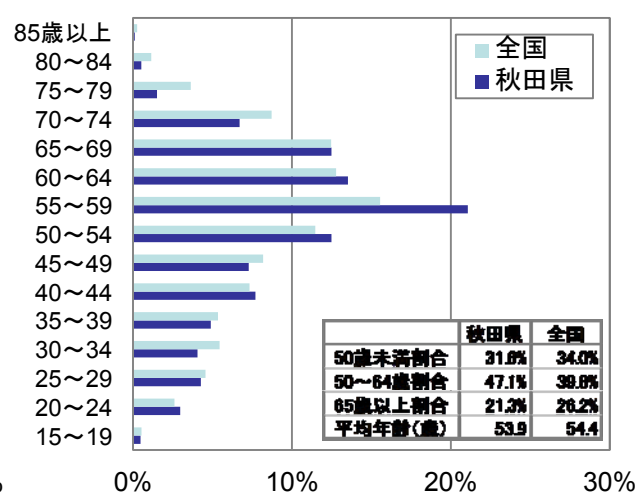
宮城県 漁業



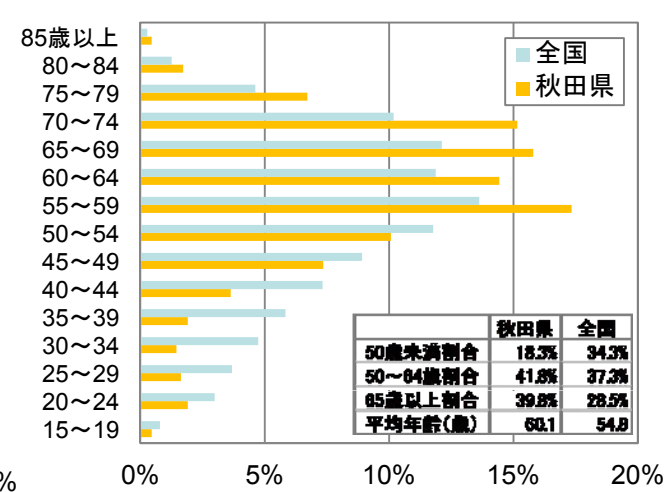
秋田県 農業



秋田県 林業

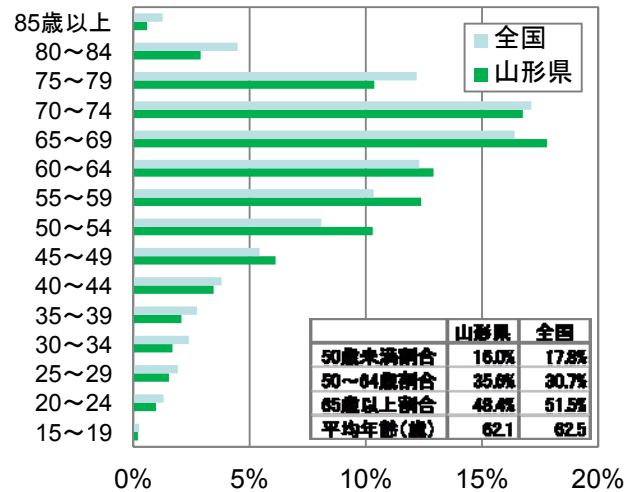


秋田県 漁業

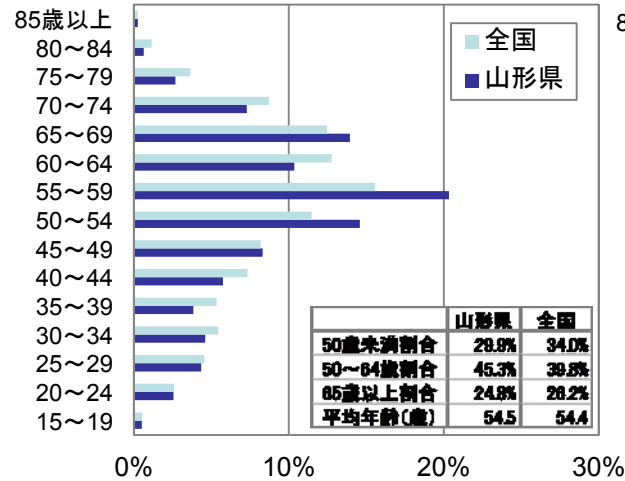


農林漁業従業者の平均年齢(県別)

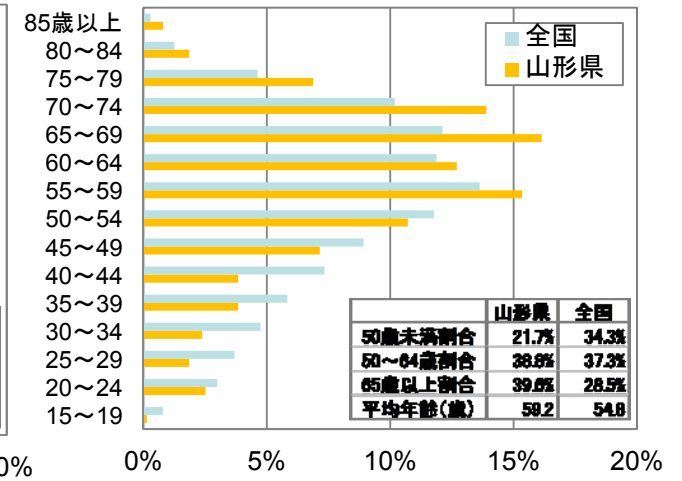
山形県 農業



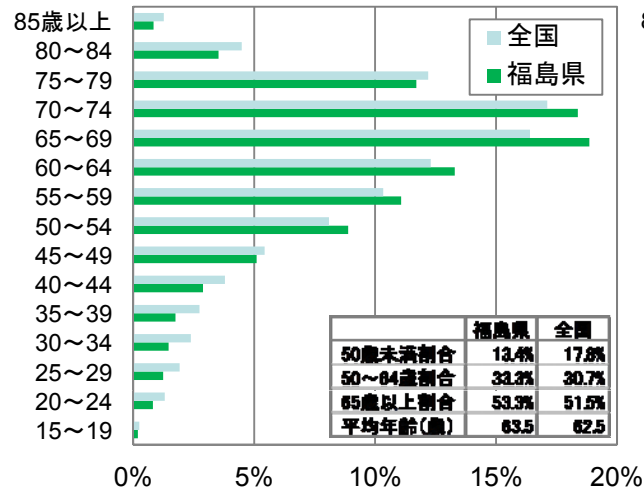
山形県 林業



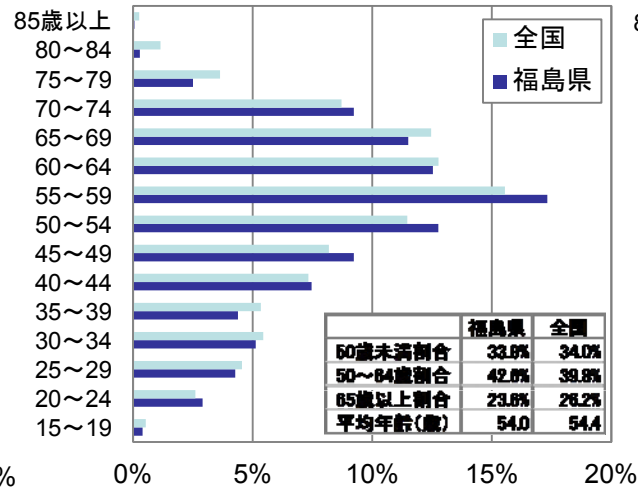
山形県 漁業



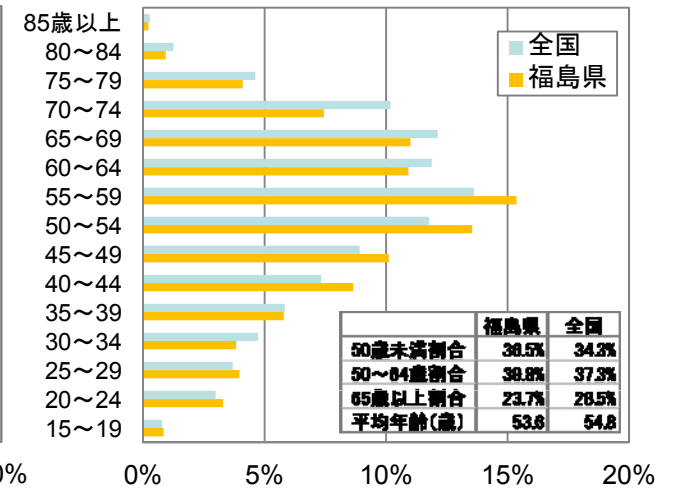
福島県 農業



福島県 林業

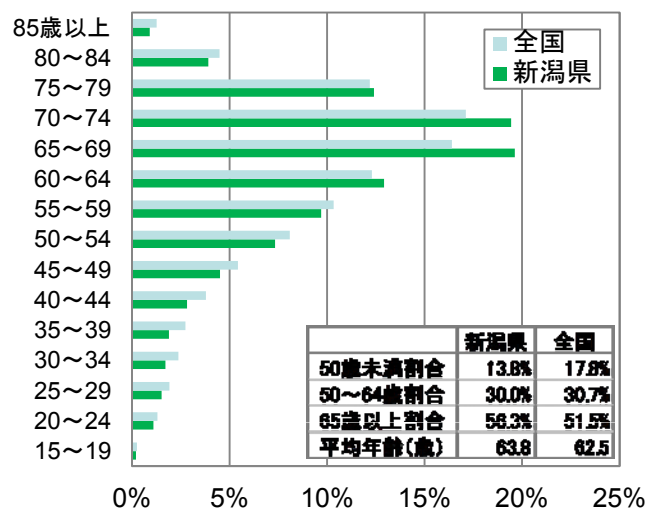


福島県 漁業

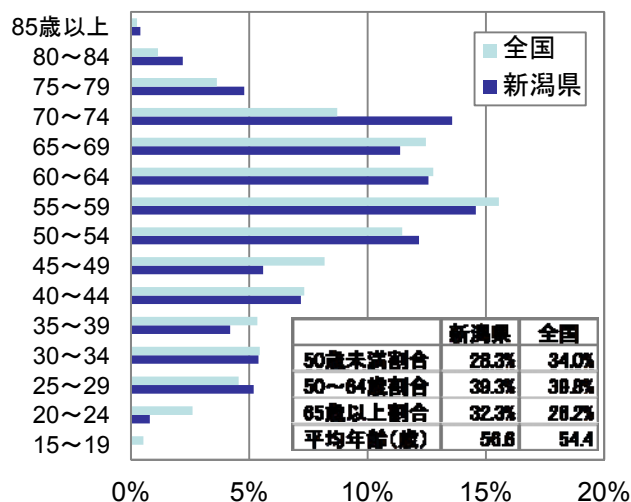


農林漁業従業者の平均年齢(県別)

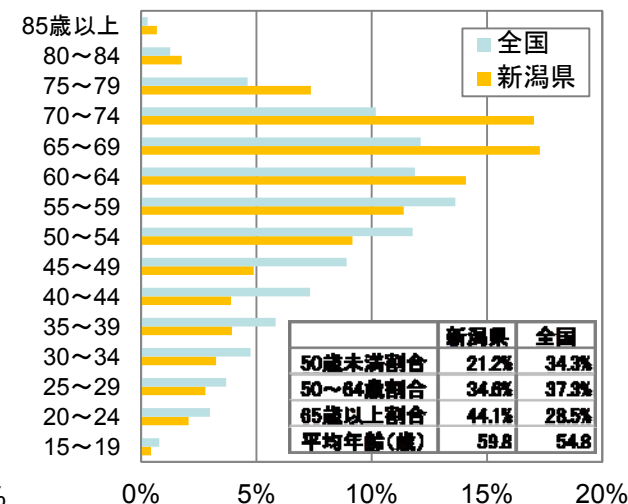
新潟県 農業



新潟県 林業



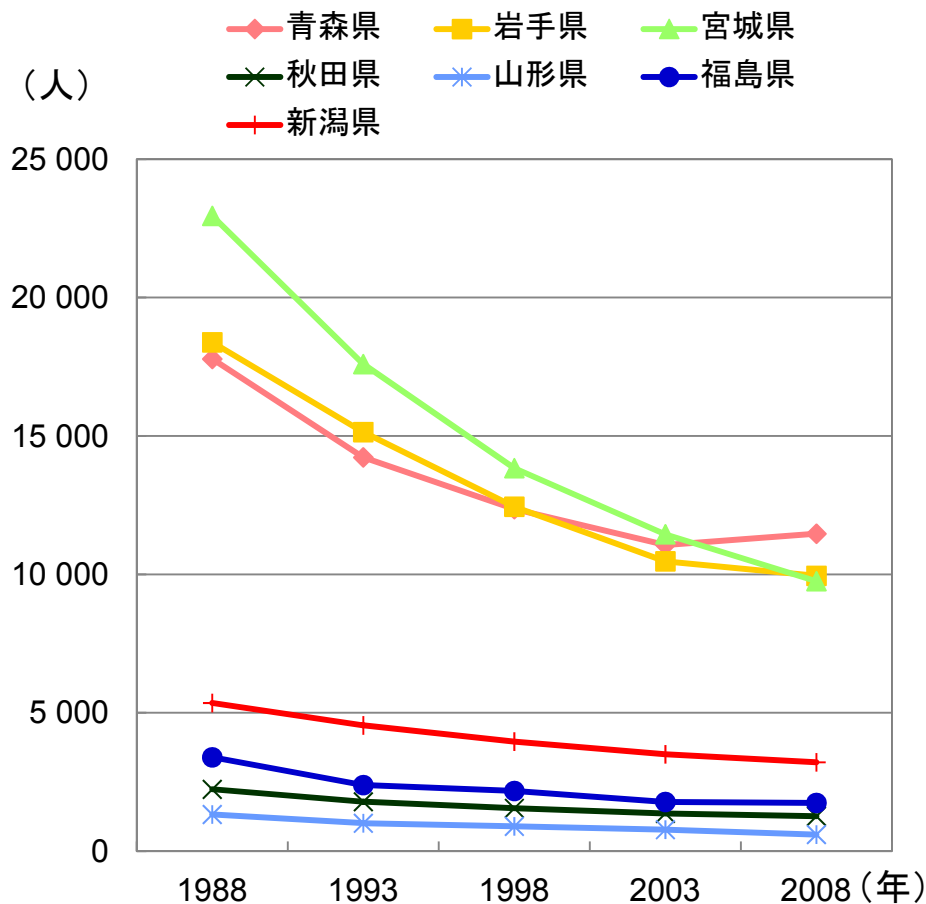
新潟県 漁業



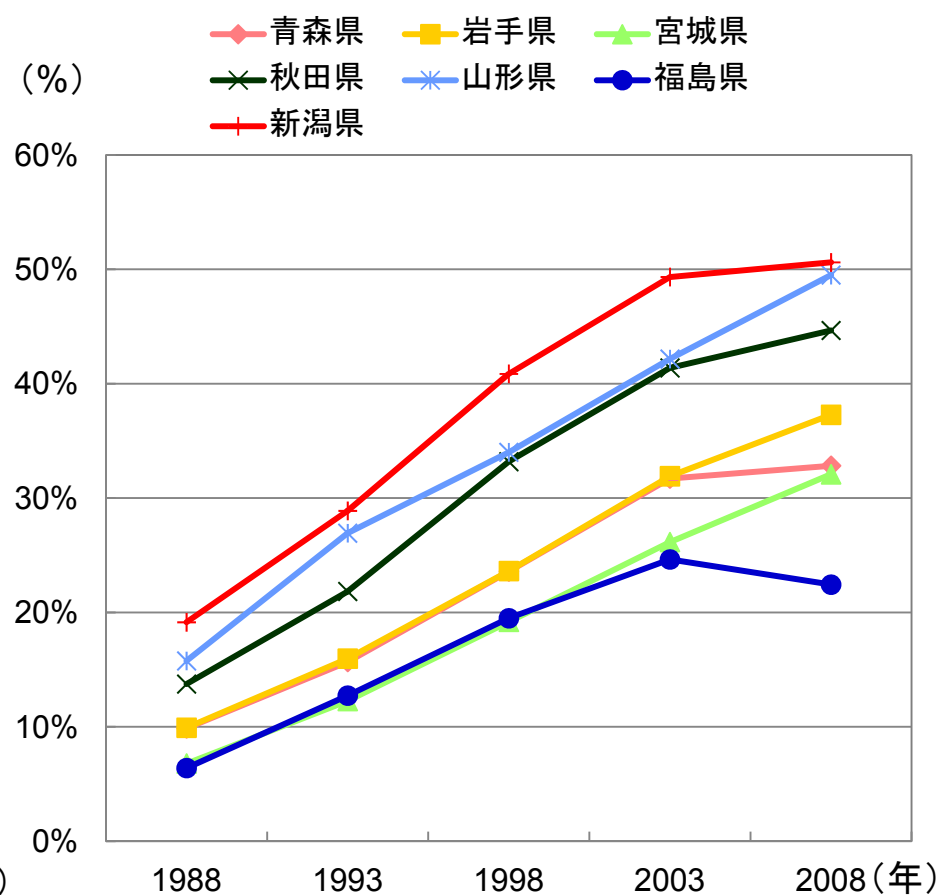
漁業就業者数と高齢化率

漁業就業者数は減少傾向にあり、高齢化が進展。

漁業就業者数の推移



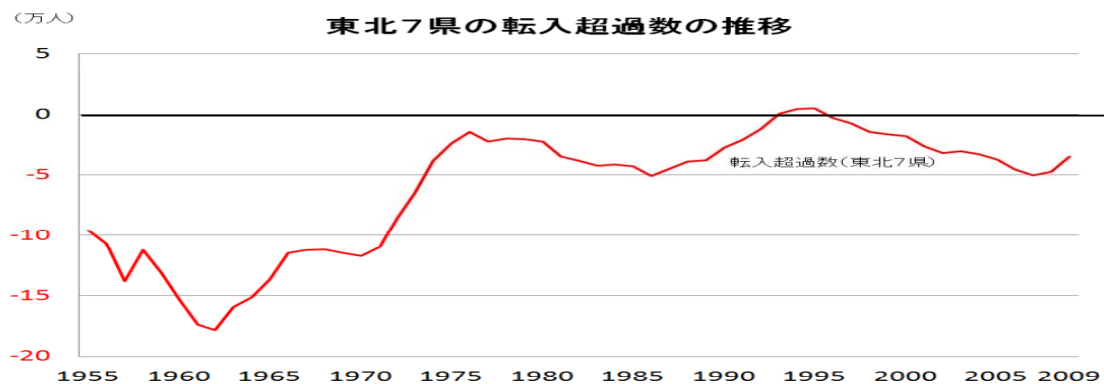
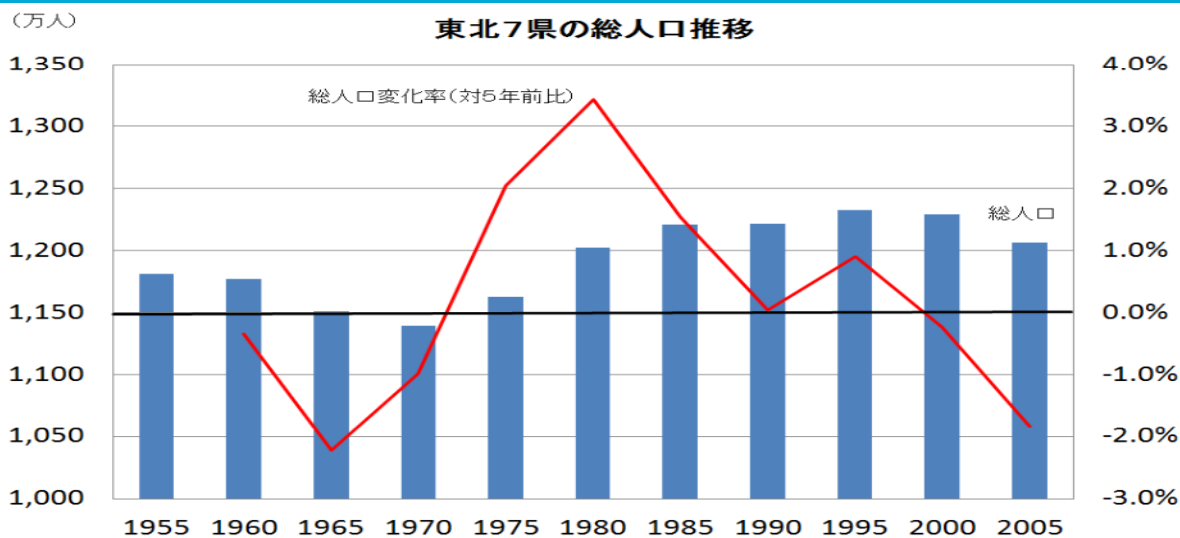
漁業就業者の高齢化率の推移



12. 東北の歴史・文化

- ・東北7県の人口推移・東北開発の歴史
- ・東北圏の優れた人材
- ・東北圏の食文化
- ・東北圏の伝統工芸

東北7県の人口推移・東北開発の歴史



← 集団就職 (54年頃～75年頃) →

- 東北新幹線 八戸・新青森間開業(10年)
- 広域地方計画(09年)
- 国土形成計画(全国計画)(08年)
- 新潟中越地震(04年)
- 宮城県沖地震(03年)
- 東北開発促進計画(第五次)(99年)
- 21世紀の国土のグランドデザイン(98年)
- 秋田新幹線開業(97年)
- 山形新幹線開業(92年)
- 東北開発促進計画(第四次)(89年)
- 青函トンネル開通(87年)
- 四全総(87年)
- 東北開発株式会社民営化(86年)
- 東北新幹線開業(82年)
- 東北開発促進計画(第三次)(79年)
- 宮城県沖地震(78年)
- 三全総(77年)
- 東北縦貫自動車道開通(72年)
- むつ小川原開発始まる(71年)
- 新全総(69年)
- 新産業都市指定(八戸等)(64年)
- 東北開発促進計画(第二次)(64年)
- 全総(62年)
- 東北開発促進計画(第一次)(58年)
- 東北開発三法成立(57年)

様々な分野で優れた人物を輩出。

優れた人物の一例



棟方志功（むなかた しこう）/青森県青森市生/1903年～1975年/版画家/20世紀を代表する世界的巨匠。木版の特長を生かした作品を一貫して作り続けた。（写真：青森県青森市ホームページ）



宮沢賢治（みやざわ けんじ）/岩手県盛岡市生/1886年～1912年/詩人・童話作家/「雨ニモマケズ」「風の又三郎」「銀河鉄道の夜」などの名作を残す。（写真：岩手県ホームページ）



土井晩翠/（どい ばんすい）/宮城県仙台市生/1871年～1952年/詩人、英文学者/作品は「星落秋風五丈原」や、滝廉太郎の作曲が有名な「荒城の月」などのほか、校歌、寮歌にも大きな功績を残す。（写真：宮城県仙台市ホームページ）



東海林太郎（しょうじ たろう）/秋田県秋田市生/1898年～1972年/歌手/1934年「赤城の子守歌」を発売し大ヒット。その後「国境の町」谷間のともしび」など、ヒット曲を連発。（写真：秋田県ホームページ）



土門拳（どもん けん）/山形県酒田市生/1909年～1990年/写真家/リアリズム写真を確立した写真界の巨匠。報道写真の鬼と呼ばれた時代もあり、その名は世界的に知られている。（写真：山形県酒田市ホームページ）



野口英世（のぐち ひでよ）/福島県耶麻郡翁島村（現在の猪苗代町）生/1876年～1928年/医学者/黄熱病や梅毒等の研究で知られる。（写真：福島県会津若松市）



坂口謹一郎（さかぐち きんいちろう）/新潟県上越市生/1897年～1994年/東京大学名誉教授を務め発酵微生物学の世界的権威。醸造学や麹菌の研究、酒に関する随筆の執筆などを通じて「お酒の博士」として親しまれる。（写真：新潟県上越市ホームページ）

地域ごとに多様な食文化が存在。

東北圏の食文化の例示

青森県 じゃっば汁



(青森県商工会連合会
ホームページ)

岩手県 わんこそば



(岩手県観光協会
ホームページ)

宮城県 ずんだもち



(宮城観光ナビ
ホームページ)

秋田県 きりたんぼ



(秋田県産業経済労働部
観光課)

山形県 芋煮



(山形観光情報センター
ホームページ)

福島県 そば・水そば



(福島県観光連盟
ホームページ)

新潟県 のっぺ汁



(新潟県立教育センター
ホームページ)

地域ごとに多彩な伝統工芸品を有する。

東北圏の伝統工芸品(写真は例示)



津軽塗



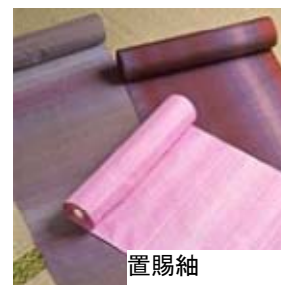
岩谷堂箆笥



南部鉄器



宮城伝統こけし



置賜紬



大館曲げわっぱ



奥会津編み組細工



越後与板打刃物

区域	都道府県別	指定品目数	品目名
東北圏	青森県	1	津軽塗(漆器)
	岩手県	4	秀術塗(漆器)、淨法寺塗(漆器)、岩谷堂箆笥(木工品)、南部鉄器(金工品)
	宮城県	3	鳴子漆器(漆器)、雄勝硯(文具)、宮城伝統こけし(人形)
	秋田県	4	川連漆器(漆器)、棒細工(木工品)、大館曲げわっぱ(木工品)、秋田杉桶樽(木工品)
	山形県	5	置賜紬(織物)、羽越しな布(織物)、山形錆物(金工品)、山形仏壇(仏壇・仏具)、天童将棋駒(その他工芸品)
	福島県	4	大塚相馬焼(陶磁器)、金津本郷焼(陶磁器)、会津塗(漆器)、奥会津編み組細工(木工品)
	新潟県	15	塩沢箱(織物)、本塩沢(織物)、小千谷縮(織物)、小千谷縮(織物)、稻荷町縮(織物)、十日町明石ちぢみ(織物)、羽越しな布(織物)、村上木彫堆朱(漆器)、新潟漆器(漆器)、加茂桐箆笥(木工品)、燕錫起銅器(金工品)、越後与板内金物(金工品)、新潟・白根仏壇(仏壇・仏具)、長岡仏壇(仏壇・仏具)、三条仏壇(仏壇・仏具)
計	36		
全国計		210	